

東員町
子ども・子育てに関するアンケート調査
調査結果報告書

令和6年5月

東員町

目次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	3
2 調査設計	3
3 回収結果	3
4 報告書の見方	4
第2章 調査結果	5
1 お住まいの地域について	7
(1) 居住地域	7
2 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	8
(1) 調査票回答者	8
(2) 調査票回答者の配偶関係	8
(3) 子どもの年齢	9
(4) 子どもの人数	9
(5) 主に子育てをしている人	10
(6) 同居・近居の状況	11
3 こどもの育ちをめぐる環境について	12
(1) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無	12
(2) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況	13
(3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況	14
(4) 相談できる人、相談できる場所の有無	15
(5) 相談先	16
4 保護者の働いている状況について	18
(1) 母親の就労状況	18
(2) 就労している母親の就労日数・就労時間	20
(3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻	21
(4) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望	22
(5) 就労していない母親の就労希望	23
(6) 就労していない母親の就労していない理由	26
(7) 父親の就労状況	27
(8) 就労している父親の就労日数・就労時間	28
(9) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻	29
(10) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望	30
(11) 就労していない父親の就労希望	31
(12) 就労していない父親の就労していない理由	32
5 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について	33
(1) 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について	33
(2) 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所などについて	34
(3) 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所などの利用状況・利用希望	35
(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所	37
(5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由	37

(6)	平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由	38
(7)	利用したい平日の定期的な教育・保育の事業	40
(8)	平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所	41
(9)	サービスを利用したい理由	41
(10)	幼稚園の強い利用希望	42
(11)	「こども誰でも通園制度」について	42
6	小学校就学後の放課後の過ごし方について【就学前：5歳以上のみ】	44
(1)	希望する低学年時の放課後の過ごし方	44
(2)	希望する高学年時の放課後の過ごし方	47
7	放課後の過ごし方について【小学生：小学校1～3年生のみ】	50
(1)	希望する低学年時の放課後の過ごし方	50
(2)	放課後児童クラブを利用していない理由	52
(3)	希望する高学年時の放課後の過ごし方	53
(4)	放課後児童クラブを利用したい学年	55
(5)	放課後児童クラブの土曜日、日曜・祝日の利用希望	56
(6)	放課後児童クラブの長期休暇期間の利用希望	58
8	土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所などの「定期的」な利用希望について	59
(1)	定期的な教育・保育の事業の土曜日、日曜・祝日の利用希望	59
(2)	定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望	61
9	病気になったときの対応について	62
(1)	病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと	62
(2)	事業が利用できなかった場合の対処方法	63
(3)	病児・病後児保育施設等の利用希望（就学前児童）	66
(4)	病児・病後児保育施設等を利用利用したくない理由（就学前児童）	67
(5)	病気やケガで小学校への登校ができなかったこと	68
(6)	小学校への登校ができなかった場合の対処方法	69
(7)	病児・病後児保育施設等の利用希望（小学生）	72
(8)	病児・病後児保育施設等を利用利用したくない理由（小学生）	73
10	不定期の幼稚園や保育所などの利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	74
(1)	利用している不定期の教育・保育の事業（就学前児童）	74
(2)	利用している不定期の教育・保育の事業（小学生）	76
(3)	私用等の目的での事業の利用希望（就学前児童）	78
(4)	私用等の目的での事業の利用希望（小学生）	80
(5)	保護者の用事により泊りがけで家族以外に預ける必要（就学前児童）	82
(6)	保護者の用事により泊りがけで家族以外に預ける必要（小学生）	84
11	地域の子育て支援事業の利用状況について	86
(1)	地域子育て支援拠点事業の利用状況	86
(2)	地域子育て支援拠点事業を利用していない理由	88
(3)	地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向	89
12	育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について	91
(1)	育児休業の取得状況	91
(2)	サービス、環境の整備による就労継続移行	92

(3)	育児休業からの復帰のタイミング	94
(4)	職場復帰の時の子どもの年齢	95
(5)	希望時期に職場復帰しなかった理由	97
(6)	短時間勤務制度の利用	100
(7)	短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由	101
(8)	育児休業を取得せず就労を続けている理由	103
(9)	仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること（就学前児童）	106
(10)	仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること（小学生）	108
1 3	現在の暮らしについて	110
(1)	現在の暮らしの状況	110
1 4	子育て全般について	111
(1)	認知度・利用度	111
(2)	各種事業の利用意向	113
(3)	産後ケアについて	114
(4)	地域の子育てについて	114
(5)	子育てへの不安感・負担感	115
(6)	子育てについて思うこと	116
(7)	子育ての楽しさ	119
(8)	東員町で実施して欲しい子育て支援・施策	119

第1章 調査概要

1 調査目的

「第3期東員町子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたって、就学前の児童や小学生の子どもをもつ保護者に対して、子育て支援に関する施設やサービスの利用状況、今後の利用希望等の子育て支援サービスに関するニーズ等を把握し、教育・保育事業の需要量の見込みの設定及び東員町の子育て支援の充実を図るうえでの基礎資料とするために本調査を行いました。

2 調査設計

実施期間：令和6年2月29日～令和6年3月22日

	調査の種類	調査対象者、調査方法
1	就学前児童保護者	・ 東員町に在住する就学前児童の保護者 ・ 郵送配布、郵送回収及びWeb回答
2	小学生保護者	・ 東員町に在住する小学生の保護者 ・ 郵送配布、郵送回収及びWeb回答

3 回収結果

	調査対象者	配布数	回収数	回収率
1	就学前児童保護者	1,066人	564件 (うちWeb回答：348件)	52.9%
2	小学生保護者	742人	344件 (うちWeb回答：168件)	46.4%

4 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で表記しています。ただし、年代別や経年変化などの母数が異なるものを比較する場合は、割合の差（ポイント）で表記しています。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、回答比率の合計が、100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数（n）に対する回答比率のため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには0.0%と表記しています。
- (4) 本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。
- (5) 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。

第2章 調査結果

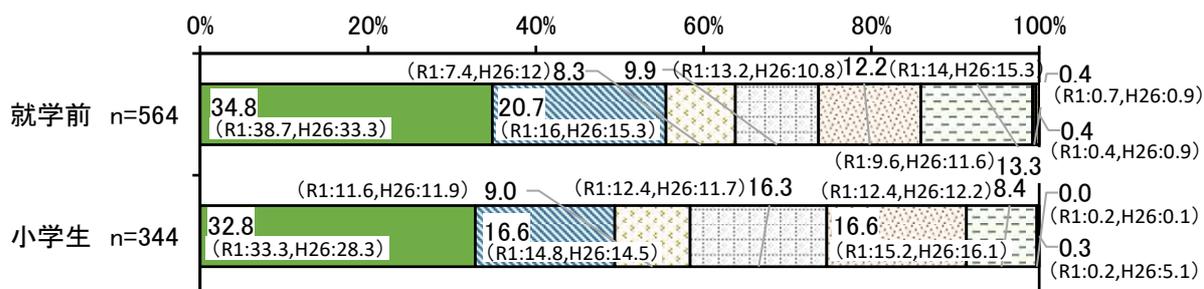
1 お住まいの地域について

(1) 居住地域

問 現在どちらの地区にお住まいですか。【就学前：問1、小学生：問1】

就学前では、「神田」が34.8%、「稲部」が20.7%、「三和」が8.3%、「笹尾西」が9.9%、「笹尾東」が12.2%、「城山」が13.3%となっています。

小学生では、「神田」が32.8%、「稲部」が16.6%、「三和」が9.0%、「笹尾西」が16.3%、「笹尾東」が16.6%、「城山」が8.4%となっています。



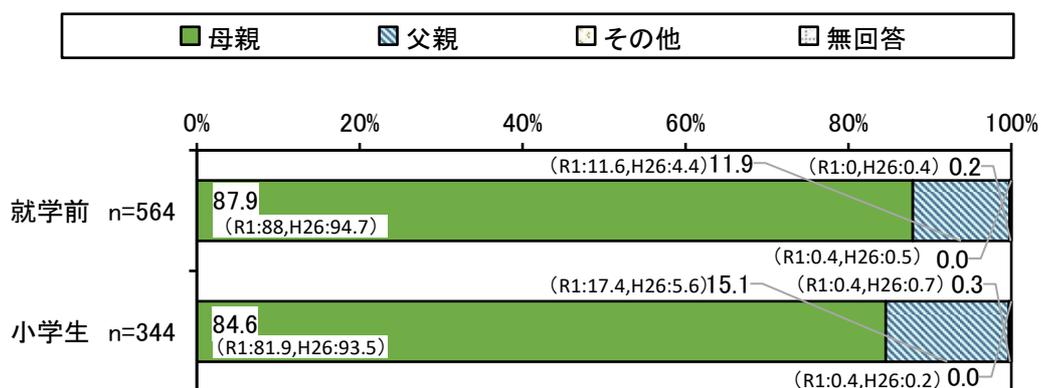
2 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

(1) 調査票回答者

問 この調査票に回答していただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【就学前：問2、小学生：問2】

就学前では、「母親」が87.9%、「父親」が11.9%となっています。

小学生では、「母親」が84.6%、「父親」が15.1%となっています。



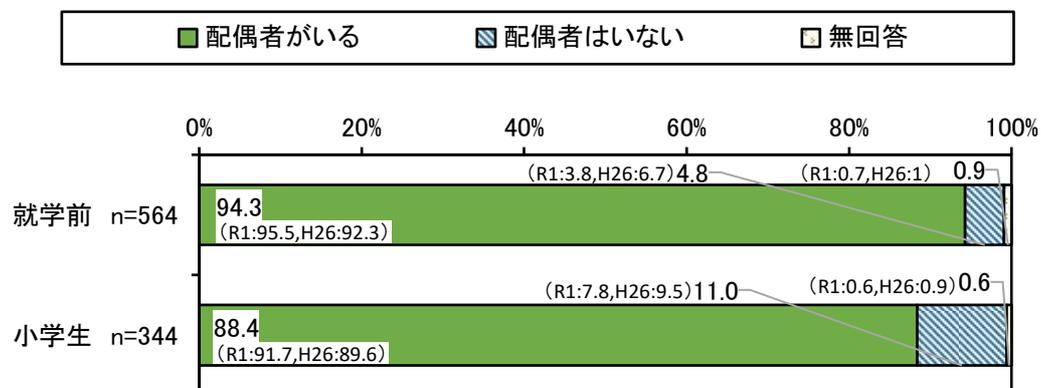
(2) 調査票回答者の配偶関係

問 この調査票に回答していただいている方の配偶関係についてお答えください。

【就学前：問3、小学生：問3】

就学前では、「配偶者がいる」が94.3%、「配偶者はいない」が4.8%となっています。

小学生では、「配偶者がいる」が88.4%、「配偶者はいない」が11.0%となっています。



(3) こどもの年齢

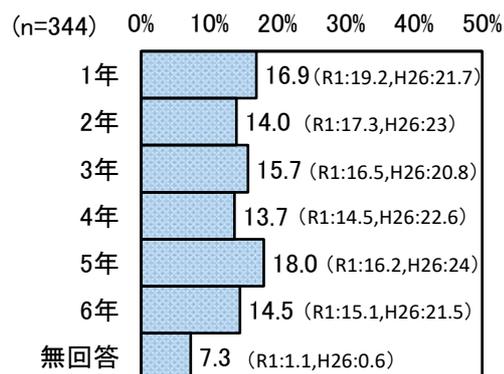
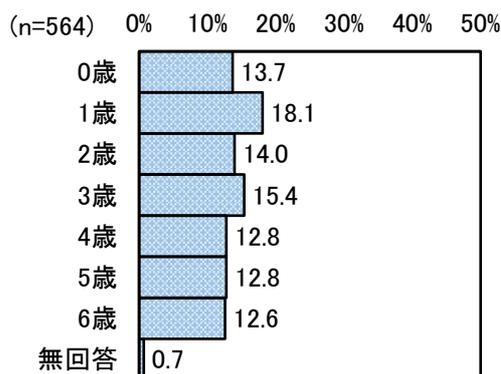
問 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。【就学前：問4、小学生：問4】

就学前では、「0歳」が13.7%、「1歳」が18.1%、「2歳」が14.0%、「3歳」が15.4%、「4歳」と「5歳」がともに12.8%、「6歳」が12.6%となっています。

小学生では、「1年」が16.9%、「2年」が14.0%、「3年」が15.7%、「4年」が13.7%、「5年」が18.0%、「6年」が14.5%となっています。

【就学前】

【小学生】



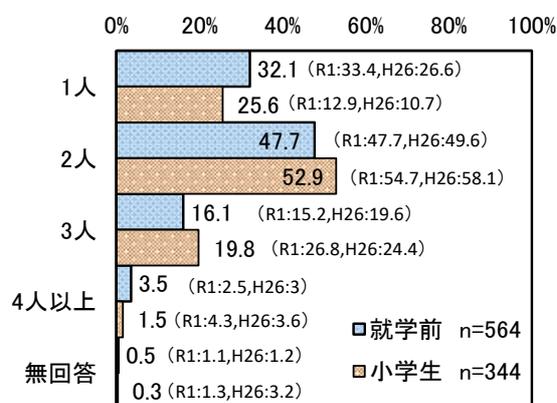
(4) こどもの人数

問 お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。【就学前：問5、小学生：問5】

就学前は、「2人」が47.7%で最も多く、次いで「1人」が32.1%、「3人」が16.1%、「4人以上」が3.5%となっています。経年変化について顕著な傾向は見られません

小学生は、「2人」が52.9%で最も多く、次いで「1人」が25.6%、「3人」が19.8%、「4人以上」が1.5%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「1人」で、前回からは+12.7ポイント、前々回との比較では+14.9ポイントの差異となっています。



第2章 調査結果

(5) 主に子育てをしている人

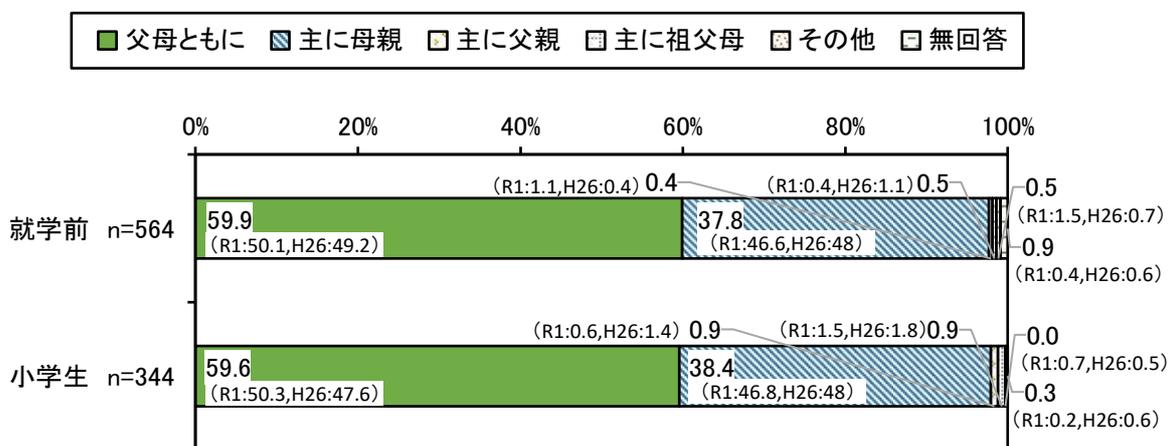
問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【就学前：問6、小学生：問6】

就学前では、「父母ともに」が59.9%で最も多く、次いで「主に母親」が37.8%、「主に祖父母」が0.5%、「主に父親」が0.4%となっています。

経年変化をみると、「父母ともに」が前々回との比較で+10.7ポイントの差異、「主に母親」は、前々回との比較で-10.2ポイントの差異となっています。

小学生では、「父母ともに」が59.6%で最も多く、次いで「主に母親」が38.4%、「主に父親」と「主に祖父母」がともに0.9%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「父母ともに」で、前々回との比較では+12.0ポイントの差異となっています。



(6) 同居・近居の状況

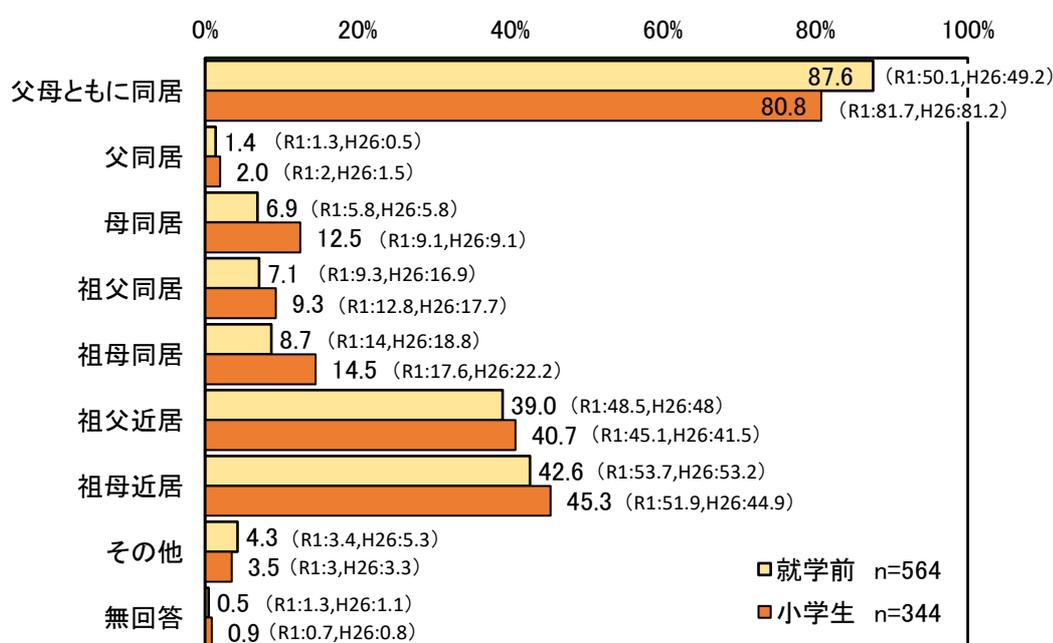
問 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお
うかがいします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

【就学前：問7、小学生：問7】

就学前では、「父母ともに同居」が87.6%で最も多く、次いで「祖母近居」が42.6%、「祖父
近居」が39.0%、「祖母同居」が8.7%、「祖父同居」が7.1%となっています。

経年変化をみると、「祖母近居」が、前回との比較で-11.1ポイントの差異、前々回との比較
では-10.6ポイントの差異となっています。

小学生では、「父母ともに同居」が80.8%で最も多く、次いで「祖母近居」が45.3%、「祖父
近居」が40.7%、「祖母同居」が14.5%、「母同居」が12.5%となっています。



3 こどもの育ちをめぐる環境について

(1) こどもをみてもらえる親族・友人の有無

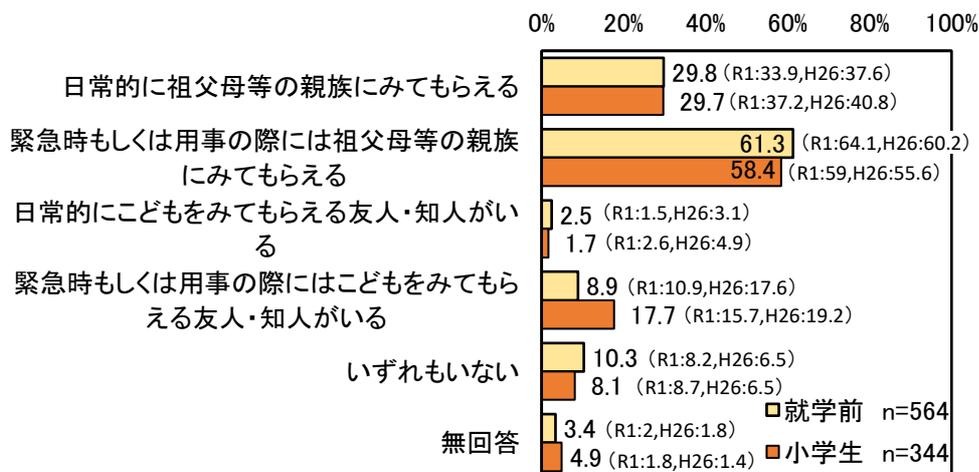
問 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

【就学前：問8、小学生：問8】

就学前では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.3%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が29.8%、「いずれもない」が10.3%、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が8.9%、「日常的にこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が2.5%となっています。

小学生では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.4%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が29.7%、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が17.7%、「いずれもない」が8.1%、「日常的にこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が1.7%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」で、前々回との比較では-11.1ポイントの差異となっています。



(2) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

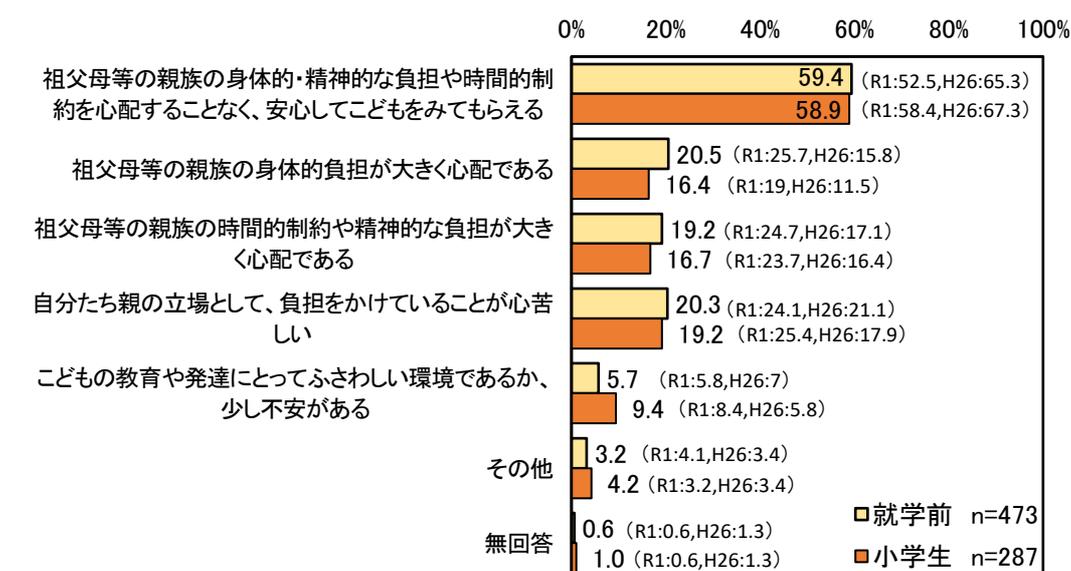
問8-1は、問8で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問 祖父母等の親族にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【就学前：問8-1、小学生：問8-1】

就学前では、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が59.4%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が20.5%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が20.3%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が19.2%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が5.7%となっています。

小学生では、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が58.9%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が19.2%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が16.7%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が16.4%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が9.4%となっています。



(3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問8-2は、問8で「3.」または「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問 友人・知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

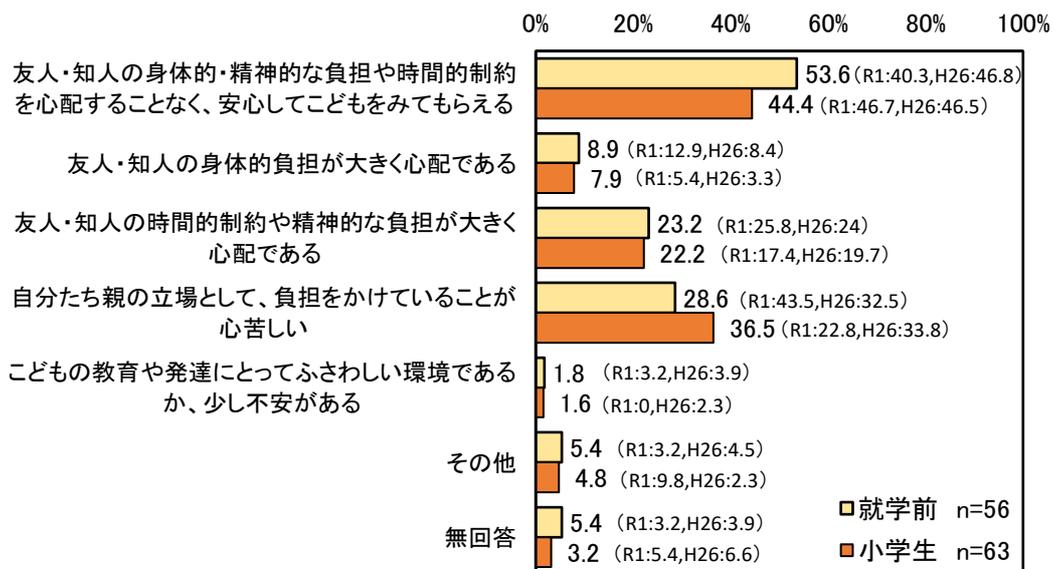
【就学前：問8-2、小学生：問8-2】

就学前では、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 53.6%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 28.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 23.2%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が 8.9%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が 1.8%となっています。

経年変化をみると、増加傾向なのが「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」で、前回との比較では+13.3ポイントの差異となっています。「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」は減少傾向で、前回との比較で-14.9ポイントの差異となっています。

小学生では、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 44.4%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 36.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 22.2%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が 7.9%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が 1.6%となっています。

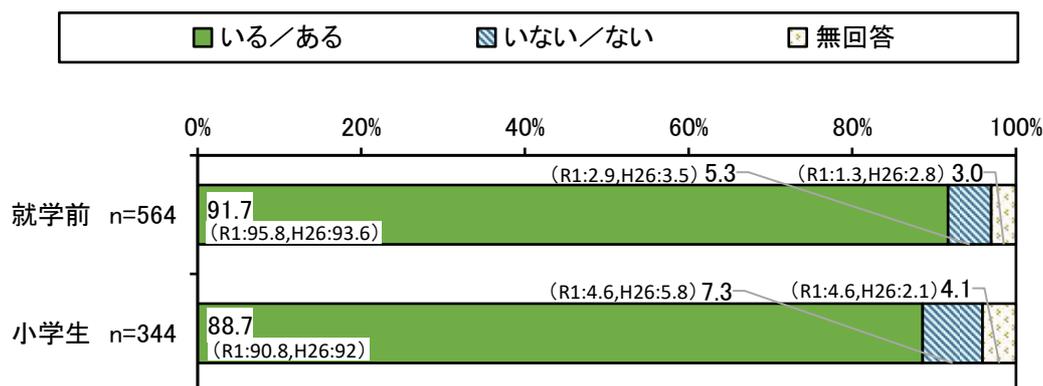
経年変化をみると、変化が見られるのは「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」で、前回との比較で+13.7ポイントの差異となっています。



(4) 相談できる人、相談できる場所の有無

問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【就学前：問9、小学生：問9】

就学前では、「いる／ある」が91.7%、「いない／ない」が5.3%となっています。
小学生では、「いる／ある」が88.7%、「いない／ない」が7.3%となっています。



(5) 相談先

問9-1は、問9で「1.」を選んだ方にお尋ねします。

問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

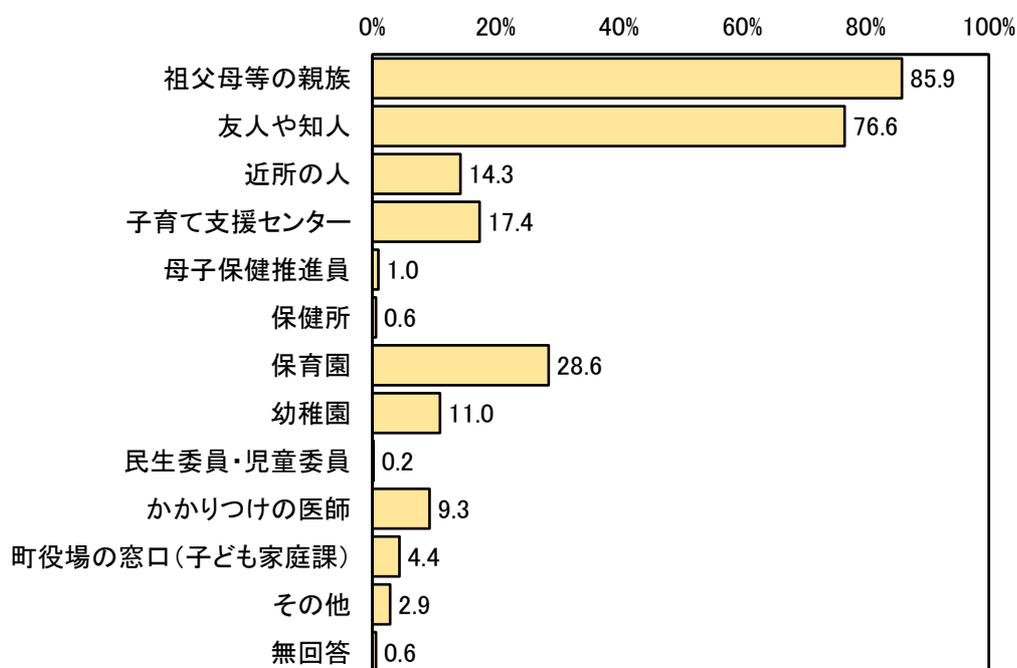
【就学前：問9-1、小学生：問9-1】

就学前では、「祖父母等の親族」が85.9%で最も多く、次いで「友人や知人」が76.6%、「保育園」が28.6%、「子育て支援センター」が17.4%、「近所の人」が14.3%となっています。

小学生では、「友人や知人」が78.7%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が74.4%、「小学校」が29.5%、「近所の人」が10.5%、「かかりつけの医師」が5.6%となっています。

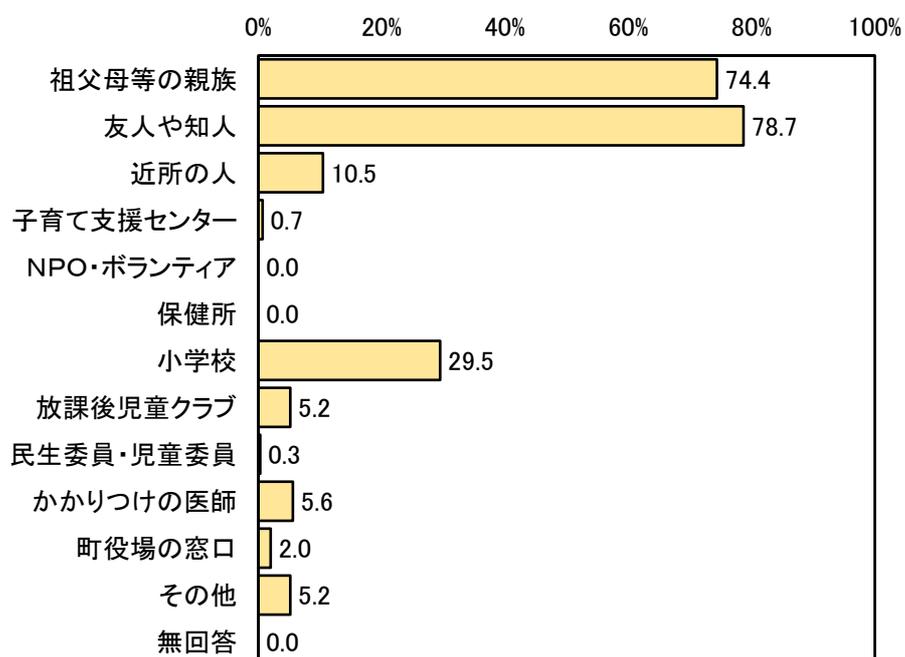
【就学前】

(n=517)



【小学生】

(n=305)



4 保護者の働いている状況について

(1) 母親の就労状況

問 母親の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をお尋ねします。（父子家庭の場合は記入不要です）【就学前：問10、小学生：問10】

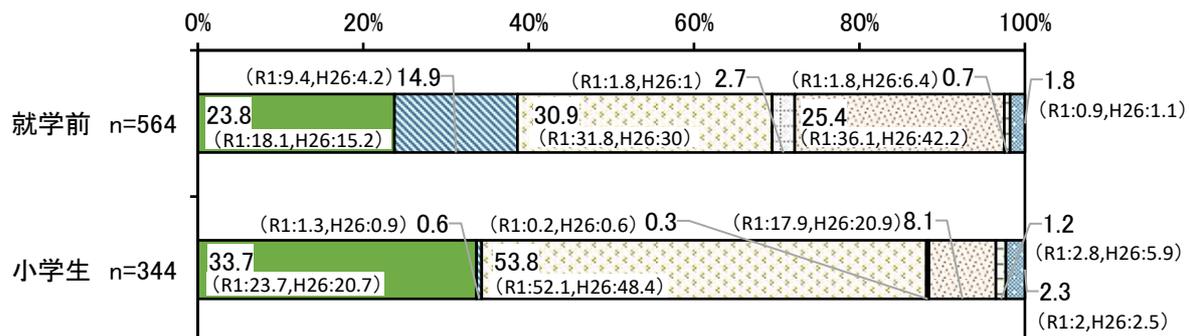
就学前では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.8%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が14.9%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が30.9%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が2.7%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が25.4%、「これまで働いたことがない」が0.7%となっています。

経年変化をみると、増加傾向なのが「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」で、前々回との比較では+10.7ポイントの差異となっています。「以前は働いていたが、現在は働いていない」は減少傾向で、前回との比較で-10.7ポイント、前々回との比較では-16.8ポイントの差異となっています。

小学生では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.7%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が0.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が53.8%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が0.3%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が8.1%、「これまで働いたことがない」が1.2%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」で、前々回との比較では+13.0ポイントの差異となっています。

- フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で働いているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働いているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は働いていたが、現在は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答



(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

問10-1~2は、問10で「1.」~「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問 1週間あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【就学前：問10-1、小学生：問10-1】

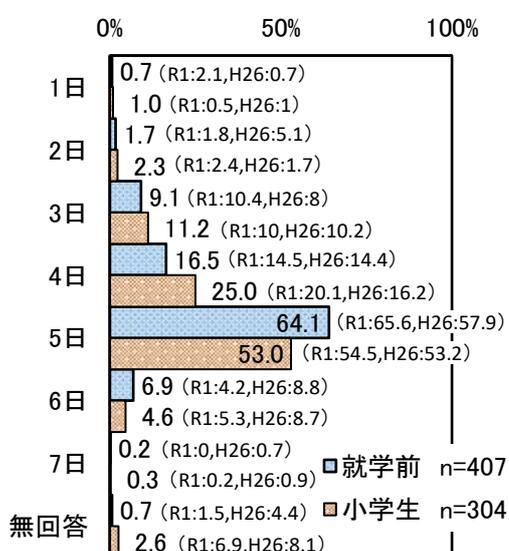
就学前の1週間あたりの就労日数は、「5日」が64.1%で最も多く、次いで「4日」が16.5%、「3日」が9.1%となっています。

また、就学前の1日あたりの就労時間は、「8時間」が27.3%で最も多く、次いで「6時間」が17.7%、「7時間」が17.4%、「5時間」が14.3%、「4時間」が9.3%となっています。

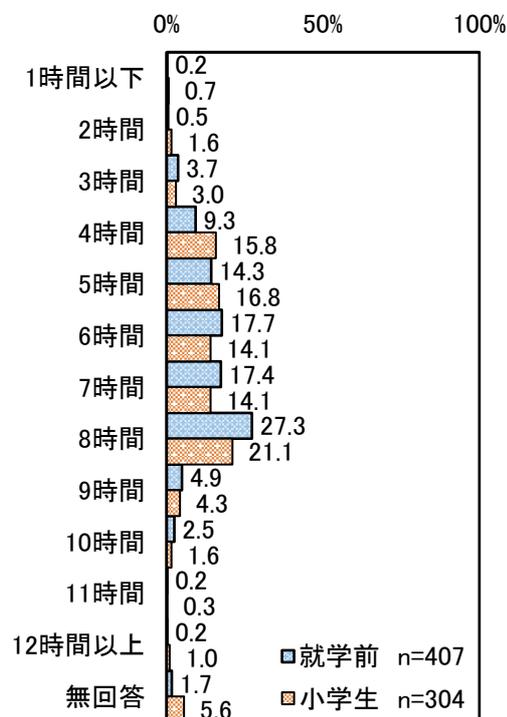
小学生の1週間あたりの就労日数は、「5日」が53.0%で最も多く、次いで「4日」が25.0%、「3日」が11.2%となっています。

また、小学生の1日あたりの就労時間は、「8時間」が21.1%で最も多く、次いで「5時間」が16.8%、「4時間」が15.8%、「6時間」と「7時間」がともに14.1%となっています。

○1週間あたりの就労日数



○1日あたりの就労時間



(3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【就学前：問10-2、小学生：問10-2】

就学前の母親が家を出る時刻は、「8時台」が44.2%で最も多く、次いで「7時台」が39.3%、「9時台」が8.6%となっています。

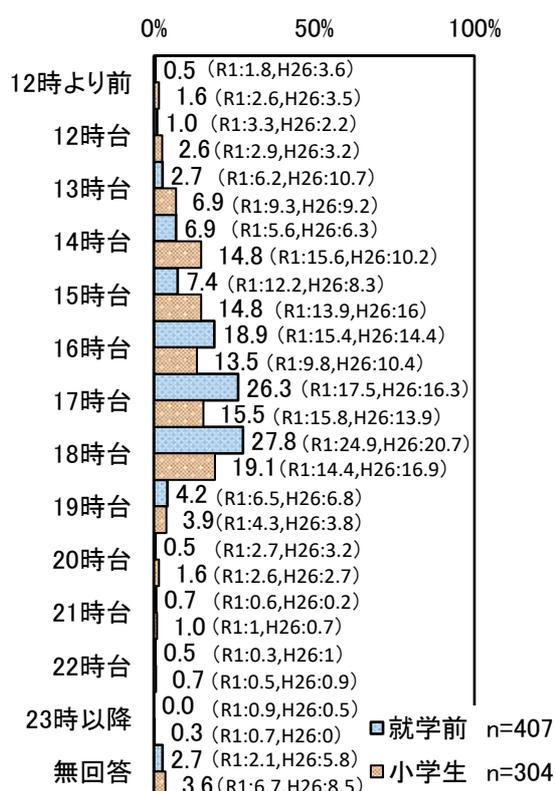
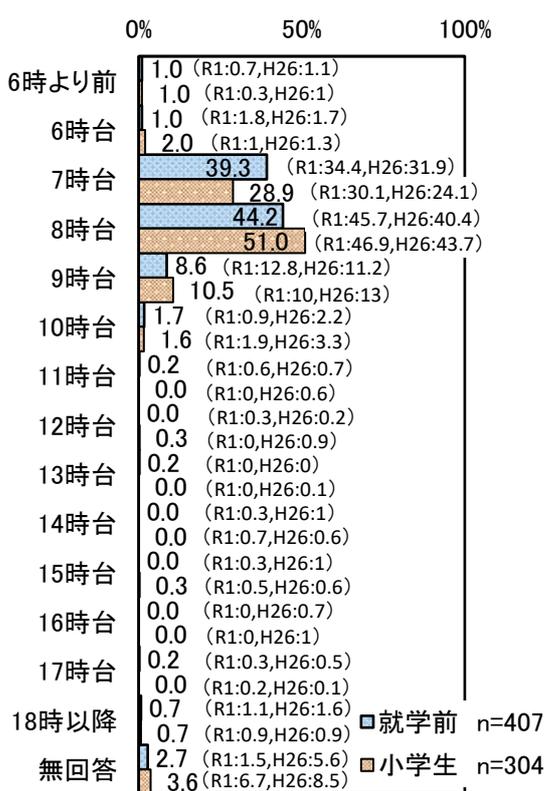
また、就学前の母親の帰宅時刻は、「18時台」が27.8%で最も多く、次いで「17時台」が26.3%、「16時台」が18.9%となっています。

小学生の母親が家を出る時刻は、「8時台」が51.0%で最も多く、次いで「7時台」が28.9%、「9時台」が10.5%となっています。

また、小学生の母親の帰宅時刻は、「18時台」が19.1%で最も多く、次いで「17時台」が15.5%、「14時台」と「15時台」がともに14.8%、「16時台」が13.5%となっています。

○家を出る時刻

○帰宅時刻



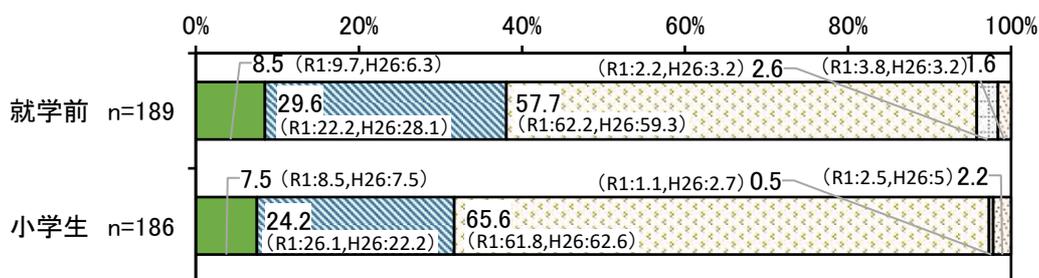
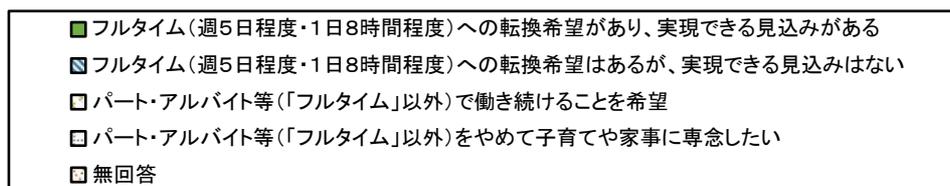
(4) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問11は、問10で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で働いている）を選んだ方にお尋ねします。

問 フルタイムへの転換希望はありますか。【就学前：問11、小学生：問11】

就学前では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.5%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働き続けることを希望」が57.7%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」が2.6%となっています。

小学生では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.5%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.2%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働き続けることを希望」が65.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」が0.5%となっています。



(5) 就労していない母親の就労希望

問12は、問10で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選んだ方にお尋ねします。

問 働きたいという希望はありますか。また、該当する箇所に数字をご記入ください。

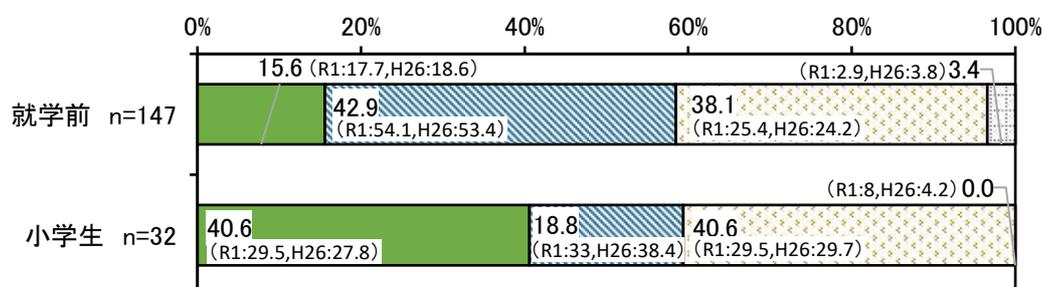
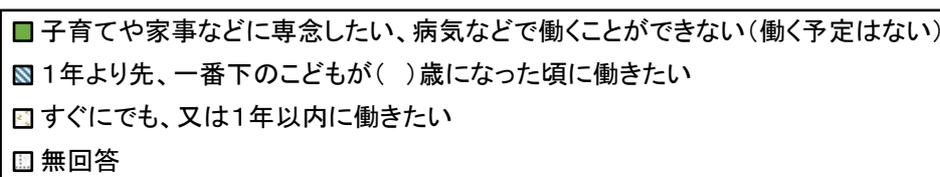
【就学前：問12、小学生：問12】

就学前では、「子育てや家事などに専念したい、病気などで働くことができない（働く予定はない）」が15.6%、「1年より先、一番下のこどもが（ ）歳になった頃に働きたい」が42.9%、「すぐにでも、又は1年以内に働きたい」が38.1%となっています。

経年変化をみると、減少傾向なのが「1年より先、一番下のこどもが（ ）歳になった頃に働きたい」で、前回との比較で-11.2ポイント、前々回との比較では-10.5ポイントの差異となっています。「すぐにでも、又は1年以内に働きたい」は増加傾向で、前回との比較で+12.7ポイント、前々回との比較では+13.9ポイントの差異となっています。

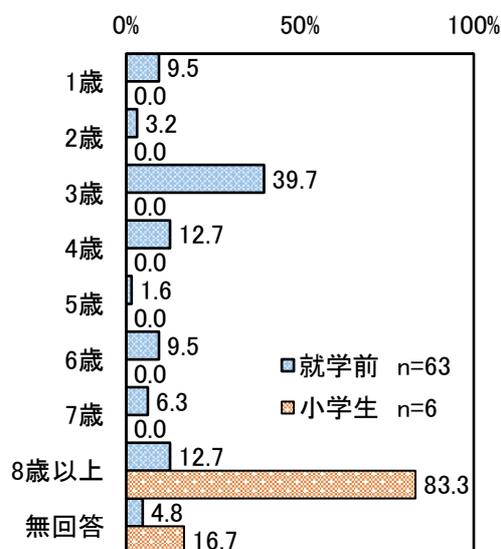
小学生では、「子育てや家事などに専念したい、病気などで働くことができない（働く予定はない）」が40.6%、「1年より先、一番下のこどもが（ ）歳になった頃に働きたい」が18.8%、「すぐにでも、又は1年以内に働きたい」が40.6%となっています。

経年変化をみると、増加傾向なのが「子育てや家事などに専念したい、病気などで働くことができない（働く予定はない）」で、前回との比較で+11.1ポイント、前々回との比較では+12.8ポイントの差異となっています。また、「すぐにでも、又は1年以内に働きたい」も、前回との比較で+11.1ポイント、前々回との比較では+10.9ポイントの差異となっており増加傾向です。一方で、「1年より先、一番下のこどもが（ ）歳になった頃に働きたい」は、前回との比較で-14.2ポイント、前々回との比較では-19.6ポイントの差異と減少傾向となっています。



第2章 調査結果

就労希望時の下のこどもの年齢は、就学前では、「3歳」が39.7%で最も多くなっています。

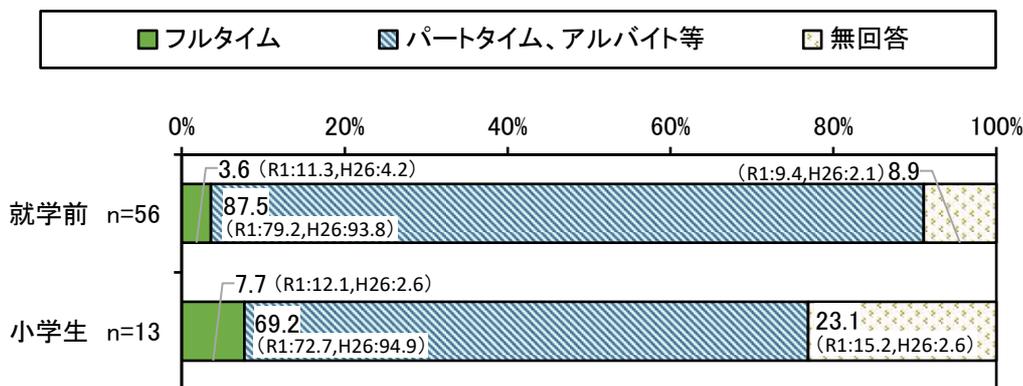


希望する働き方は、就学前では、「フルタイム」が3.6%、「パート・アルバイト等」が87.5%となっています。

小学生では、「フルタイム」が7.7%、「パート・アルバイト等」が69.2%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「パートタイム、アルバイト等」で、前々回との比較では-25.7ポイントの差異となっています。

(1) 母親：希望する働き方



希望する1週当たりの就労日数は、就学前では、「3日」が42.9%で最も多く、次いで「4日」が32.7%、「5日」が12.2%となっています。

経年変化をみると、増加傾向なのが「3日」で、前回との比較では+19.1ポイント、前々回との比較では+15.1ポイントの差異となっています。「4日」と「5日」は減少傾向で、「4日」は、前回との比較で-10.2ポイントの差異、「5日」は、前回との比較で-16.4ポイント、前々回との比較では-21.1ポイントの差異となっています。

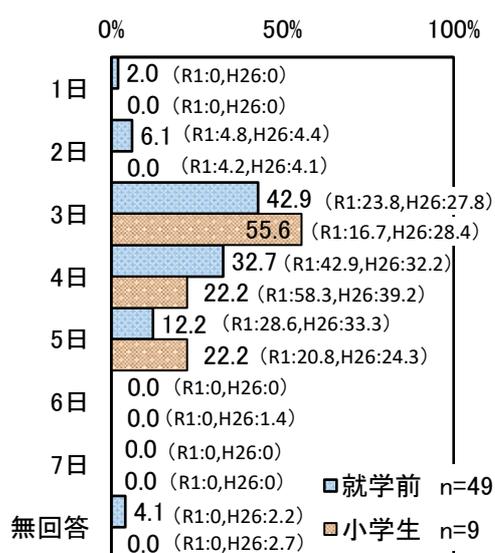
小学生では、「3日」が55.6%で最も多く、次いで「4日」と「5日」がともに22.2%となっています。

経年変化をみると、増加傾向なのが「3日」で、前回との比較では+38.9ポイント、前々回との比較では+27.2ポイントの差異となっています。「4日」は減少傾向で、前回との比較で-36.1ポイント、前々回との比較では-17.0ポイントの差異となっています。

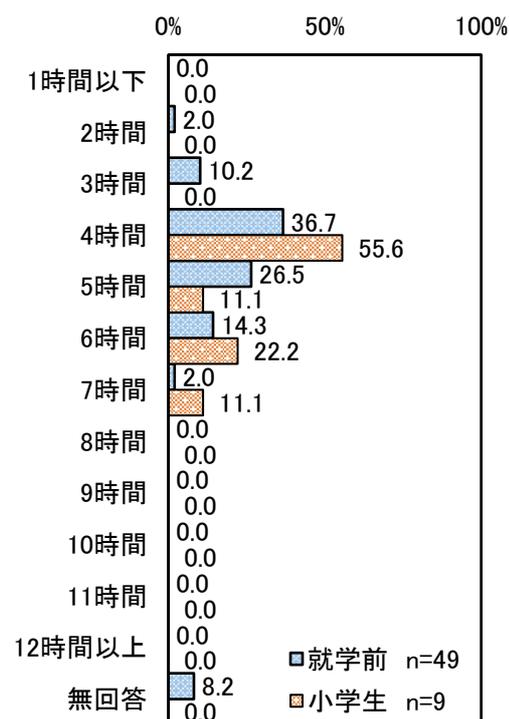
また、希望する1日あたりの就労時間は、就学前では、「4時間」が36.7%で最も多く、次いで「5時間」が26.5%、「6時間」が14.3%、「3時間」が10.2%となっています。

小学生では、「4時間」が55.6%で最も多く、次いで「6時間」が22.2%、「5時間」と「7時間」がともに11.1%となっています。

(1) 母親：1週当たりの就労日数



(1) 母親：1日あたりの就労時間



(6) 就労していない母親の就労していない理由

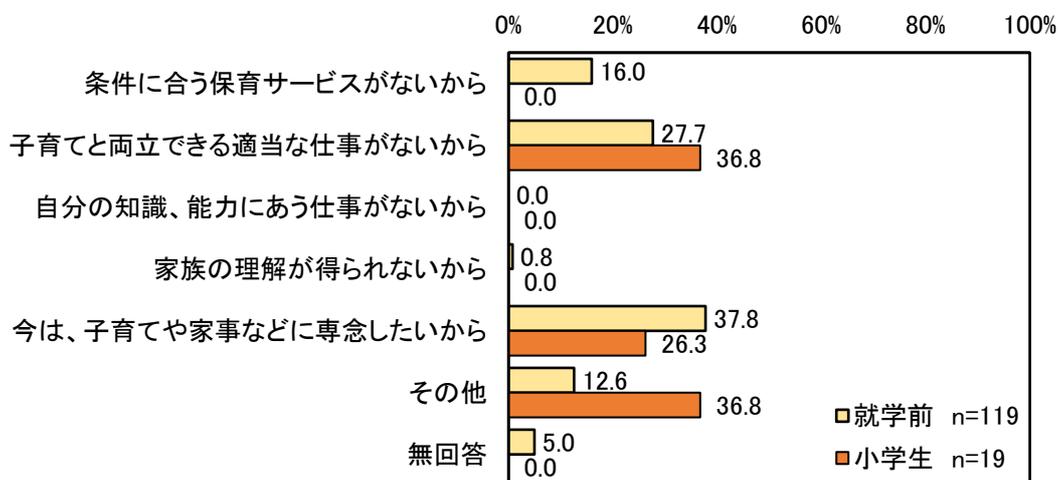
問12-1は、問12で「2.」または「3.」を選んだ方にお尋ねします。

問 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

【就学前：12-1、小学生：問12-1】

就学前では、「今は、子育てや家事などに専念したいから」が37.8%で最も多く、次いで「子育てと両立できる適当な仕事がないから」が27.7%、「条件に合う保育サービスがないから」が16.0%、「家族の理解が得られないから」が0.8%となっています。

小学生では、「子育てと両立できる適当な仕事がないから」が36.8%で最も多く、次いで「今は、子育てや家事などに専念したいから」が26.3%となっています。



(7) 父親の就労状況

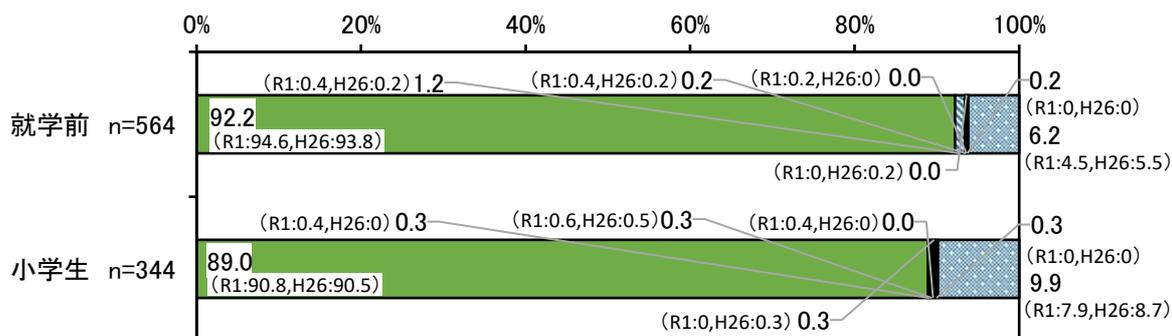
問 父親の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をお尋ねします。（母子家庭の場合は記入不要です）【就学前：問13、小学生：問13】

就学前では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が92.2%で最も多く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が1.2%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」と「これまで働いたことがない」がともに0.2%となっています。

小学生では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が89.0%で最も多く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」と「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」と「以前は就労していたが、現在は働いていない」がいずれも0.3%となっています。

(n=564)

- フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▣ フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で働いているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働いているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は働いていたが、現在は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答



(8) 就労している父親の就労日数・就労時間

問13-1~2は、問13で「1.」~「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問 1週間あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【就学前：問13-1、小学生：問13-1】

就学前の1週間あたりの就労日数は、「5日」が78.0%で最も多く、次いで「6日」が16.9%となっています。

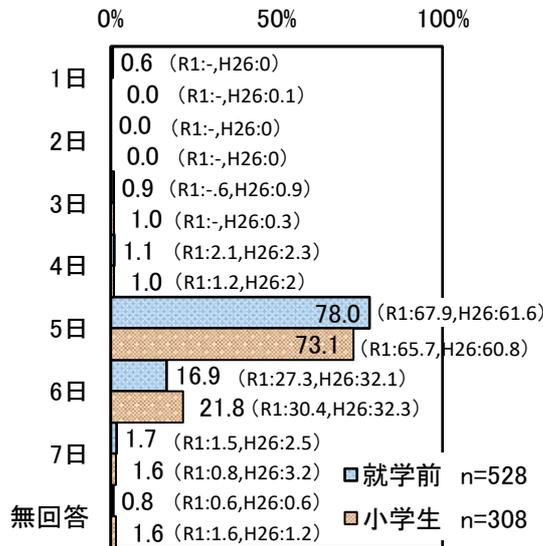
経年変化をみると、変化が見られるのは「5日」と「6日」で、「5日」は前回との比較で+10.1ポイント、前々回との比較では+16.4ポイントの差異、「6日」は、前回との比較で-10.4ポイント、前々回との比較では-15.2ポイントの差異となっています。

また、就学前の1日あたりの就労時間は、「8時間」が36.7%で最も多く、次いで「10時間」が22.0%、「9時間」が18.9%、「12時間以上」が10.2%となっています。

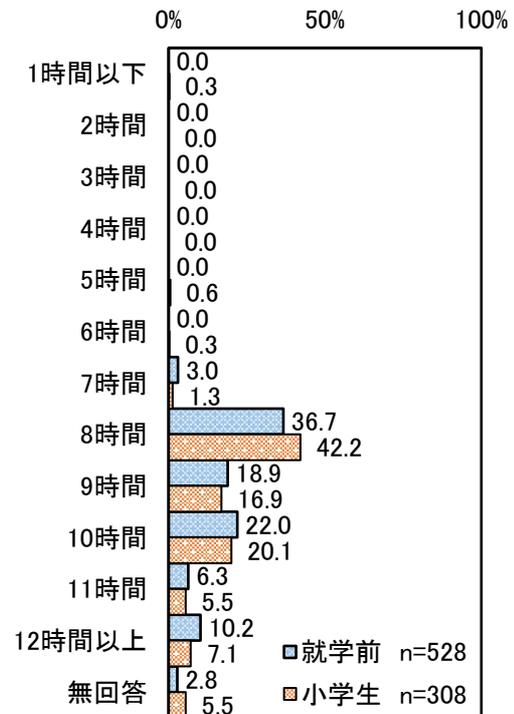
小学生の1週間あたりの就労日数は、「5日」が73.1%で最も多く、次いで「6日」が21.8%となっています。

また、小学生の1日あたりの就労時間は、「8時間」が42.2%で最も多く、次いで「10時間」が20.1%、「9時間」が16.9%となっています。

○1週間あたりの就労日数



○1日あたりの就労時間【就学前】



(9) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【就学前：問13-2、小学生：問13-2】

就学前の父親が家を出る時刻は、「7時台」が50.4%で最も多く、次いで「6時台」が18.0%、「8時台」が15.5%、「6時より前」が11.4%となっています。

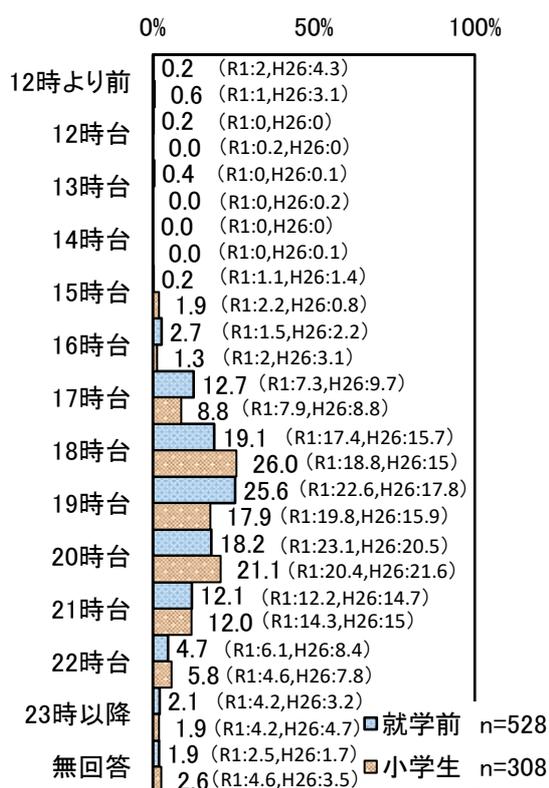
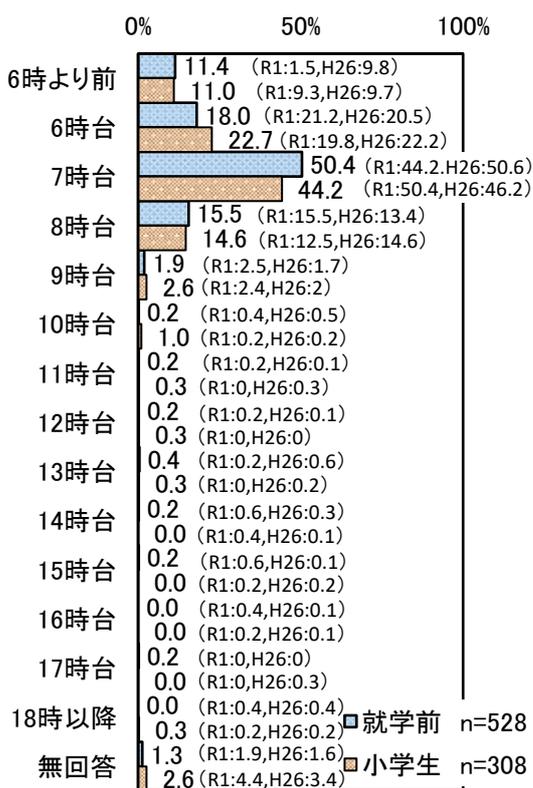
また、就学前の父親の帰宅時刻は、「19時台」が25.6%で最も多く、次いで「18時台」が19.1%、「20時台」が18.2%、「17時台」が12.7%、「21時台」が12.1%となっています。

小学生の父親が家を出る時刻は、「7時台」が44.2%で最も多く、次いで「6時台」が22.7%、「8時台」が14.6%、「6時より前」が11.0%となっています。

また、小学生の父親の帰宅時刻は、「18時台」が26.0%で最も多く、次いで「20時台」が21.1%、「19時台」が17.9%、「21時台」が12.0%となっています。

○家を出る時刻

○帰宅時刻



(10) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

問14は、問13で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で働いている)を選んだ方にお尋ねします。

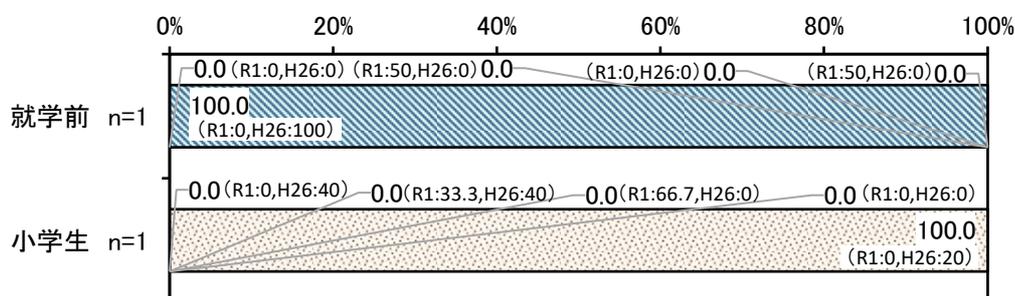
問 フルタイムへの転換希望はありますか。【就学前：問14、小学生：問14】

父親について、就学前では、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が100.0%となっています。

経年変化をみると、増加傾向なのが「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」で、前回との比較では+100.0ポイントの差異となっています。「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働き続けることを希望」は減少しており、前回との比較では-50.0ポイントの差異となっています。

小学生では、有効回答が得られませんでした。

- フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働き続けることを希望
- ▤ パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



(11) 就労していない父親の就労希望

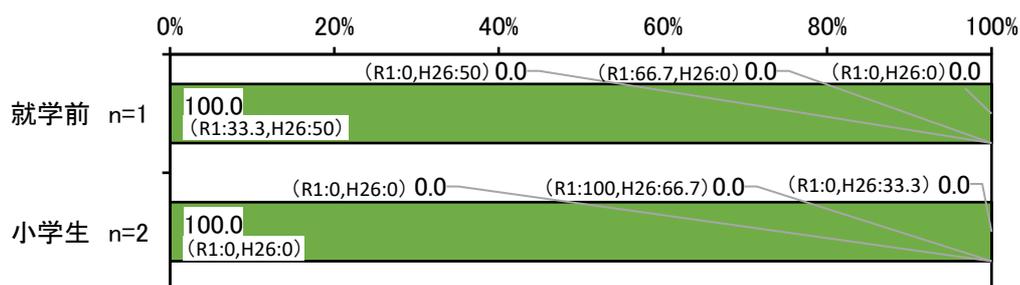
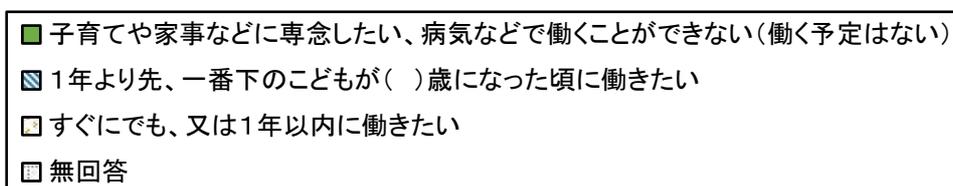
問15は、問13で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選んだ方にお尋ねします。

問 働きたいという希望はありますか。また、該当する箇所に数字をご記入ください。

【就学前：問15、小学生：問15】

就学前では、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が100.0%となっています。経年変化をみると、増加傾向なのが「子育てや家事などに専念したい、病気などで働くことができない(働く予定はない)」で、前回との比較で+66.7ポイント、前々回との比較では+50.0ポイントの差異となっています。「1年より先、一番下のこどもが()歳になった頃に働きたい」は減少傾向で、前々回との比較では-50.0ポイントの差異、「すぐにでも、又は1年以内に働きたい」も減少傾向で、前回との比較では-66.7ポイントの差異となっています。

小学生では、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が100.0%となっています。経年変化をみると、増加傾向なのが「子育てや家事などに専念したい、病気などで働くことができない(働く予定はない)」で、前回との比較で+100.0ポイント、前々回との比較では+100.0ポイントの差異となっています。「すぐにでも、又は1年以内に働きたい」は減少傾向で、前回との比較で-100.0ポイント、前々回との比較では-66.7ポイントの差異となっています。



就労希望時の下のこどもの年齢
希望する働き方
1週当たりの就労日数
1日あたりの就労時間

※就学前、小学生ともに回答がありませんでした。

第2章 調査結果

(12) 就労していない父親の就労していない理由

問15-1は、問15で「2.」または「3.」を選んだ方にお尋ねします。

問 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

【就学前：問15-1、小学生：問15-1】

就学前、小学生ともに回答がありませんでした。

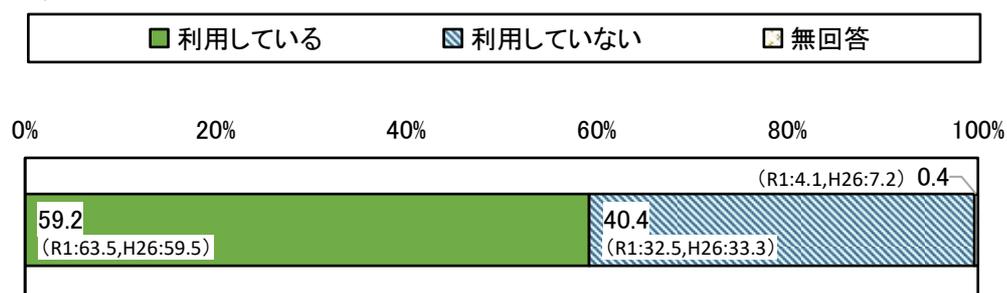
5 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について

(1) 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について

問 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。【就学前：問16】

「利用している」が59.2%、「利用していない」が40.4%となっています。

(n=564)



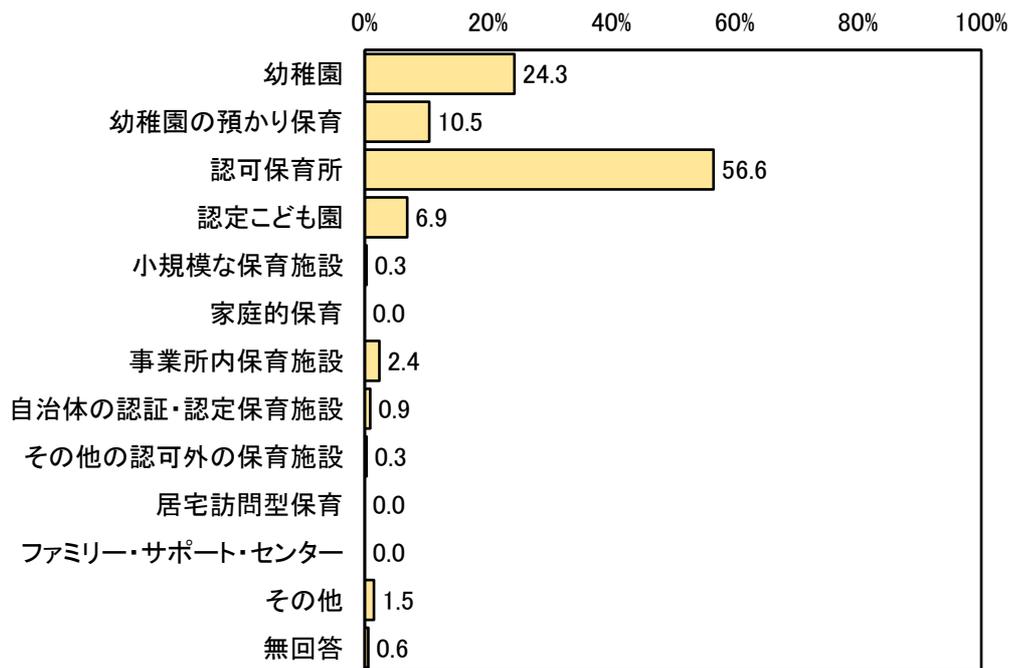
(2) 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所などについて

問16-1~4は、問16で「1. 利用している」を選んだ方にお尋ねします。

問 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。【就学前：問16-1】

「認可保育所」が56.6%で最も多く、次いで「幼稚園」が24.3%、「幼稚園の預かり保育」が10.5%、「認定こども園」が6.9%、「事業所内保育施設」が2.4%となっています。

(n=334)



(3) 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所などの利用状況・利用希望

問 平日に定期的に利用している幼稚園や保育所などについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かお答えください。【就学前：問16-2】

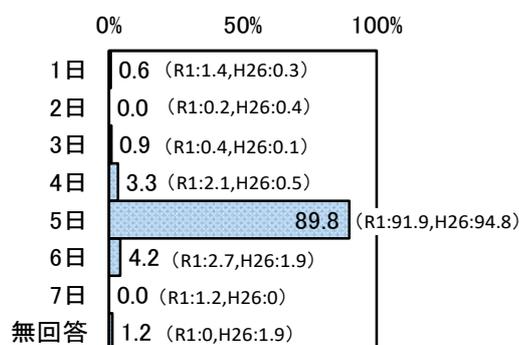
1週間あたりの利用日数について、現在の利用日数、希望する利用日数共に「5日」が最も多くなっています。

また、1日あたりの利用時間について、現在の利用時間、希望する利用時間ともに「8時間以上」が最も多くなっています。

○1週間あたりの利用日数

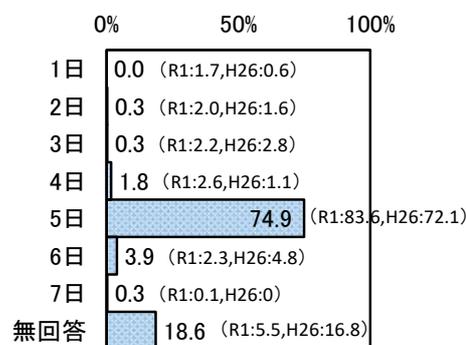
(1) 現在

(n=334)



(2) 希望

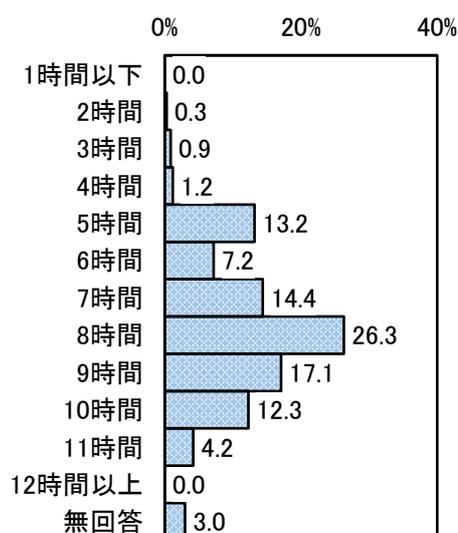
(n=334)



○1日あたりの利用時間

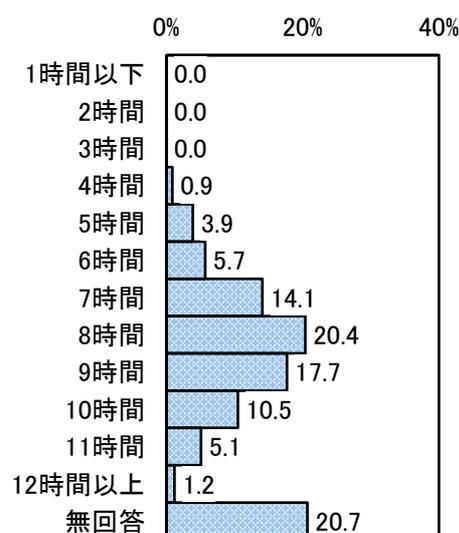
(1) 現在

(n=334)



(2) 希望

(n=334)



第2章 調査結果

利用開始時刻について、現在の利用開始時刻、希望する利用開始時刻ともに「8時台」が最も多くなっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「8時台」で、前々回との比較では-11.0ポイントの差異となっています。

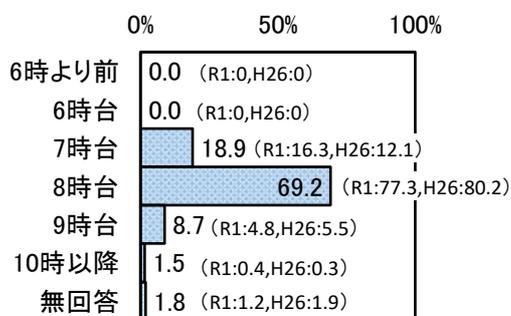
また、利用終了時刻について、現在の利用終了時刻は、希望する利用終了時刻ともに「16時台」が最も多くなっています。

経年変化をみると、減少傾向なのが「14時より前」と「14時台」で、「14時より前」は、前々回との比較では-15.2ポイントの差異、「14時台」も、前々回との比較では-17.5ポイントの差異となっています。「17時台」は増加傾向で、前回との比較で+12.5ポイント、前々回との比較では+12.8ポイントの差異となっています。

・利用開始時刻

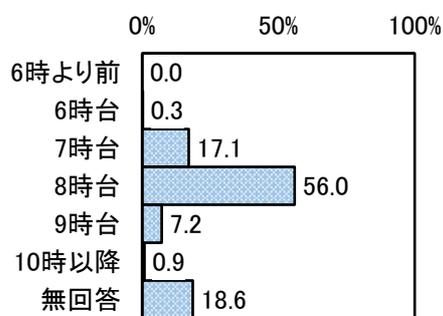
(1) 現在

(n=334)



(2) 希望

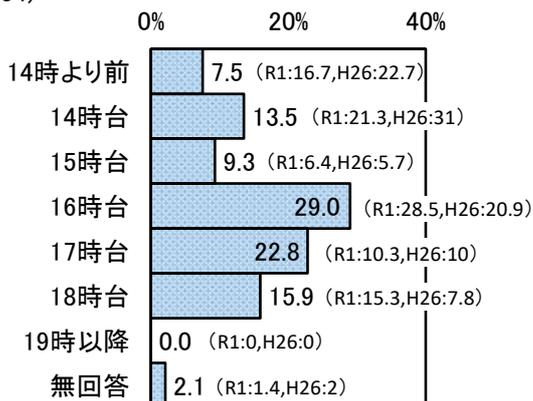
(n=334)



○利用終了時刻

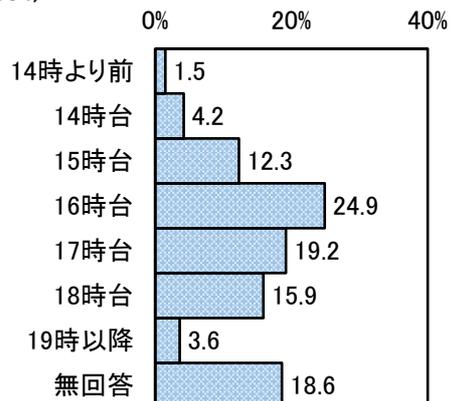
(1) 現在

(n=334)



(2) 希望

(n=334)

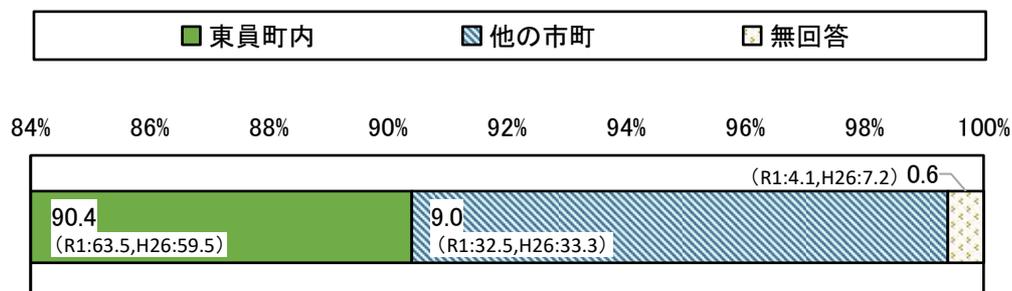


(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所

問 問16-1で選んだ教育・保育事業の実施場所はどこにありますか。【就学前：問16-3】

「東員町内」が90.4%、「他の市区町村」が9.0%となっています。

(n=334)

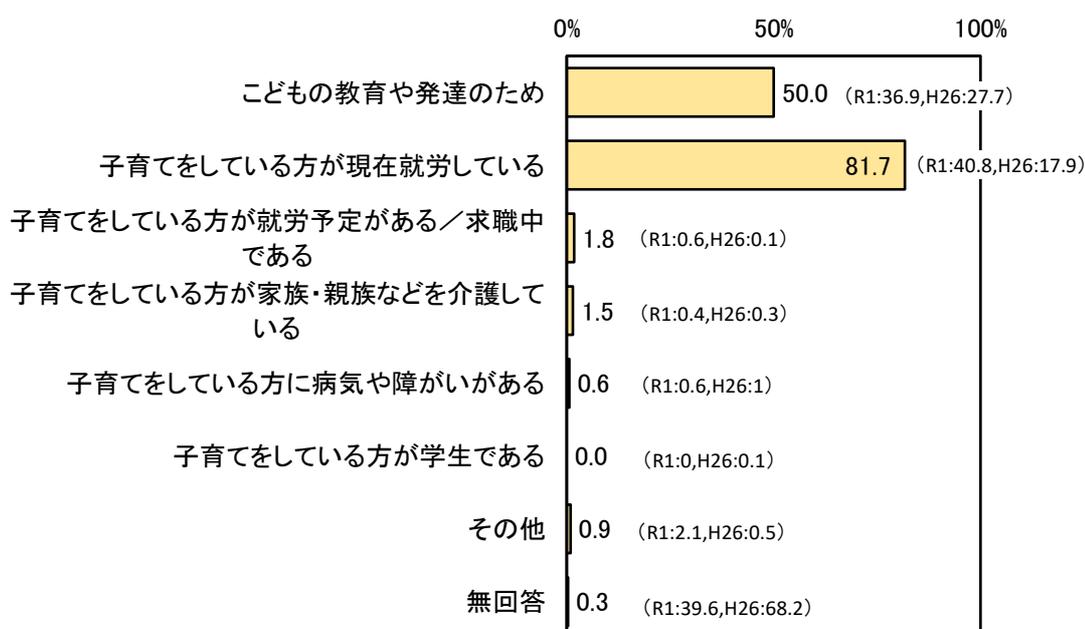


(5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由

問 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由は何ですか。【就学前：問16-4】

「子育てをしている方が現在就労している」が81.7%で最も多く、次いで「こどもの教育や発達のため」が50.0%、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」が1.8%、「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」が1.5%、「子育てをしている方に病気や障がいがある」が0.6%となっています。

(n=334)



(6) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由

問16-5は、問16で「2. 利用していない」を選んだ方にお尋ねします。

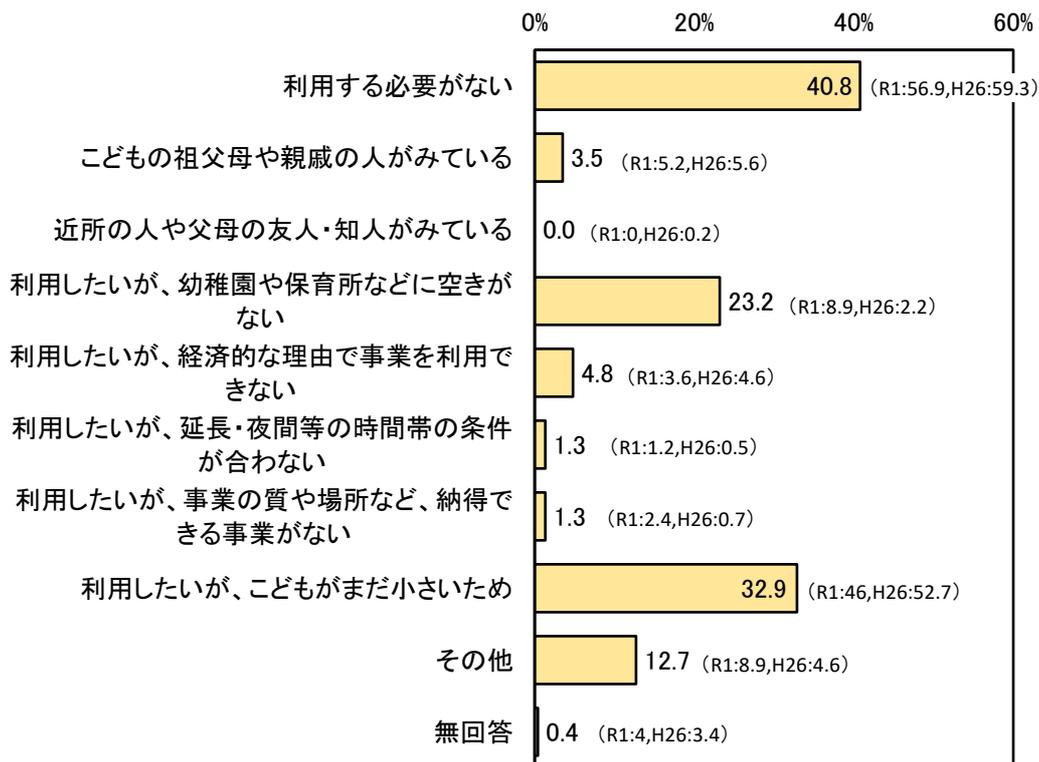
問 定期的に幼稚園や保育所などを利用していない理由は何ですか。【就学前 問16-5】

「利用する必要がない」が40.8%で最も多く、次いで「利用したいが、子どもがまだ小さいため」が32.9%、「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」が23.2%、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」が4.8%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が3.5%となっています。

経年変化をみると、「利用する必要がない」が減少傾向で、前回との比較では-16.1ポイント、前々回との比較では-18.5ポイントの差異、「利用したいが、子どもがまだ小さいため」も減少傾向で、前回との比較で-13.1ポイント、前々回との比較では-19.8ポイントの差異となっています。「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」は増加傾向で、前回との比較で+14.3ポイント、前々回との比較では+21.0ポイントの差異となっています。

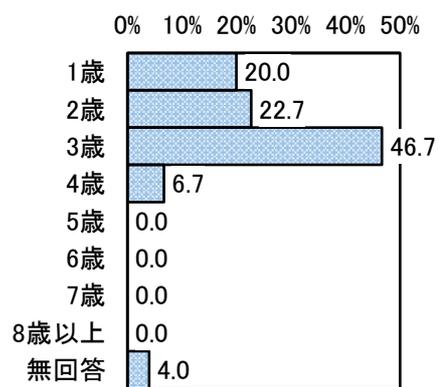
なお、事業の利用を予定している子どもの年齢は、「3歳」が46.7%で最も多くなっています。

(n=228)



○事業の利用を予定しているこどもの年齢

(n=75)

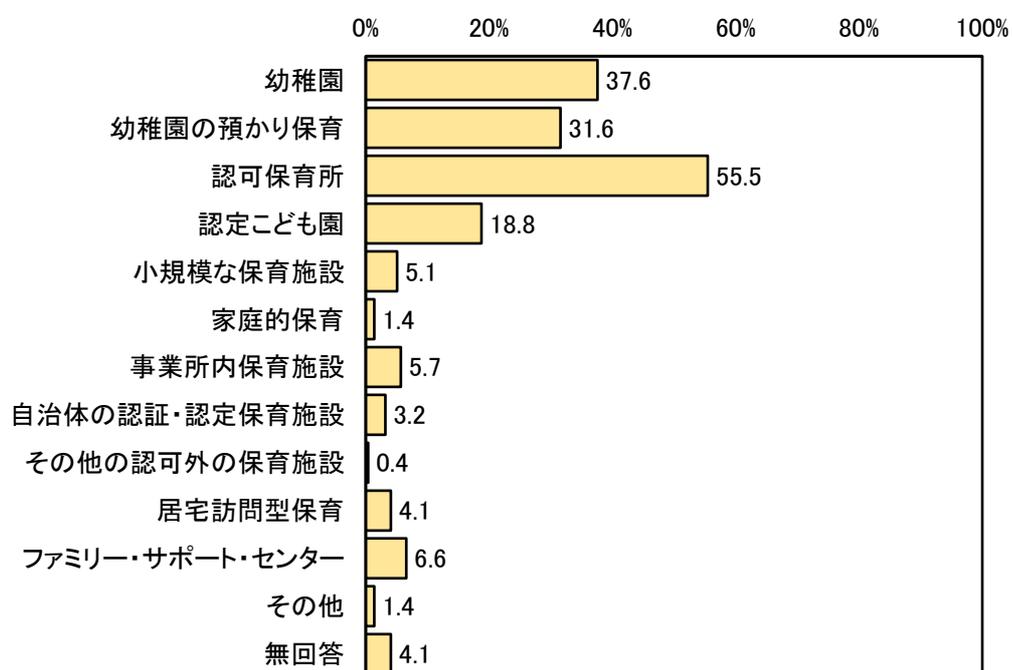


(7) 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業

問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいものをお答えください。※これらを利用するためには、一定の金銭的負担が必要となります。※保護者の就労状況は問わないことを前提にお答えください。
【就学前：問17】

「認可保育所」が55.5%で最も多く、次いで「幼稚園」が37.6%、「幼稚園の預かり保育」が31.6%、「認定こども園」が18.8%、「ファミリー・サポート・センター」が6.6%となっています。

(n=564)



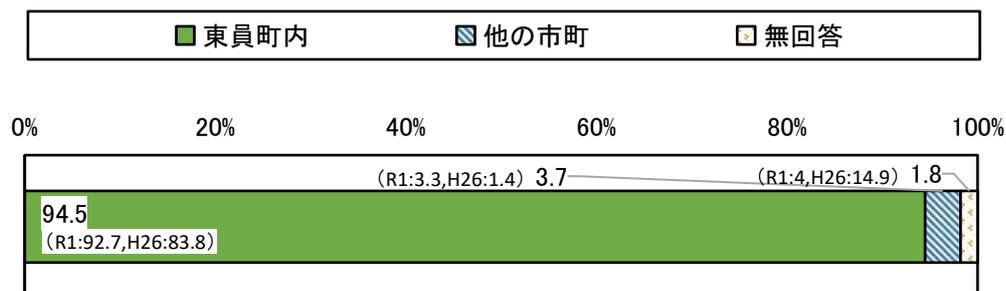
(8) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所

問 幼稚園や保育所などを利用したい場所はどこですか。【就学前：問17-1】

「東員町内」が94.5%、「他の市区町村」が3.7%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「東員町内」で、前々回との比較では+10.7ポイントの差異となっています。

(n=564)



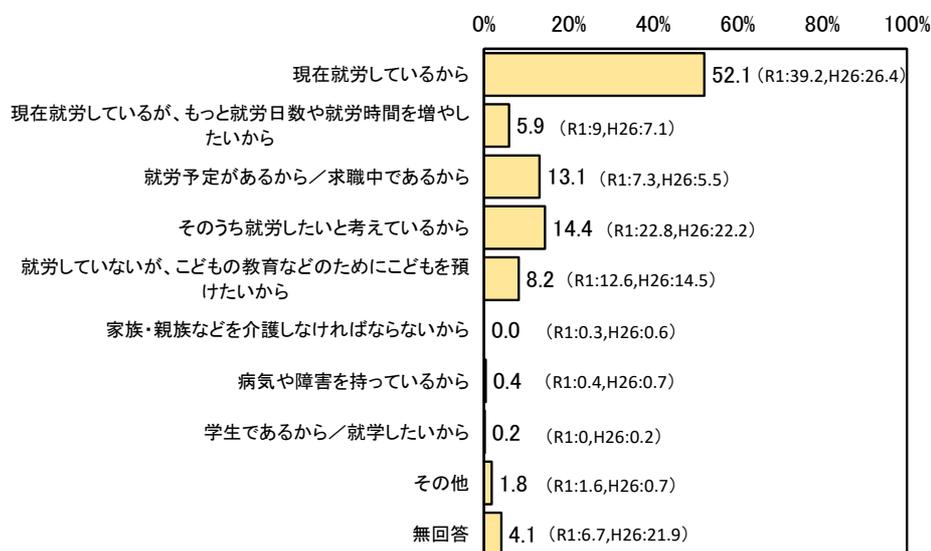
(9) サービスを利用したい理由

問 サービスを利用したいと考えている理由は主にどのようなことですか。【就学前：問17-2】

「現在就労しているから」が52.1%で最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えているから」が14.4%、「就労予定があるから／求職中であるから」が13.1%、「就労していないが、こどもの教育などのためにこどもを預けたいから」が8.2%、「現在就労しているが、もっと就労日数や就労時間を増やしたいから」が5.9%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「現在就労しているから」で、前回との比較で+12.9ポイント、前々回との比較では+25.7ポイントの差異となっています。

(n=564)



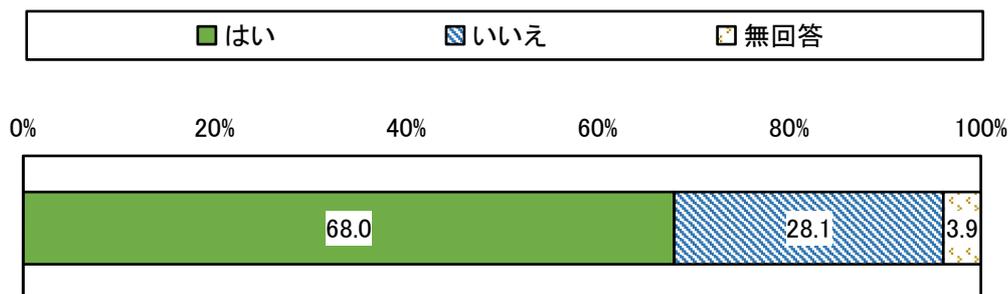
(10) 幼稚園の強い利用希望

問17-3は、問17で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」又は「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。

問 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
【就学前：17-3】

「はい」が68.0%、「いいえ」が28.1%となっています。

(n=128)

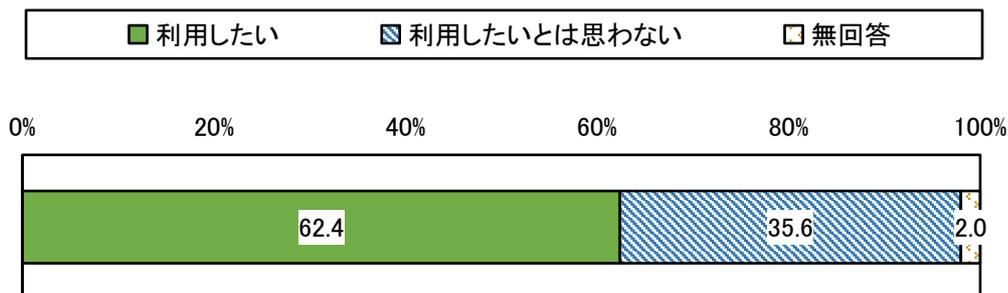


(11) 「こども誰でも通園制度」について

問 あて名のお子さんについて、国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）が本格実施された場合、利用したいと思いますか。【就学前：17-4】

「利用したい」が62.4%、「利用したいと思わない」が35.6%となっています。

(n=564)



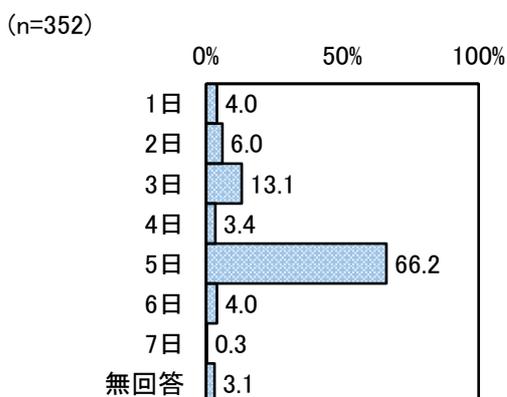
1週あたりの利用日数について、「5日」が66.2%で最も多く、次いで「3日」が13.1%となっています。

1日あたりの利用時間について、「8時間」が27.3%で最も多く、次いで「6時間」が14.5%、「7時間」が13.6%、「9時間」が13.4%となっています。

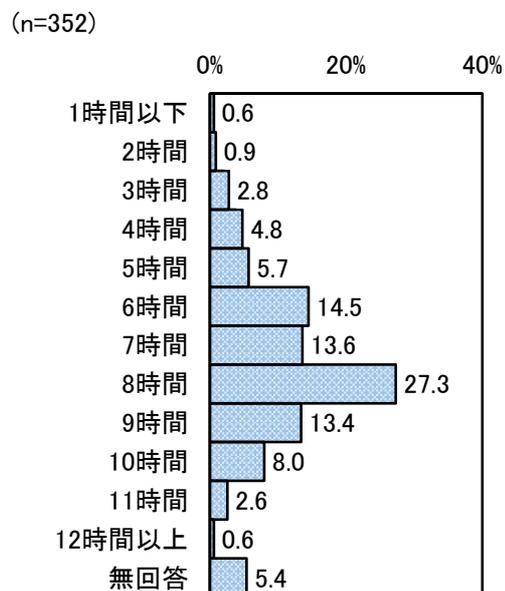
利用開始時刻について、「8時台」が54.0%で最も多く、次いで「9時台」が23.0%、「7時台」が11.1%となっています。

利用終了時刻について、「16時台」が31.5%で最も多く、次いで「17時台」が20.5%、「15時台」が13.9%、「18時台」が11.6%となっています。

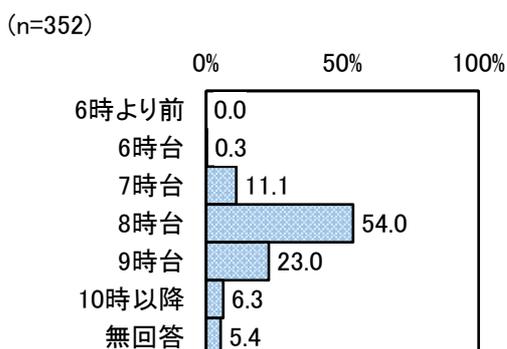
○1週あたりの利用日数



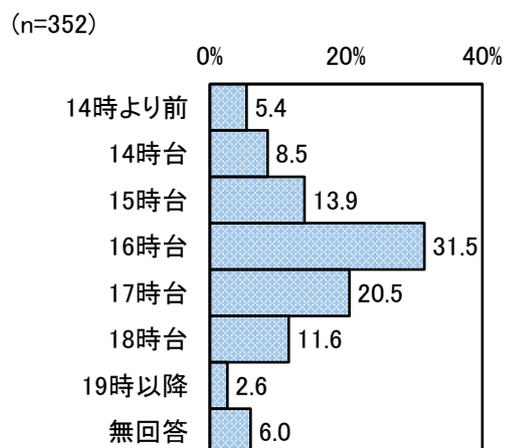
○1日あたりの利用時間



○利用開始時刻



○利用終了時刻



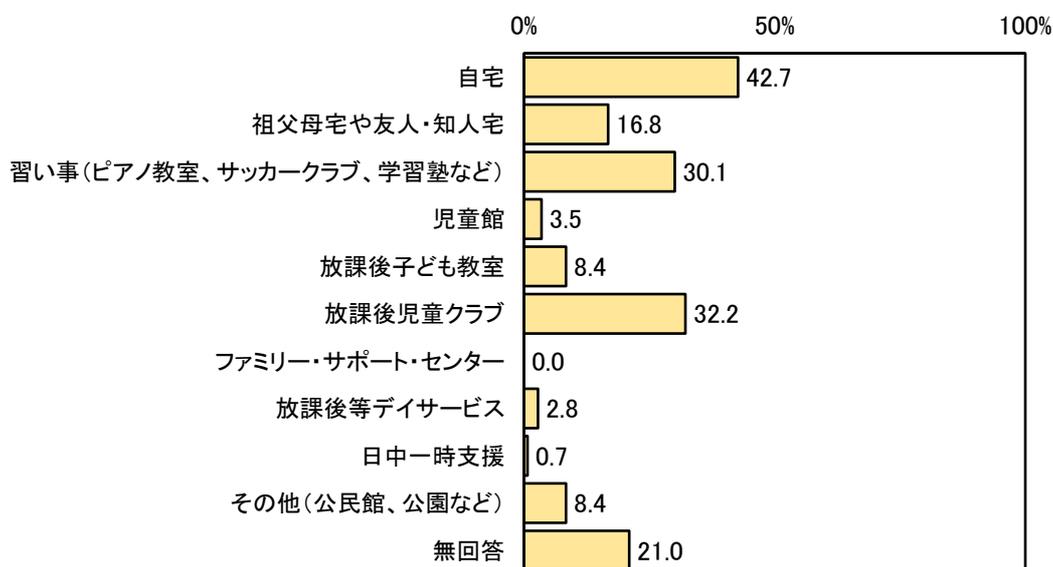
6 小学校就学後の放課後の過ごし方について【就学前：5歳以上のみ】

(1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。※「放課後児童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する時間もご記入ください。
【就学前：問18】

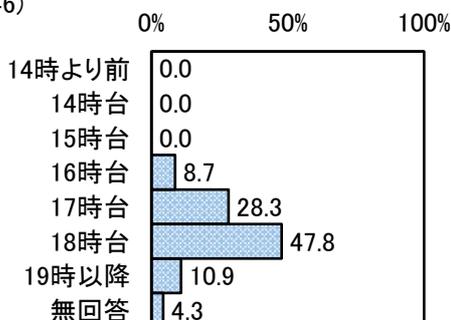
「自宅」が42.7%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が32.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が30.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」が16.8%、「放課後子ども教室」が8.4%となっています。

(n=143)



○放課後児童クラブの利用終了時刻

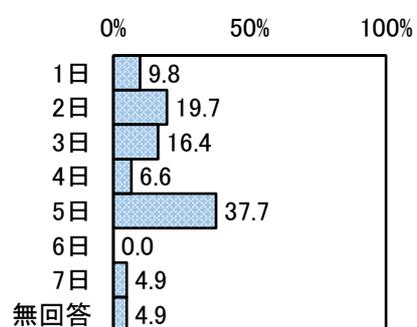
(n=46)



【1週あたりの利用日数】

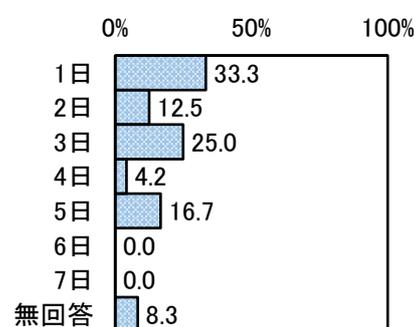
○自宅

(n=61)



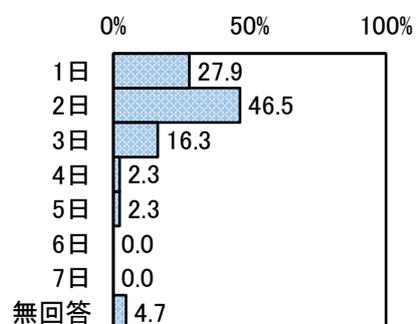
○祖父母宅や友人・知人宅

(n=24)



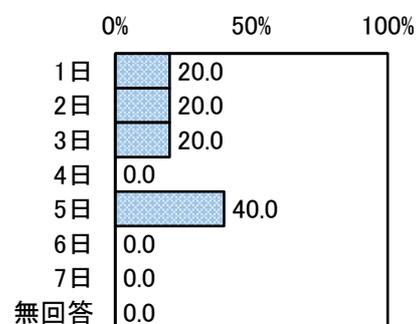
○習い事

(n=43)



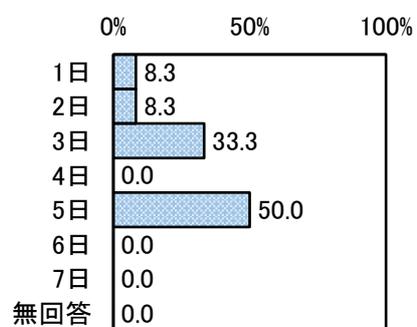
○児童館

(n=5)



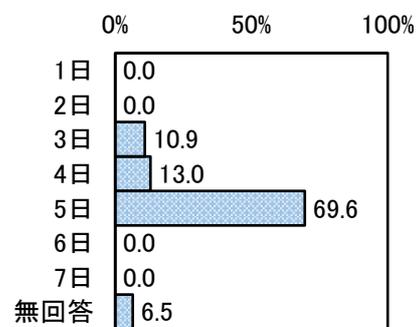
○放課後子ども教室

(n=12)



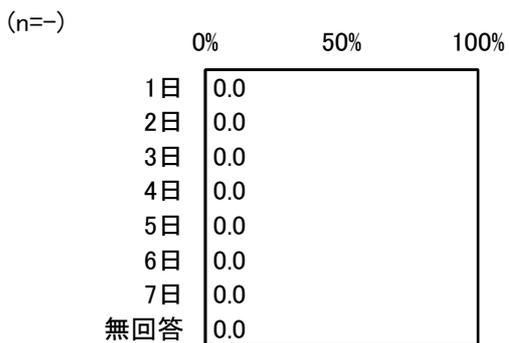
○放課後児童クラブ

(n=46)

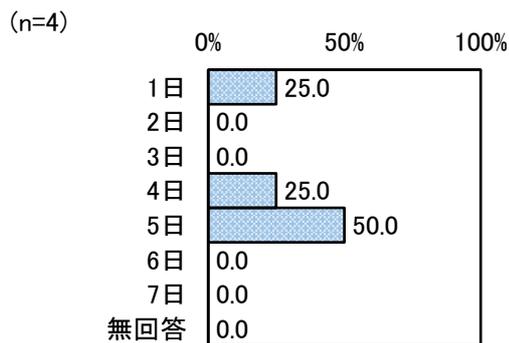


第2章 調査結果

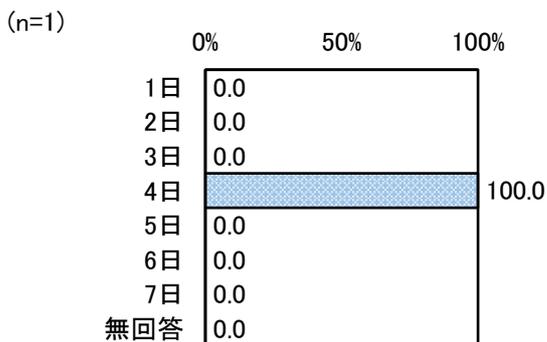
○ファミリー・サポート・センター



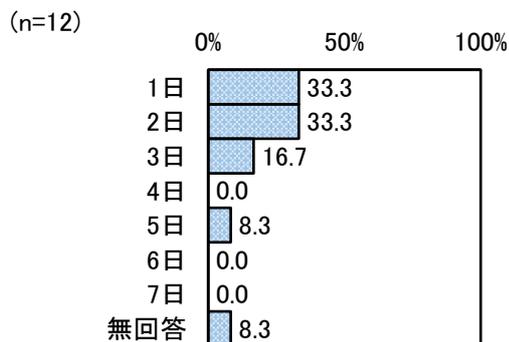
○放課後等デイサービス



○日中一時支援



○その他の過ごし方

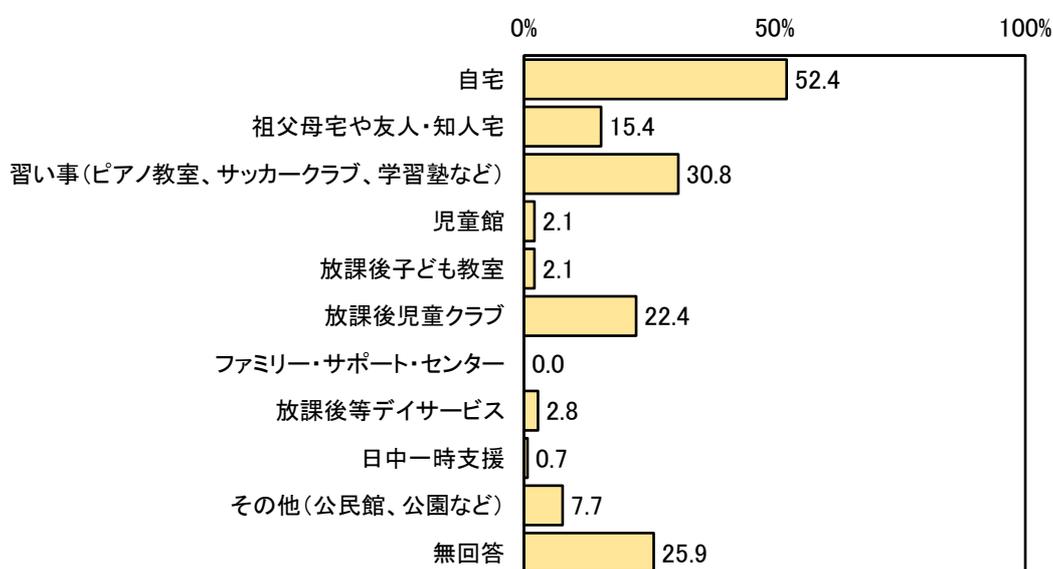


(2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。※「放課後児童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する時間もご記入ください。
【就学前：問19】

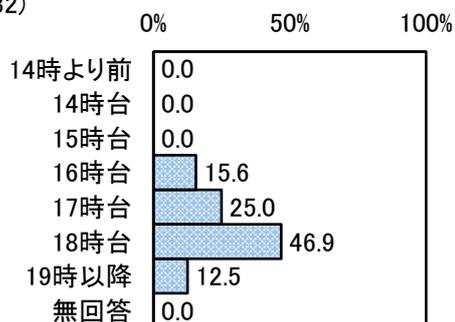
「自宅」が52.4%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が30.8%、「放課後児童クラブ」が22.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が15.4%、「その他（公民館、公園など）」が7.7%となっています。

(n=143)



○放課後児童クラブの利用終了時刻

(n=32)

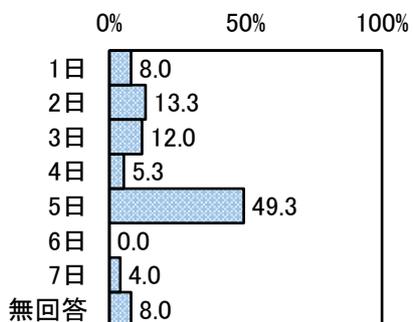


第2章 調査結果

【1週あたりの利用日数】

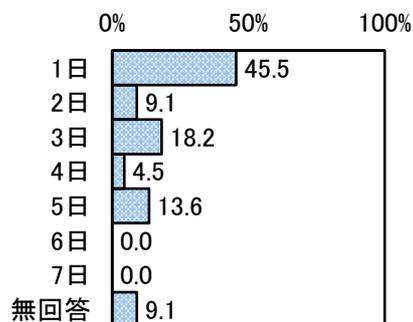
○自宅

(n=75)



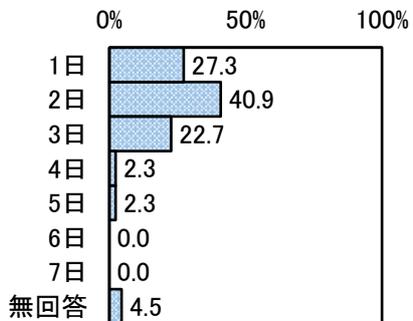
○祖父母宅や友人・知人宅

(n=22)



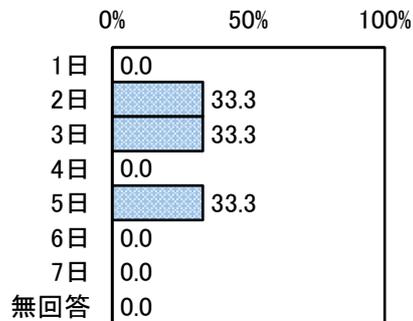
○習い事

(n=44)



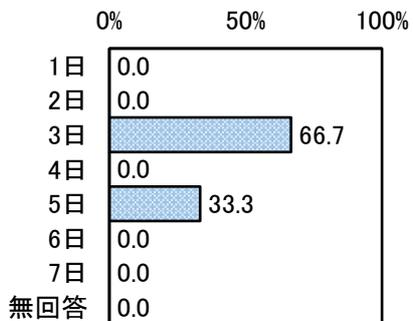
○児童館

(n=3)



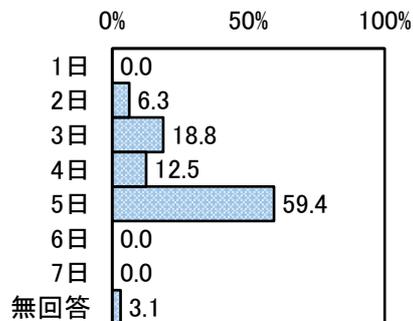
○放課後子ども教室

(n=3)

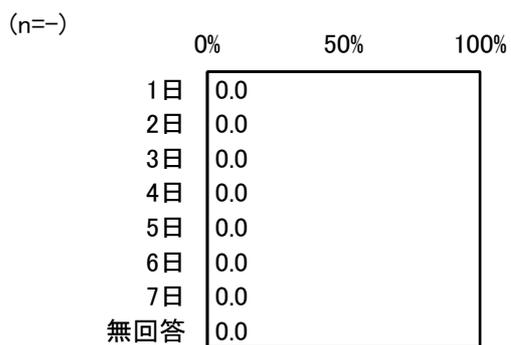


○放課後児童クラブ

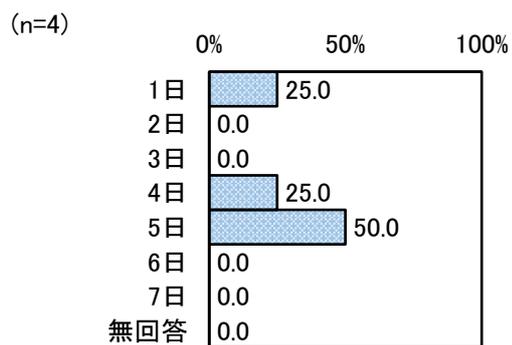
(n=32)



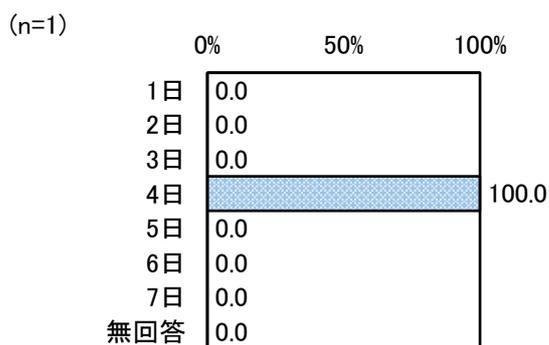
○ファミリー・サポート・センター



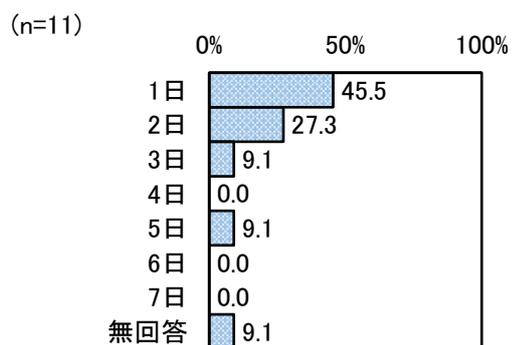
○放課後等デイサービス



○日中一時支援



○その他の過ごし方



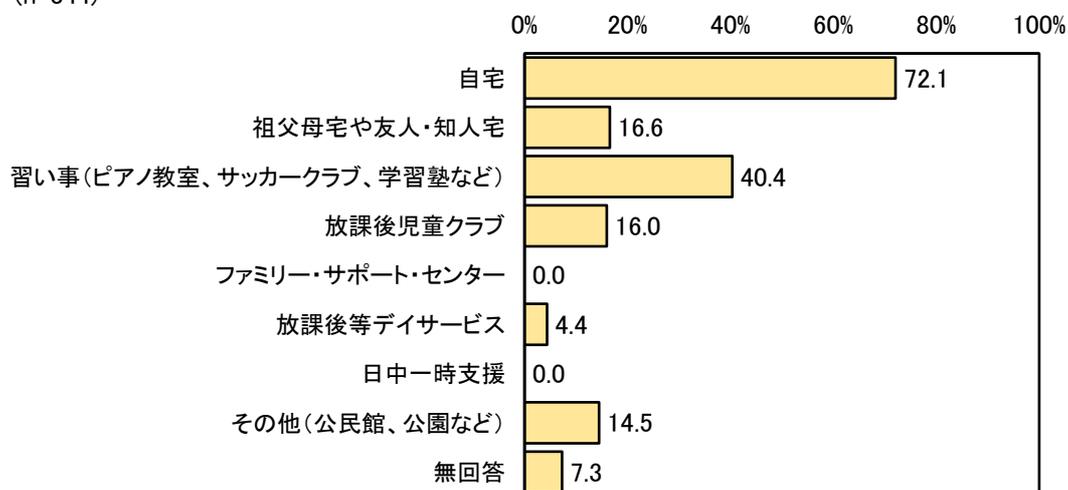
7 放課後の過ごし方について【小学生：小学校1～3年生のみ】

(1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）お時間はどのような場所で過ごしていますか。また、それぞれの週当たり日数を口内に数字で記入してください。【小学生：問16】

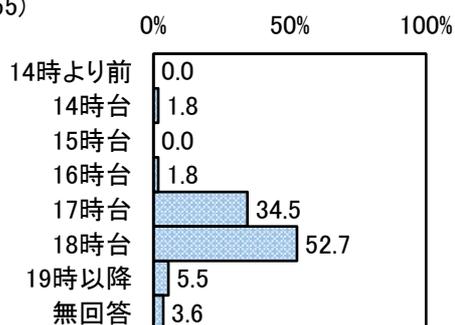
「自宅」が72.1%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツ少年団など）」が40.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が16.6%、「放課後児童クラブ」が16.0%、「その他（公民館、公園など）」が14.5%となっています。

(n=344)



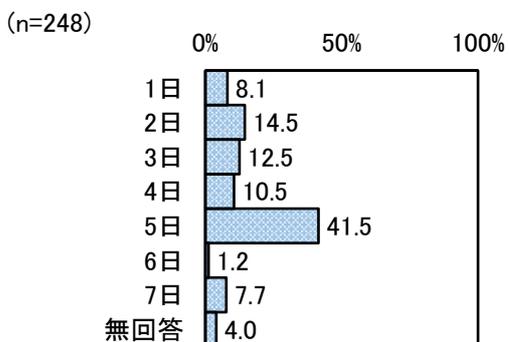
○放課後児童クラブの利用終了時刻

(n=55)

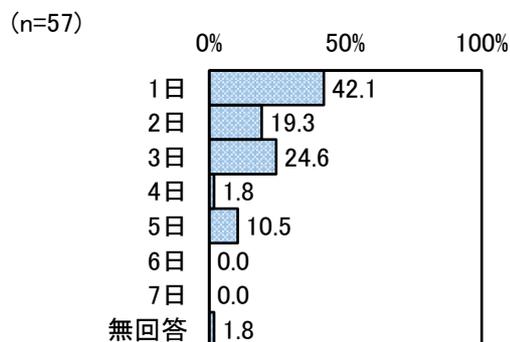


【1週あたりの利用日数】

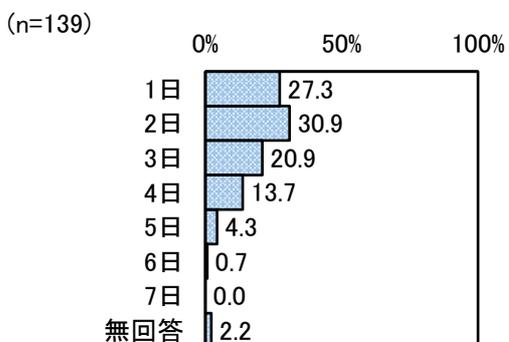
○自宅



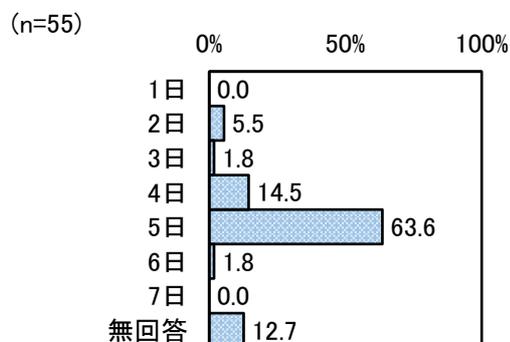
○祖父母宅や友人・知人宅



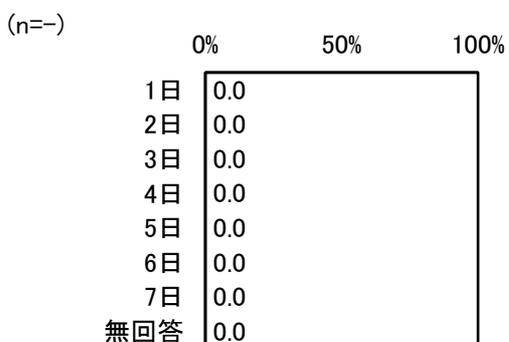
○習い事



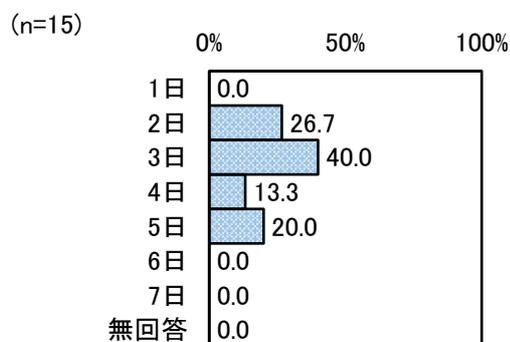
○放課後児童クラブ



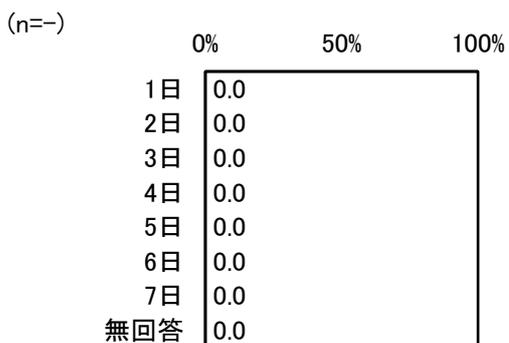
○ファミリー・サポート・センター



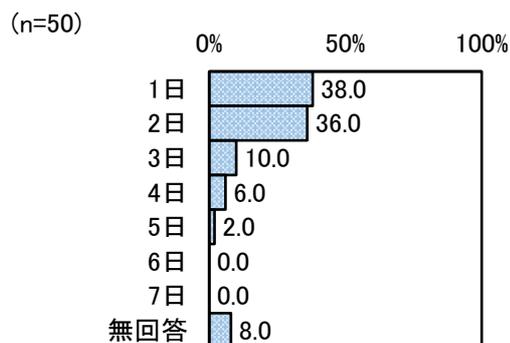
○放課後等デイサービス



○日中一時支援



○その他の過ごし方



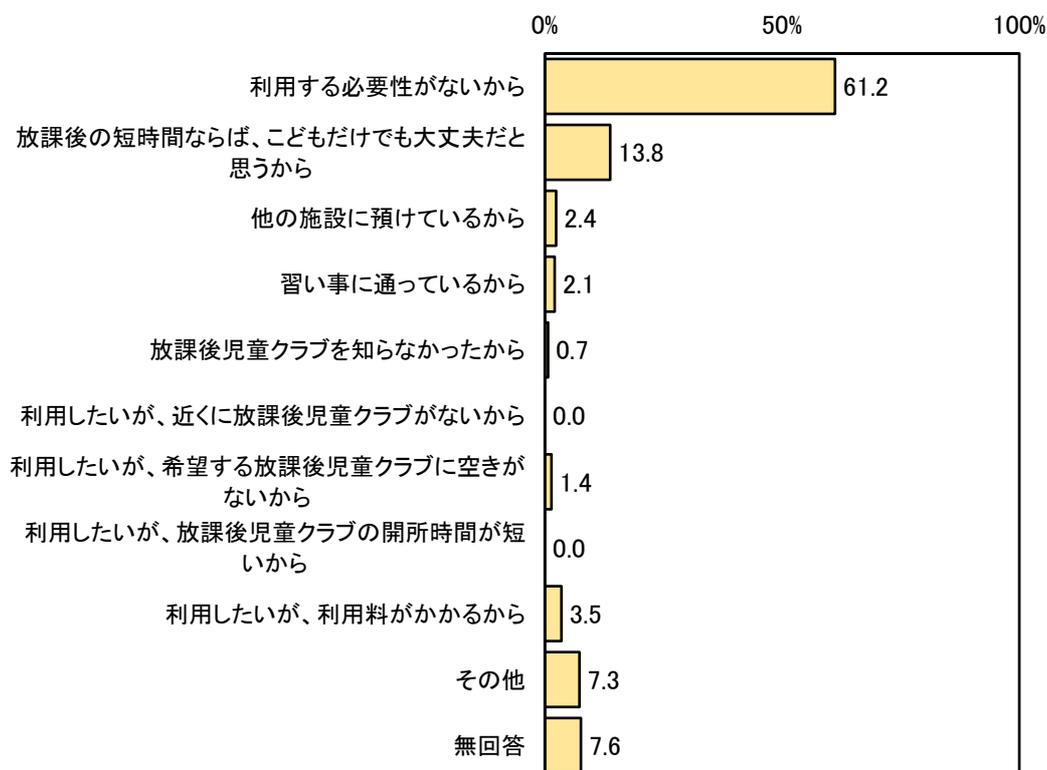
(2) 放課後児童クラブを利用していない理由

問16-1は、問16で「放課後児童クラブ」に○を付けていない方（放課後児童クラブを利用していない方）にうかがいます。

問 利用していない主な理由は何ですか。【小学生：問16-1】

「利用する必要がないから」が61.2%で最も多く、次いで「放課後の短時間ならば、こどもだけでも大丈夫だと思うから」が13.8%、「利用したいが、利用料がかかるから」が3.5%、「他の施設に預けているから」が2.4%、「習い事に通っているから」が2.1%となっています。

(n=289)

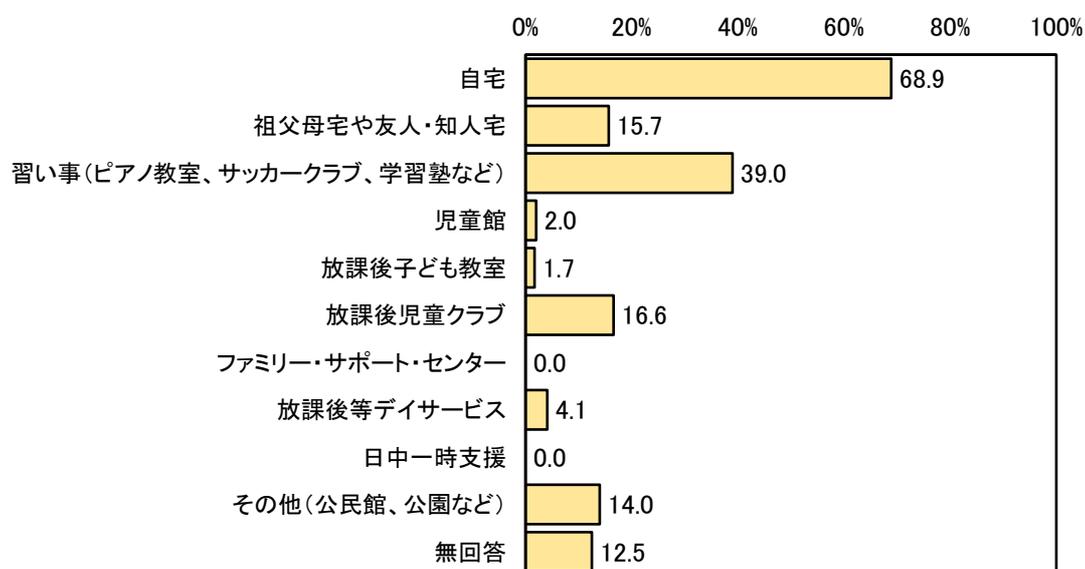


(3) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれの週当たり日数を口内に数字で記入してください。
【小学生：問17】

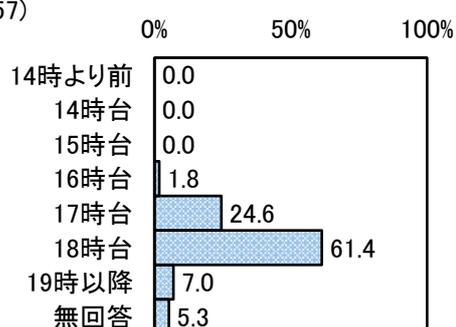
「自宅」が68.9%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツ少年団など）」が39.0%、「放課後児童クラブ」が16.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が15.7%、「その他（公民館、公園など）」が14.0%となっています。

(n=344)



○放課後児童クラブの利用終了時刻

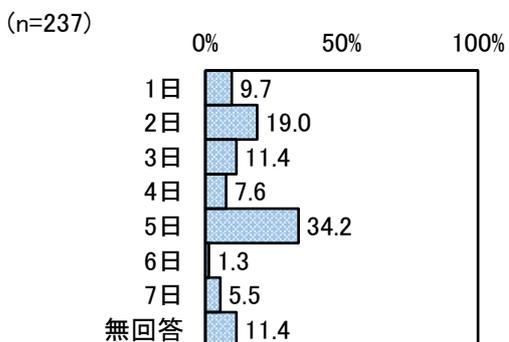
(n=57)



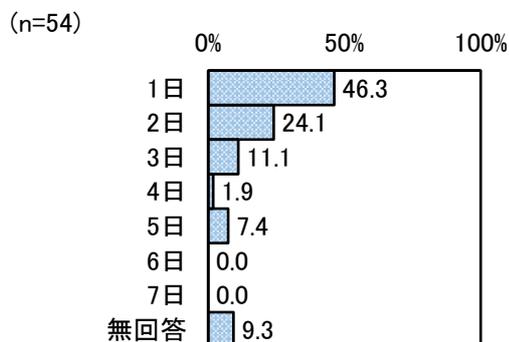
第2章 調査結果

【1週あたりの利用日数】

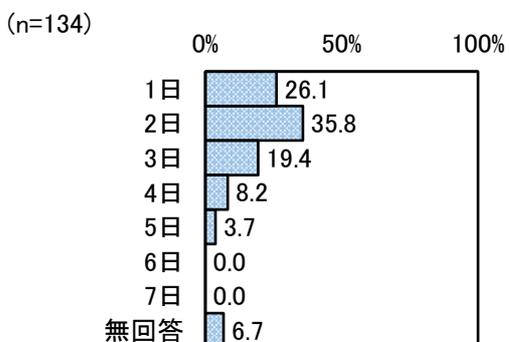
○自宅



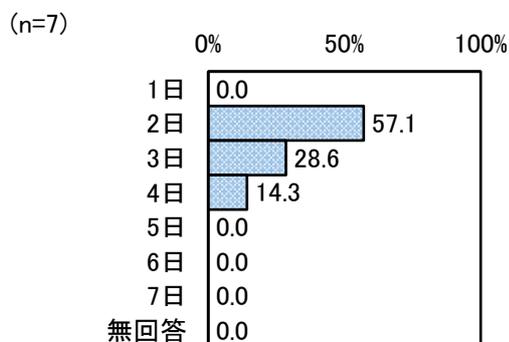
○祖父母宅や友人・知人宅



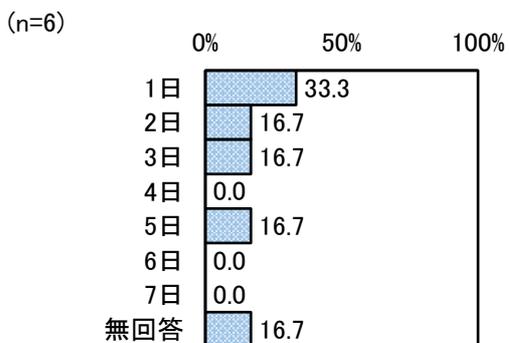
○習い事



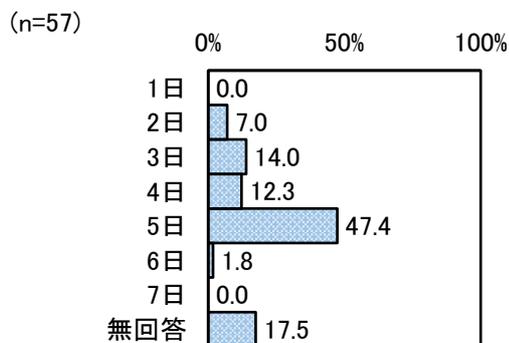
○児童館



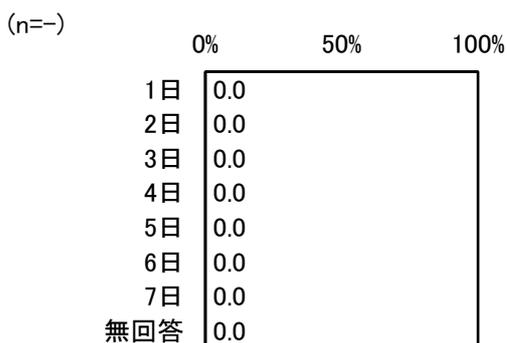
○放課後子ども教室



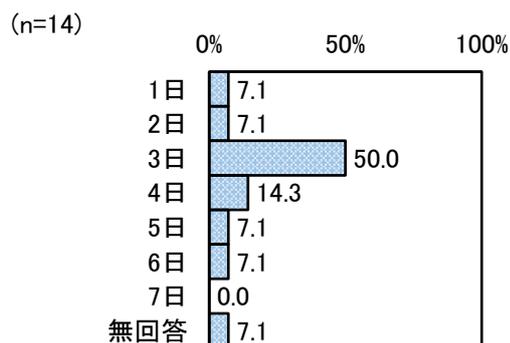
○放課後児童クラブ



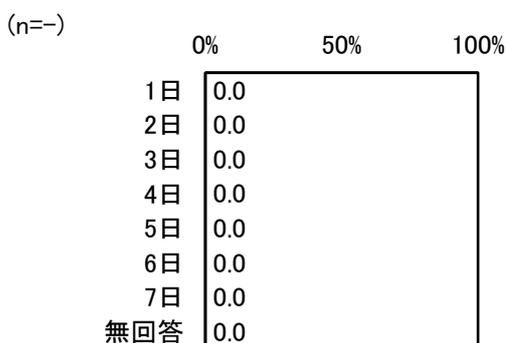
○ファミリー・サポート・センター



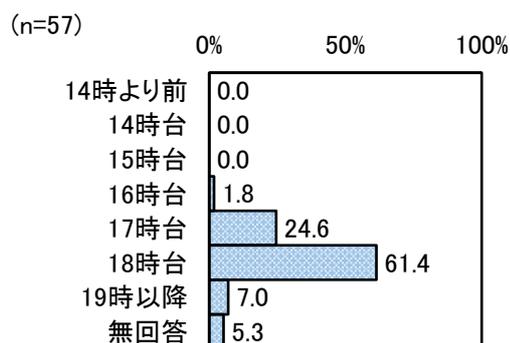
○放課後等デイサービス



○日中一時支援



○その他の過ごし方



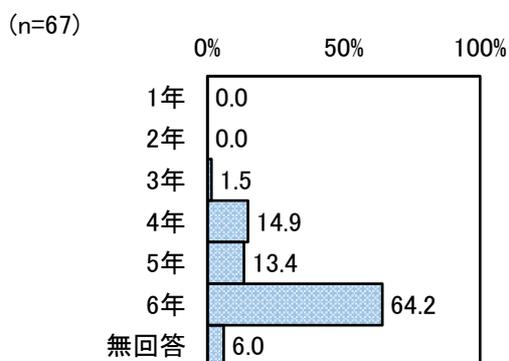
(4) 放課後児童クラブを利用したい学年

問18～問20は、問16で「4. 放課後児童クラブ」に○をつけた方、または問17で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 あて名のお子さんについて、何年生になるまで放課後児童クラブを利用したいですか。

【小学生：問18】

「6年」が64.2%で最も多く、次いで「4年」が14.9%、「5年」が13.4%となっています。



第2章 調査結果

(5) 放課後児童クラブの土曜日、日曜・祝日の利用希望

問 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。【小学生：問19】

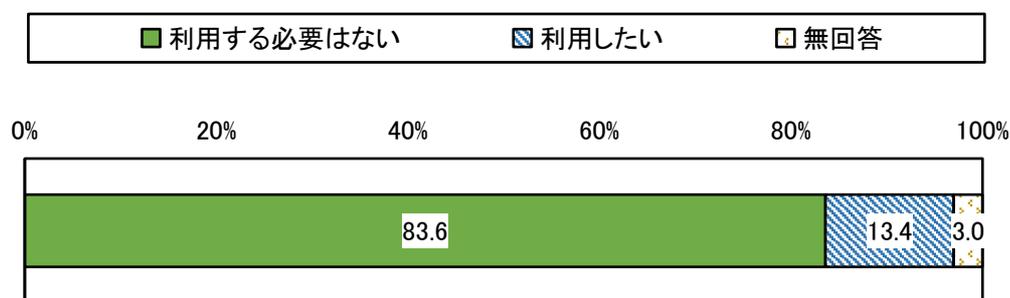
土曜日の利用希望について、「利用する必要はない」が83.6%、「利用したい」が13.4%となっています。

利用を希望する人の利用開始時刻について、「8時台」が55.6%で最も多く、次いで「9時台」が33.3%となっています。

利用を希望する人の利用終了時刻について、「18時台」が66.7%で最も多く、次いで「17時台」が22.2%となっています。

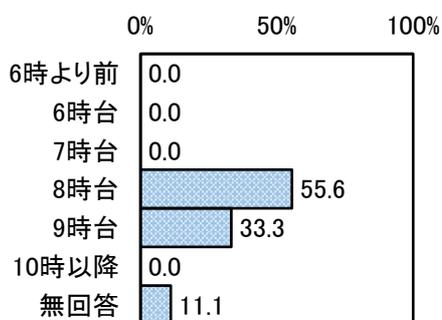
(1) 土曜日

(n=67)



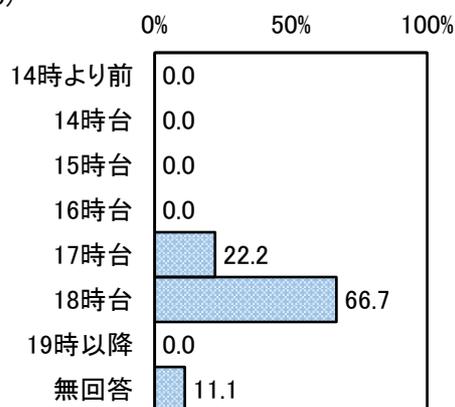
○利用開始時刻

(n=9)



○利用終了時刻

(n=9)



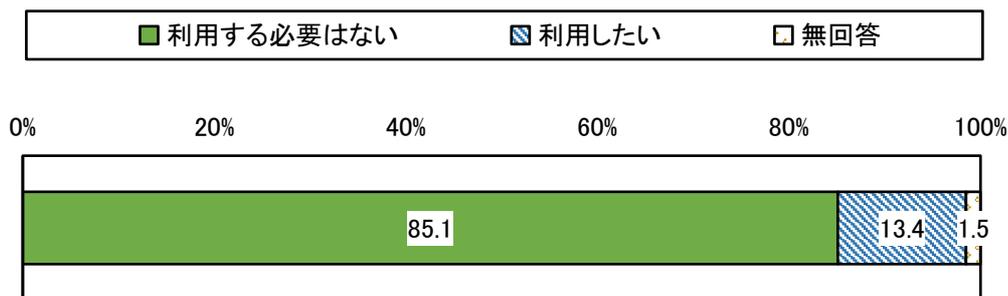
日曜・祝日の利用希望について、「利用する必要はない」が85.1%、「利用したい」が13.4%となっています。

利用を希望する人の利用開始時刻について、「7時台」が55.6%で最も多く、次いで「8時台」が33.3%、「9時台」が11.1%となっています。

利用を希望する人の利用終了時刻について、「18時台」が55.6%で最も多く、次いで「17時台」が33.3%、「14時より前」が11.1%となっています。

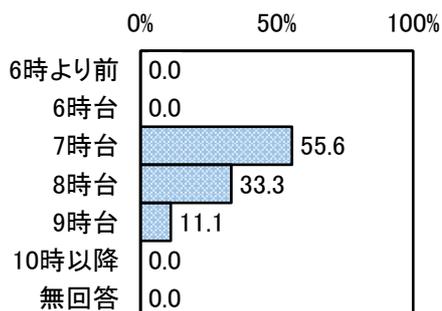
(2) 日曜・祝日

(n=67)



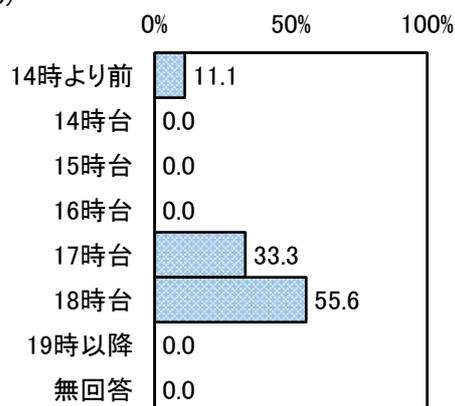
○利用開始時刻

(n=9)



○利用終了時刻

(n=9)



(6) 放課後児童クラブの長期休暇期間の利用希望

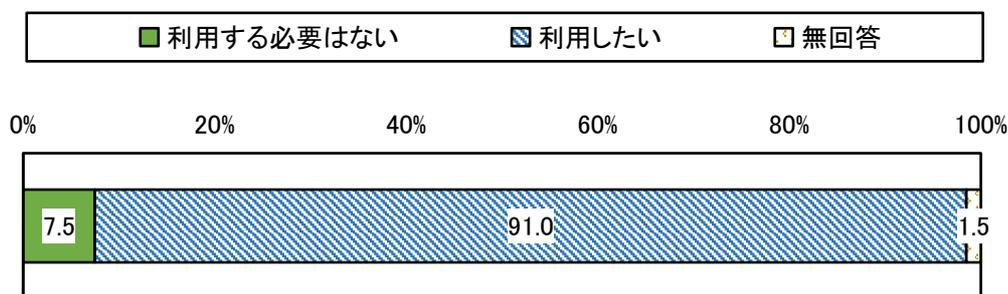
問 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。【小学生：問20】

「利用する必要はない」が7.5%、「利用したい」が91.0%となっています。

利用を希望する人の利用開始時刻について、「8時台」が55.7%で最も多く、次いで「7時台」が34.4%、「9時台」が9.8%となっています。

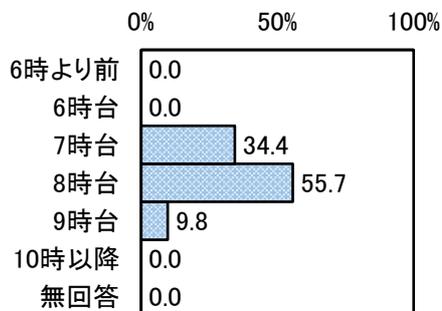
利用を希望する人の利用終了時刻について、「18時台」が57.4%で最も多く、次いで「17時台」が29.5%、「19時以降」が9.8%となっています。

(n=67)



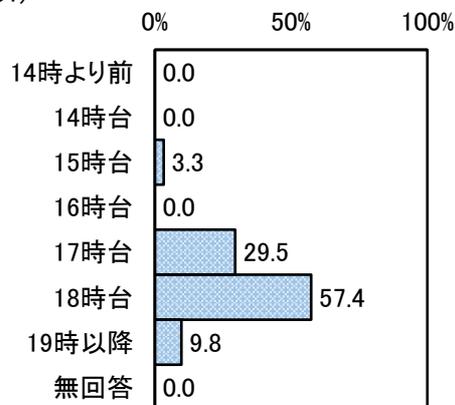
○利用開始時刻

(n=61)



○利用終了時刻

(n=61)



8 土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所などの「定期的」な利用希望について

(1) 定期的な教育・保育の事業の土曜日、日曜・祝日の利用希望

問 あて名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。【就学前：問20】

今後の土曜日の利用希望について、「利用する必要はない」が73.8%、「ほぼ毎週利用したい」が6.6%、「月に1～2回は利用したい」が17.9%となっています。

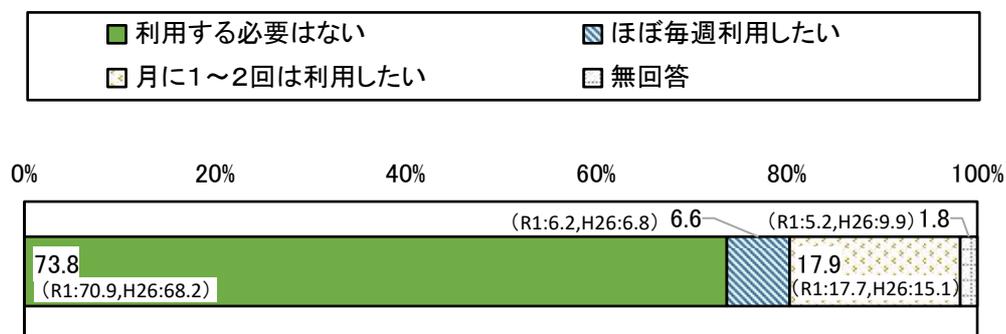
利用を希望する人の利用開始時刻について、「8時台」が52.2%で最も多く、次いで「9時台」が23.9%、「7時台」が18.1%、「10時以降」が3.6%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「9時台」で、前回との比較では+11.3ポイントの差異となっています。

利用を希望する人の利用終了時刻について、「16時台」が23.9%で最も多く、次いで「17時台」が23.2%、「18時台」が19.6%、「15時台」が13.0%となっています。

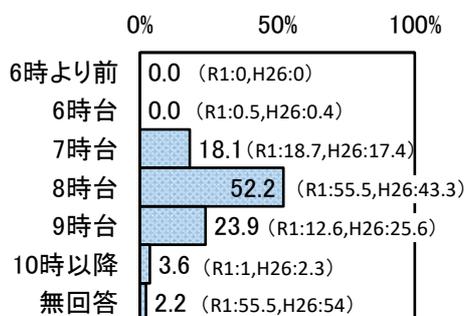
(1) 土曜日

(n=564)



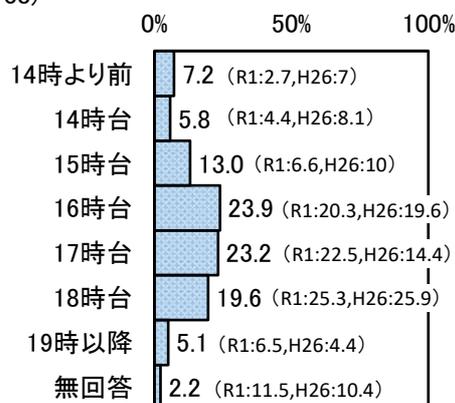
○利用開始時刻

(n=138)



○利用終了時刻

(n=138)



今後の日曜・祝日の利用希望について、「利用する必要はない」が 81.4%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.5%、「月に1～2回は利用したい」が 14.0%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「利用する必要はない」で、前回との比較では+10.7ポイントの差異となっています。

利用を希望する人の利用開始時刻について、「8時台」が 50.5%で最も多く、次いで「7時台」が 25.8%、「9時台」が 18.3%となっています。

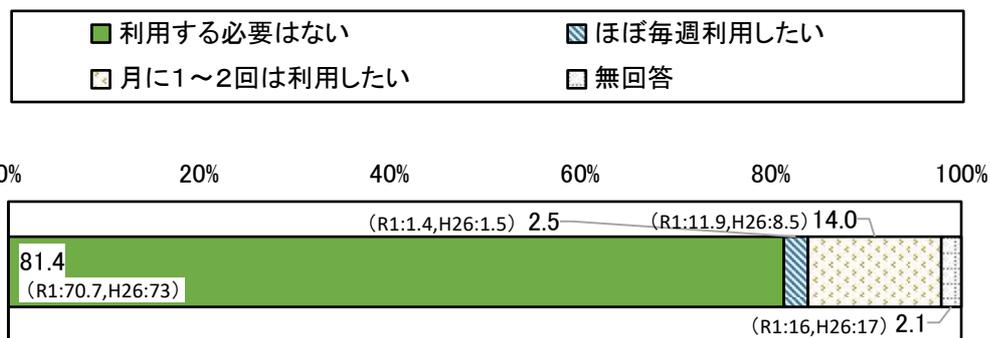
経年変化をみると、変化が見られるのは「8時台」と「9時台」で、「8時台」は、前々回との比較で+17.2ポイントの差異となっています。「9時台」は、前々回との比較で-22.4ポイントの差異となっています。

利用を希望する人の利用終了時刻について、「17時台」が 30.1%で最も多く、次いで「16時台」が 20.4%、「18時台」が 19.4%、「19時以降」が 11.8%、「15時台」が 10.8%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「17時台」と「18時台」で、「17時台」は、前々回との比較で+13.0ポイントの差異となっています。「18時台」は、前回との比較で-15.9ポイント、前々回との比較では-18.0ポイントの差異となっています。

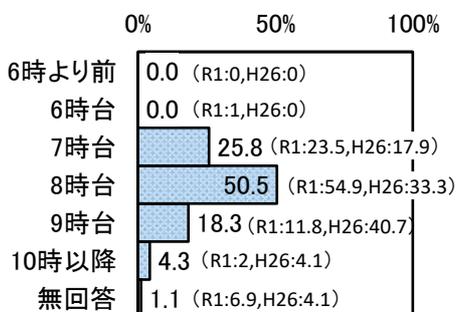
(2) 日曜・祝日

(n=564)



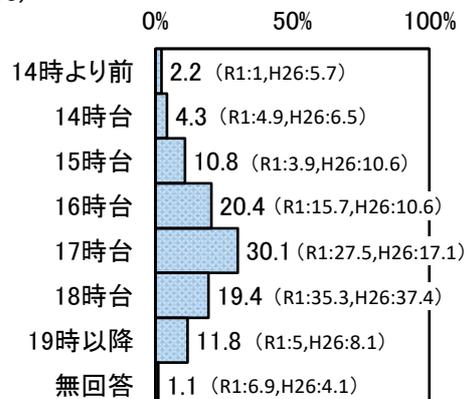
○利用開始時刻

(n=93)



○利用終了時刻

(n=93)



(2) 定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望

あて名のお子さんが「幼稚園」を利用している方にお尋ねします。

問 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園や保育所の利用を希望しますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。【就学前：問21】

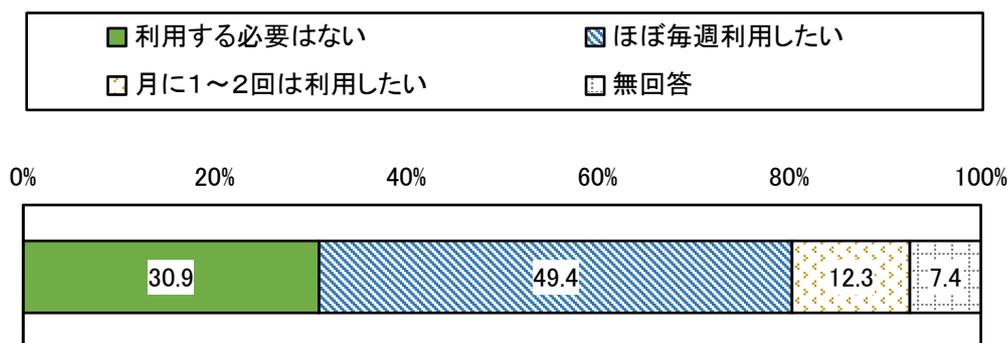
「利用する必要はない」が30.9%、「ほぼ毎週利用したい」が49.4%、「月に1～2回は利用したい」が12.3%となっています。

利用を希望する人の利用開始時刻について、「8時台」が62.0%で最も多く、次いで「9時台」が22.0%、「7時台」が10.0%、「10時以降」が6.0%となっています。

利用を希望する人の利用終了時刻について、「16時台」が32.0%で最も多く、次いで「15時台」が24.0%、「17時台」が16.0%、「14時台」が14.0%、「18時台」が8.0%となっています。

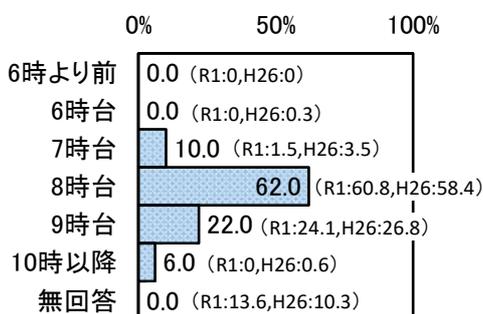
経年変化をみると、変化が見られるのは「16時台」で、前回との比較では+11.4ポイント、前々回との比較では+17.2ポイントの差異となっています。

(n=81)



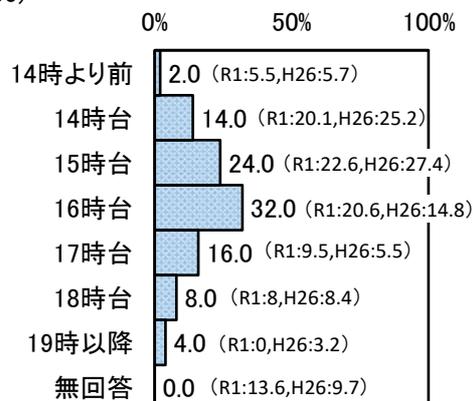
○利用開始時刻

(n=50)



○利用終了時刻

(n=50)



9 病気になったときの対応について

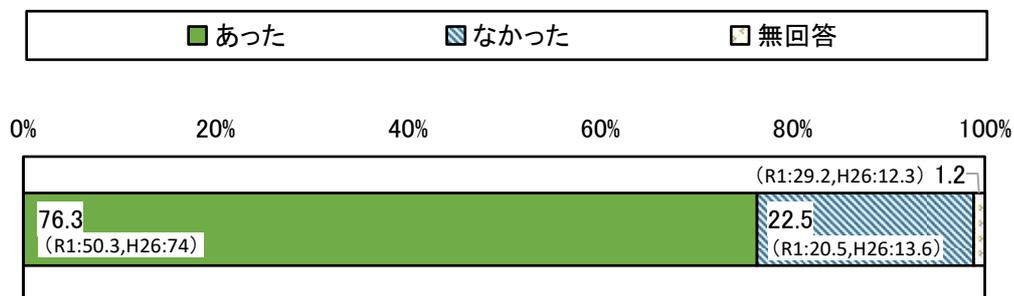
(1) 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと（就学前児童）

問 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。【就学前：問22】

「あった」が76.3%、「なかった」が22.5%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「あった」で、前回との比較では+26.0ポイントの差異となっています。

(n=334)



(2) 事業が利用できなかった場合の対処方法（就学前児童）

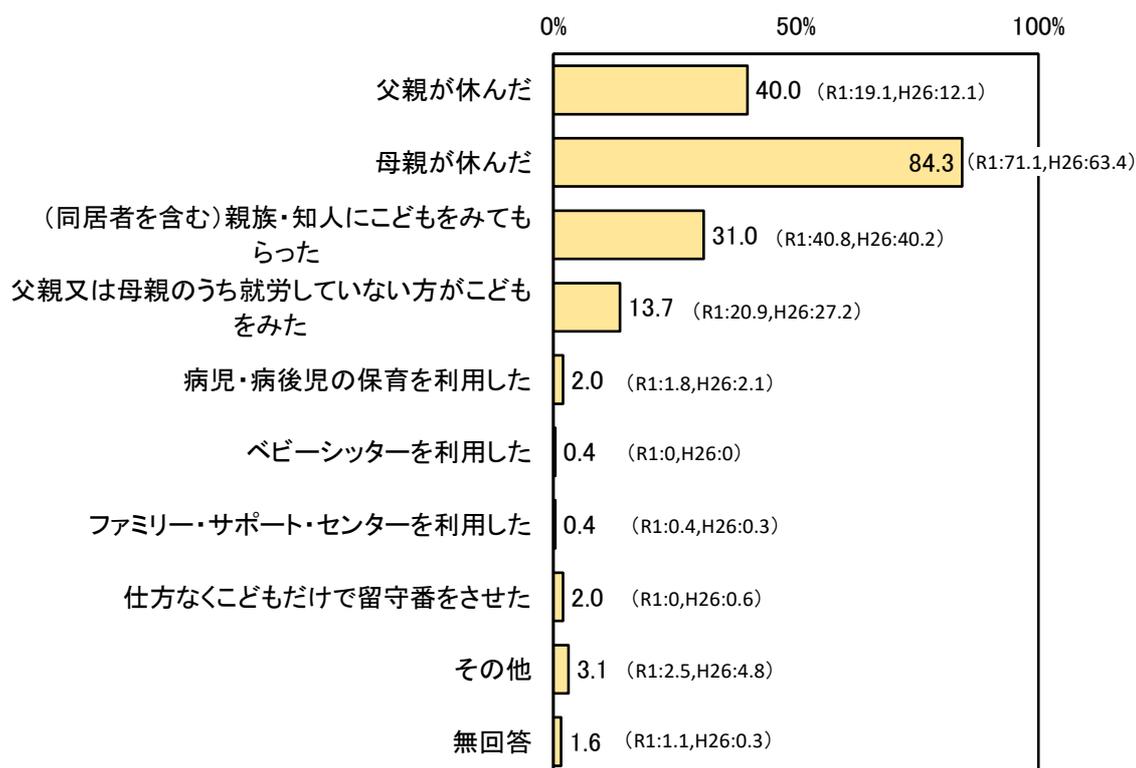
問22-1は、問22で「1. あった」を選んだ方にお尋ねします。

問 この1年間に、病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所などを利用できなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。【就学前：問22-1】

「母親が休んだ」が84.3%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が40.0%、「(同居者を含む)親族・知人にこどもをみてもらった」が31.0%、「父親又は母親のうち就労していない方がこどもをみた」が13.7%、「病児・病後児の保育を利用した」と「仕方なくこどもだけで留守番をさせた」がともに2.0%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「父親が休んだ」と「母親が休んだ」で、「父親が休んだ」は、前回との比較で+20.9ポイント、前々回との比較では+27.9ポイントの差異となっています。「母親が休んだ」は、前回との比較では+13.2ポイント、前々回との比較では+20.9ポイントの差異となっています。

(n=255)

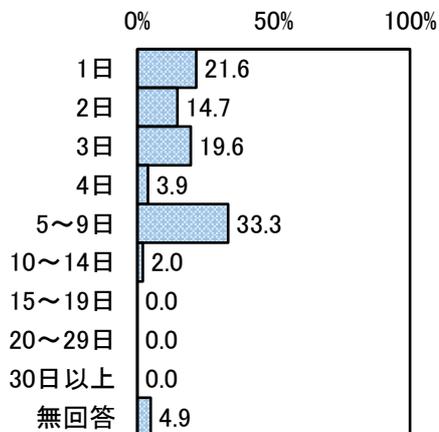


第2章 調査結果

【1年間の対処日数】

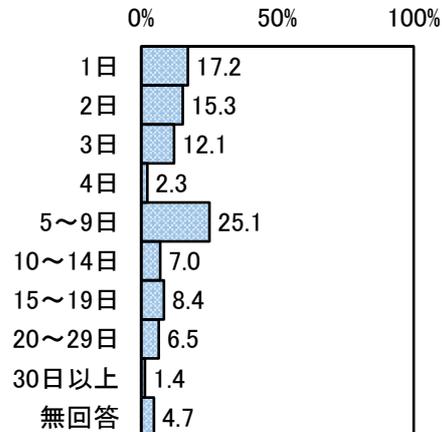
○父親が休んだ

(n=102)



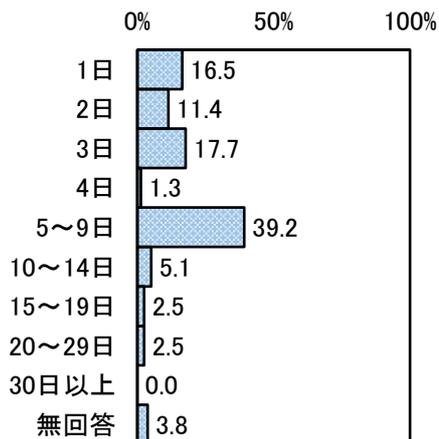
○母親が休んだ

(n=215)



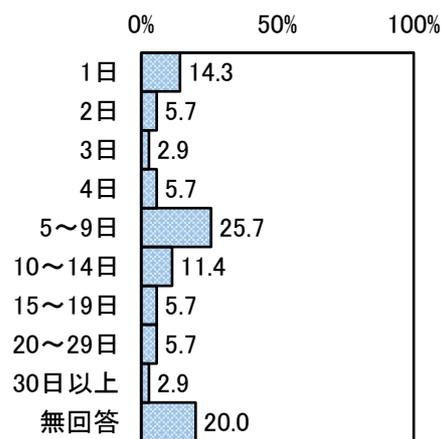
○親族・知人にみてもらった

(n=79)



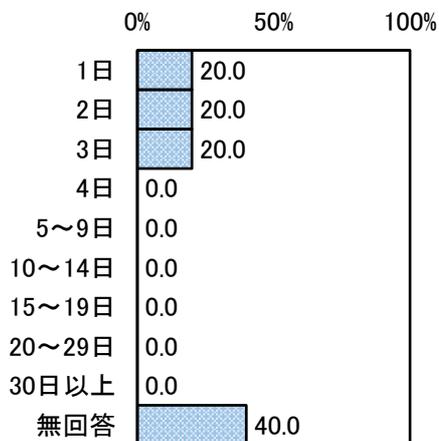
○父母のうち就労していない方がこどもをみた

(n=35)



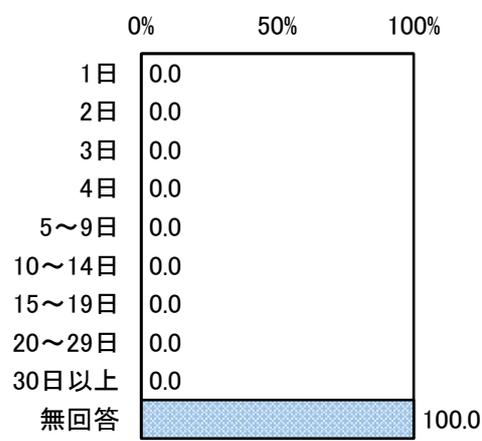
○病児・病後児の保育を利用した

(n=5)



○ベビーシッターを利用した

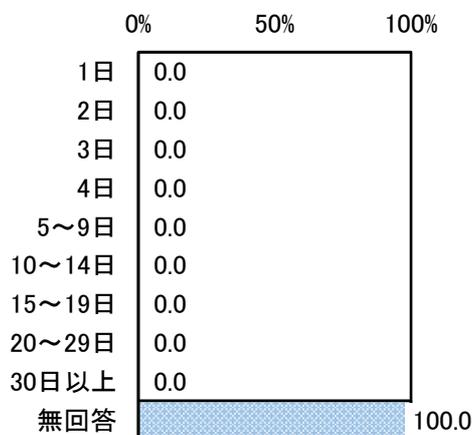
(n=1)



【1年間の対処日数】(続き)

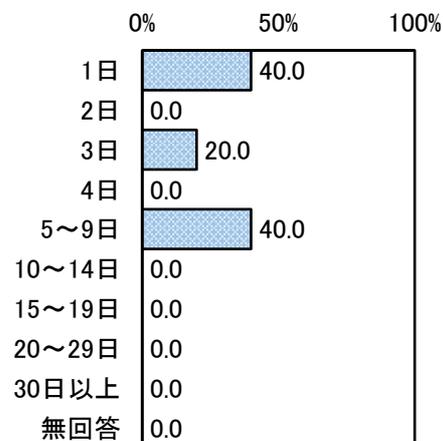
○ファミリー・サポート・センターを利用した

(n=1)



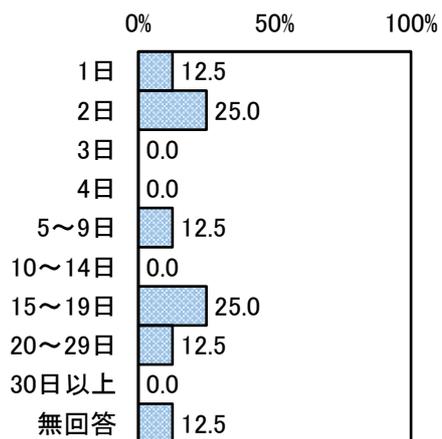
○こどもだけで留守番をさせた

(n=5)



○その他の対処

(n=8)



(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望（就学前児童）

問22-1で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思いましたか。また、利用をした場合は、1年間のおおよその日数についてお答えください。

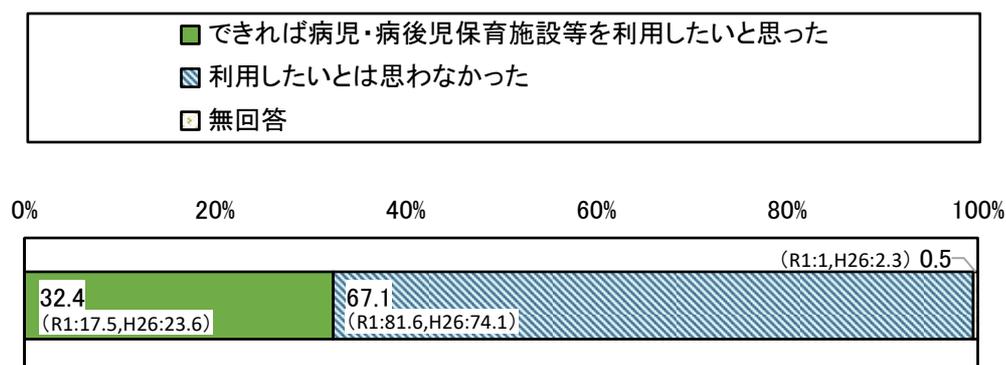
【就学前：問22-2】

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」が32.4%、「利用したいとは思わなかった」が67.1%となっています。

経年変化をみると、増加傾向なのが「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」で、前回との比較では+14.9ポイントの差異となっています。「利用したいとは思わなかった」は減少傾向で、前回との比較では-14.5ポイントの差異となっています。

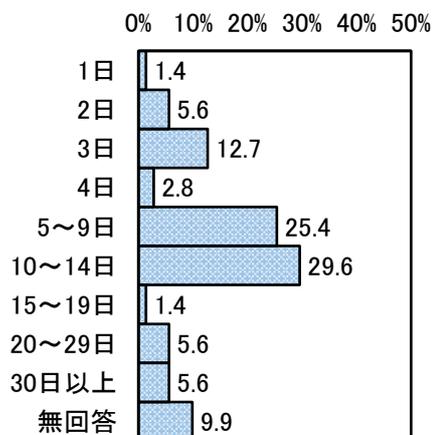
利用したい人の1年間の利用日数について、「10～14日」が29.6%で最も多く、次いで「5～9日」が25.4%、「3日」が12.7%となっています。

(n=219)



○1年間の利用日数

(n=71)



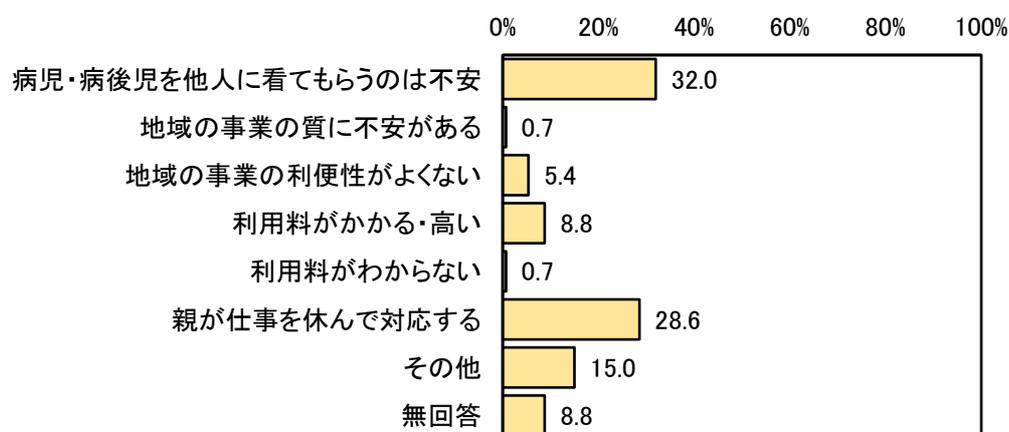
(4) 病児・病後児保育施設等を利用利用したくない理由（就学前児童）

問22-3は、問22-2で「2. 利用したいとは思わなかった」を選んだ方にお尋ねします。

問 利用したいと思わなかった理由はなんですか。【就学前：問22-3】

「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が32.0%で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が28.6%、「利用料がかかる・高い」が8.8%、「地域の事業の利便性がよくない」が5.4%、「地域の事業の質に不安がある」と「利用料がわからない」がともに0.7%となっています。

(n=147)



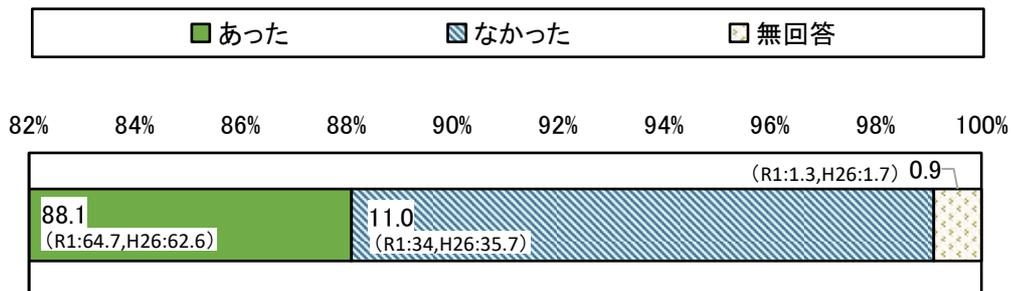
(5) 病気やケガで小学校への登校ができなかったこと (小学生)

問 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校に出席できなかったことはありますか。
【小学生：問21】

「あった」が88.1%、「なかった」が11.0%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「あった」で、前回との比較で+23.4ポイント、前々回との比較では+25.5ポイントの差異となっています。

(n=344)



(6) 小学校への登校ができなかった場合の対処方法 (小学生)

問21-1は、問21で「1. あった」を選んだ方にお尋ねします。

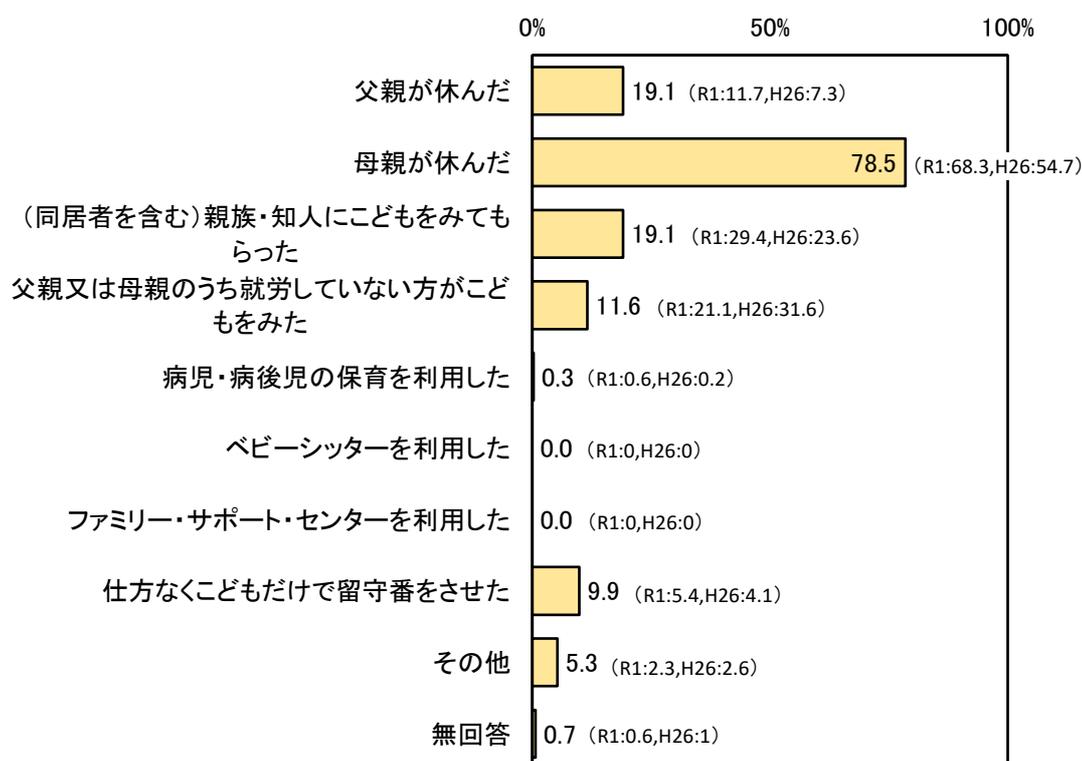
問 この1年間に、病気やケガで小学校に出席できなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。

【小学生：問21-1】

「母親が休んだ」が78.5%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が19.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が19.1%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が11.6%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が9.9%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「母親が休んだ」で、前回との比較で+10.2ポイント、前々回との比較では+23.8ポイントの差異となっています。

(n=303)

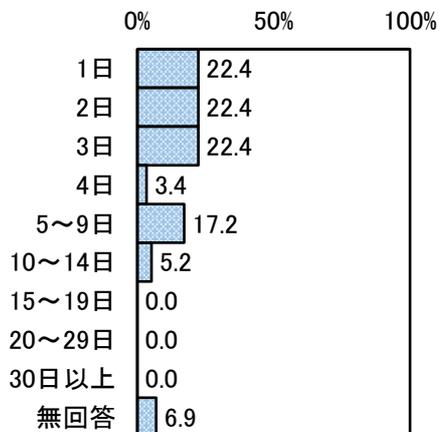


第2章 調査結果

【1年間の対処日数】

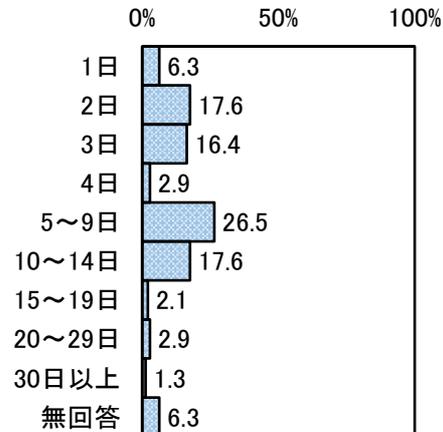
○父親が休んだ

(n=58)



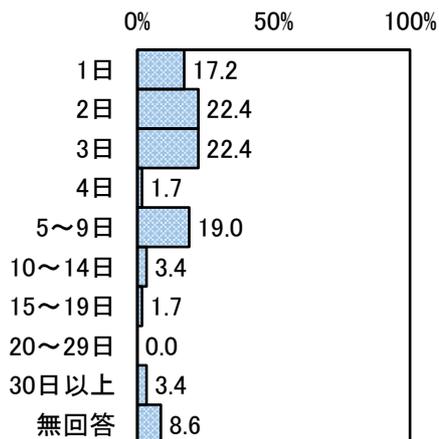
○母親が休んだ

(n=238)



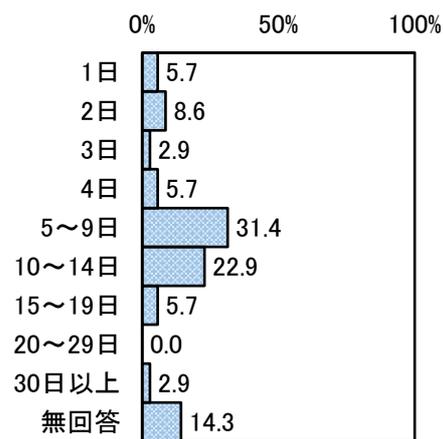
○親族・知人にみてもらった

(n=58)



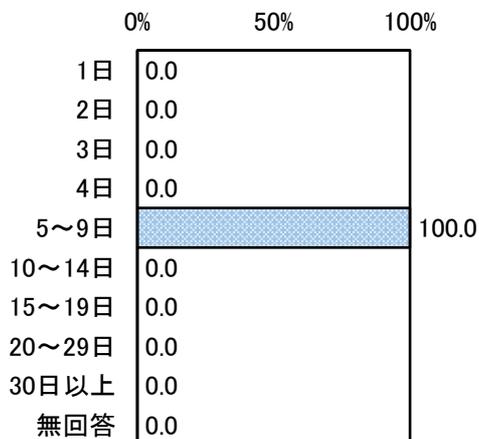
○父母のうち就労していない方がこどもをみた

(n=35)



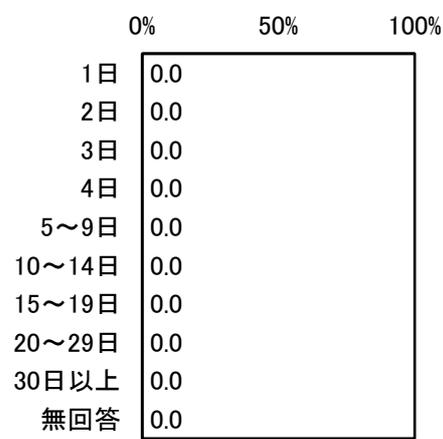
○病児・病後児の保育を利用した

(n=1)



○ベビーシッターを利用した

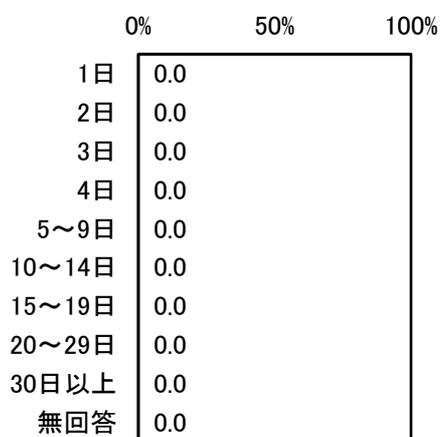
(n=-)



【1年間の対処日数】(続き)

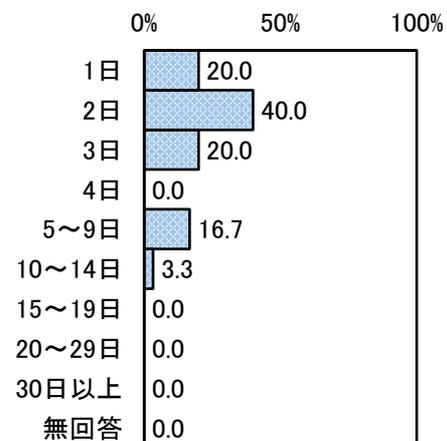
○ファミリー・サポート・センターを利用した

(n=-)



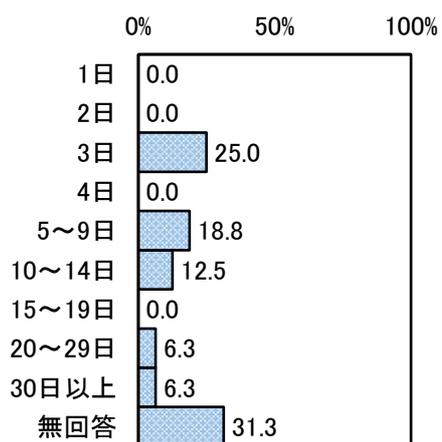
○こどもだけで留守番をさせた

(n=30)



○その他の対処

(n=16)



(7) 病児・病後児保育施設等の利用希望（小学生）

問21-1で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

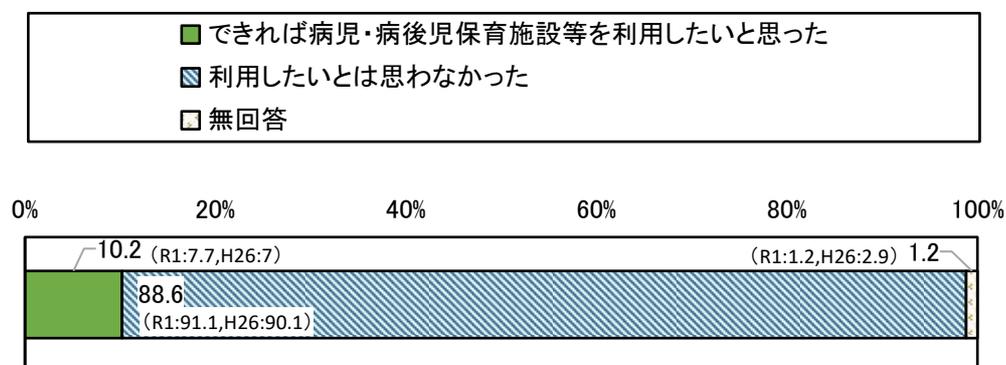
問 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思いましたか。また、利用をした場合は、1年間のおおよその日数についてお答えください。

【小学生：問21-2】

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が10.2%、「利用したいとは思わない」が88.6%となっています。

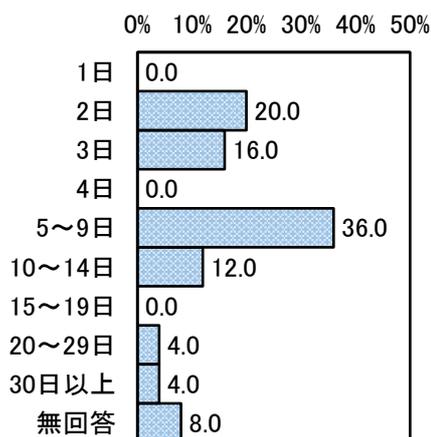
利用したい人の1年間の利用日数について、「5～9日」が36.0%で最も多く、次いで「2日」が20.0%、「3日」が16.0%、「10～14日」が12.0%となっています。

(n=246)



○1年間の利用日数

(n=25)



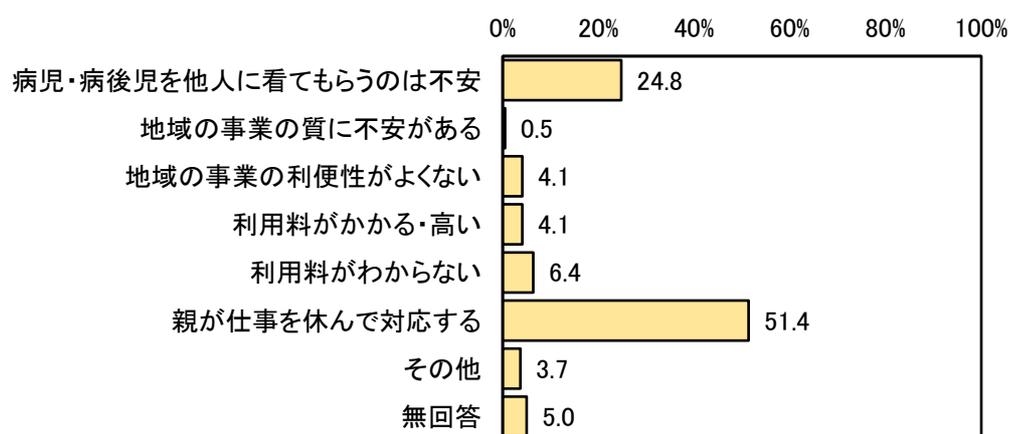
(8) 病児・病後児保育施設等を利用利用したくない理由（小学生）

問21-3は、問21-2で「2. 利用したいとは思わなかった」を選んだ方にお尋ねします。

問 利用したいと思わなかった理由はなんですか。【小学生：問21-3】

「親が仕事を休んで対応する」が51.4%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」が24.8%、「利用料がわからない」が6.4%、「地域の事業の利便性がよくない」と「利用料がかかる・高い」がともに4.1%となっています。

(n=218)



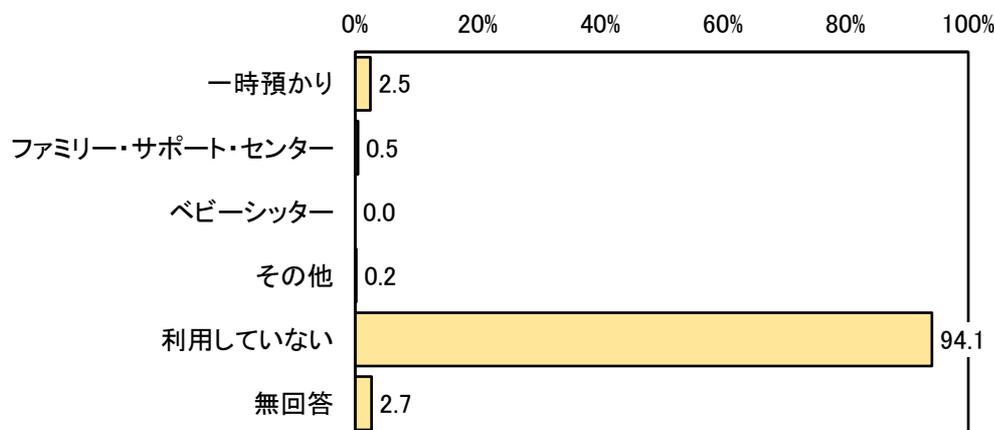
10 不特定の幼稚園や保育所などの利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 利用している不特定の教育・保育の事業（就学前児童）

問 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。【就学前：問23】

「一時預かり」が2.5%、「ファミリー・サポート・センター」が0.5%となっています。また、「利用していない」が94.1%となっています。

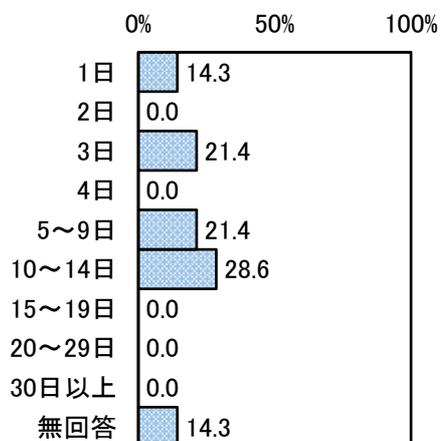
(n=564)



【1年間の利用日数】

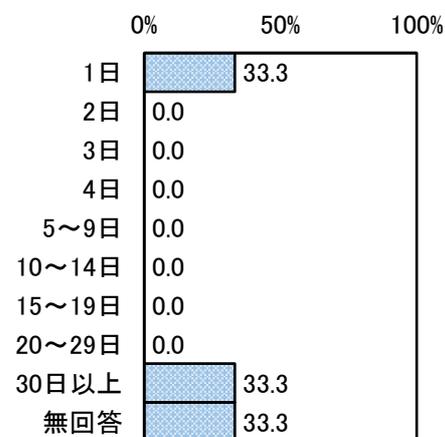
○一時預かり

(n=14)



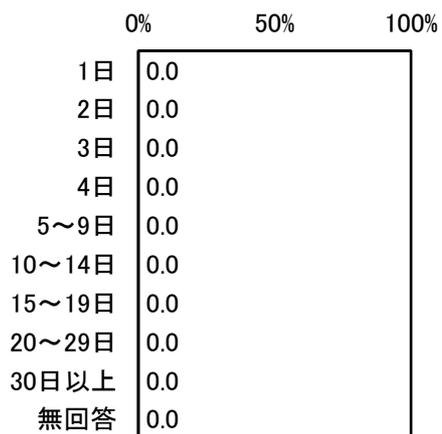
○ファミリー・サポート・センター

(n=3)



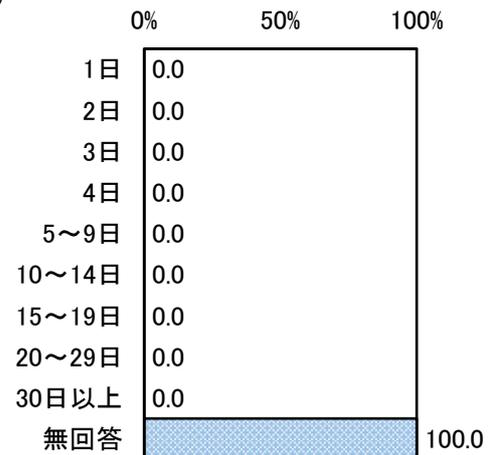
○ベビーシッター

(n=-)



○その他

(n=1)



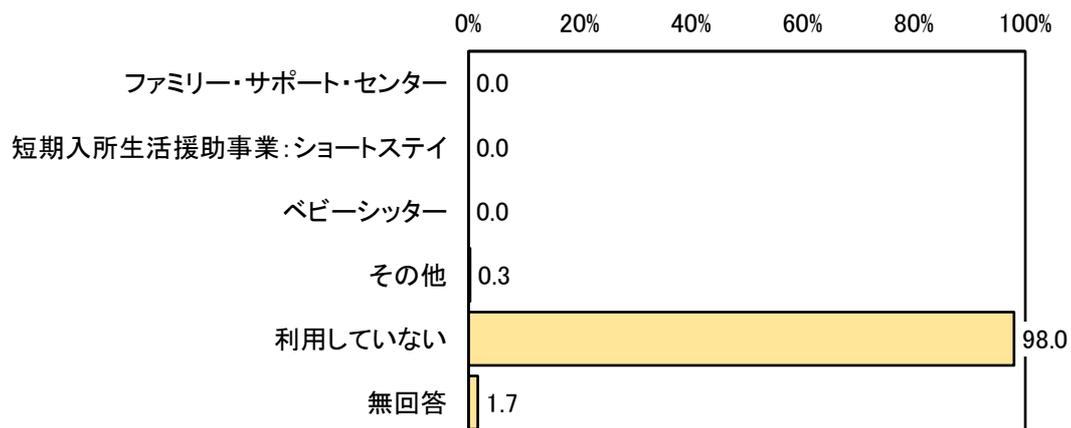
第2章 調査結果

(2) 利用している不特定の教育・保育の事業（小学生）

問 あて名のお子さんについて、病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不特定のに利用している事業はありますか。1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。【小学生：問22】

「利用していない」が98.0%となっています。

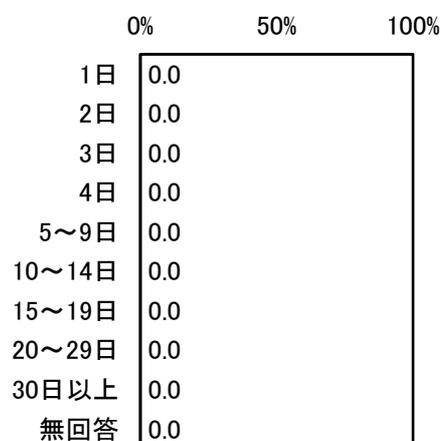
(n=344)



【1年間の利用日数】

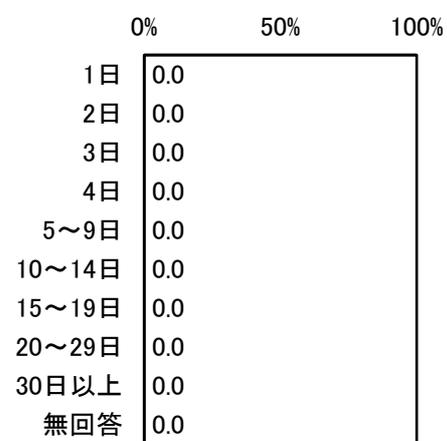
○ファミリー・サポート

(n=-)



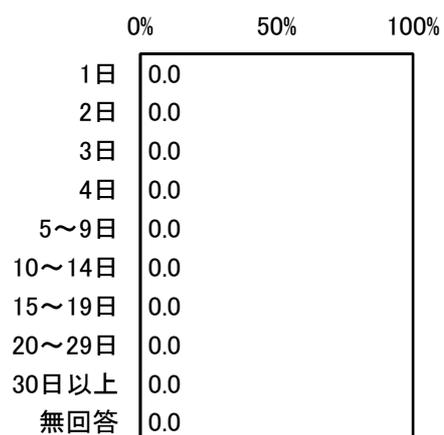
○短期入所生活援助事業：ショートステイ

(n=-)



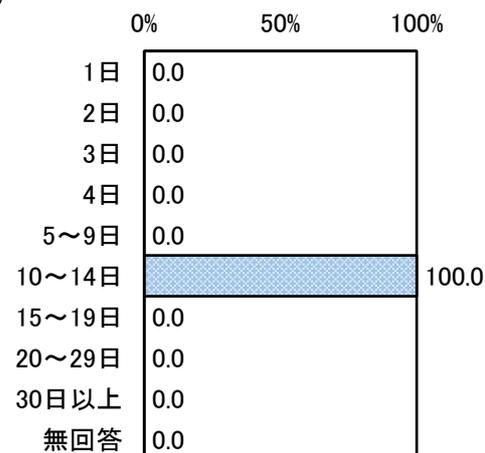
○ベビーシッター

(n=-)



○その他

(n=1)



(3) 私用等の目的での事業の利用希望（就学前児童）

問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。【就学前：問24】

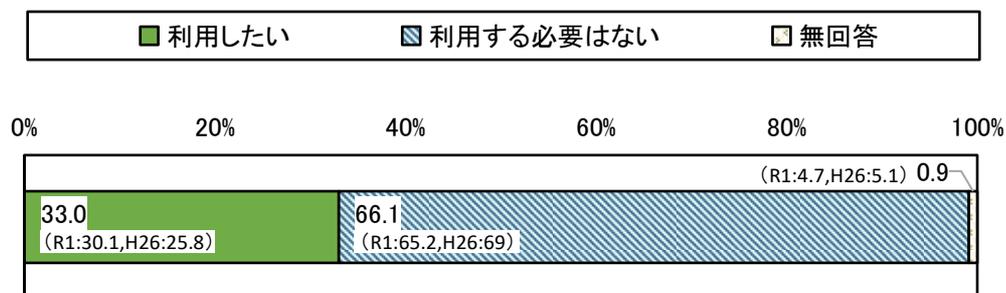
「利用したい」が33.0%、「利用する必要はない」が66.1%となっています。

利用したい場合の1年間の合計日数について、「10～14日」が26.3%で最も多く、次いで「5～9日」が22.0%、「30日以上」が16.1%、「20～29日」が13.4%となっています。

事業の利用目的について、「私用、リフレッシュ目的」が74.2%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」が58.1%、「不定期の就労」が20.4%となっています。

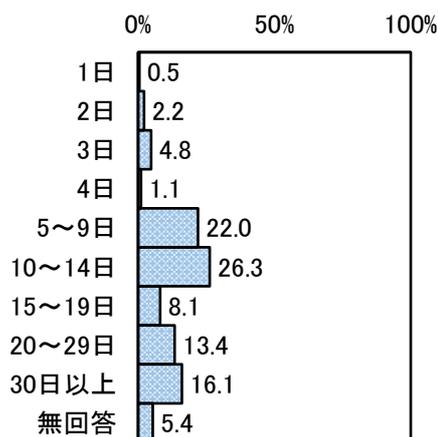
経年変化をみると、増加傾向なのが「私用、リフレッシュ目的」で、前々回との比較では+15.9ポイントの差異となっています。「不定期の就労」は減少傾向で、前々回との比較では-10.9ポイントの差異となっています。

(n=564)



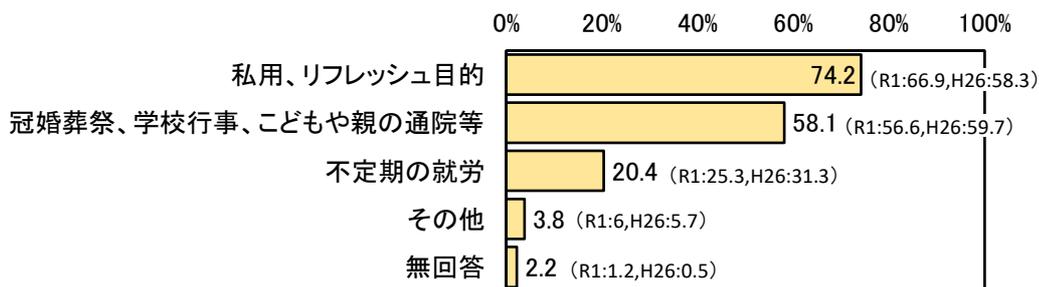
○利用したい場合の1年間の合計日数

(n=186)



○事業の利用目的

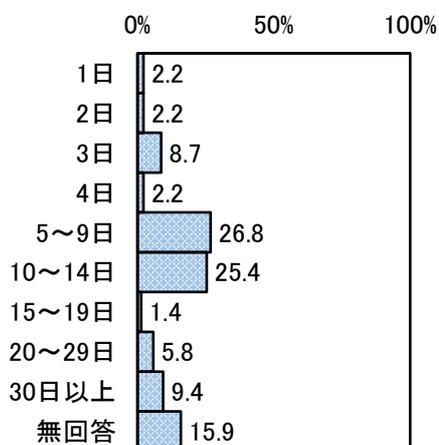
(n=186)



【1年間に必要な日数】

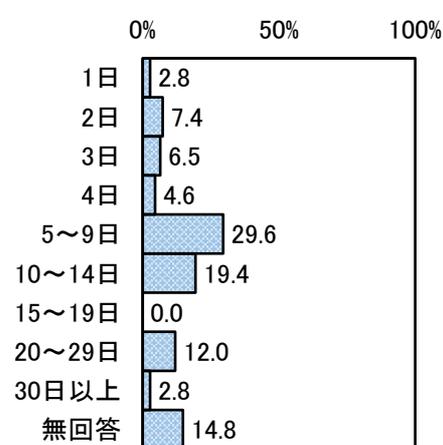
○私用、リフレッシュ目的

(n=138)



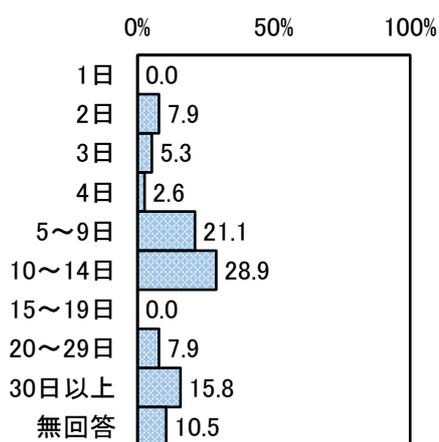
○冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

(n=108)



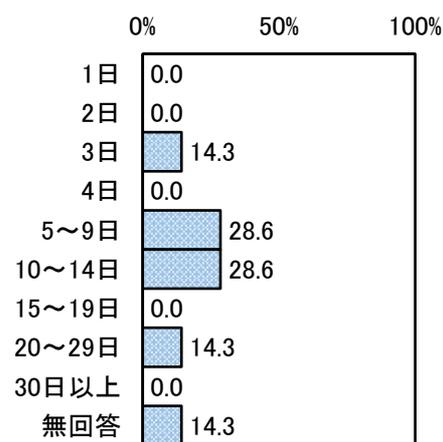
○不定期の就労

(n=38)



○その他の目的

(n=7)



(4) 私用等の目的での事業の利用希望 (小学生)

問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。【小学生：問23】

「利用したい」が7.0%、「利用する必要はない」が90.4%となっています。

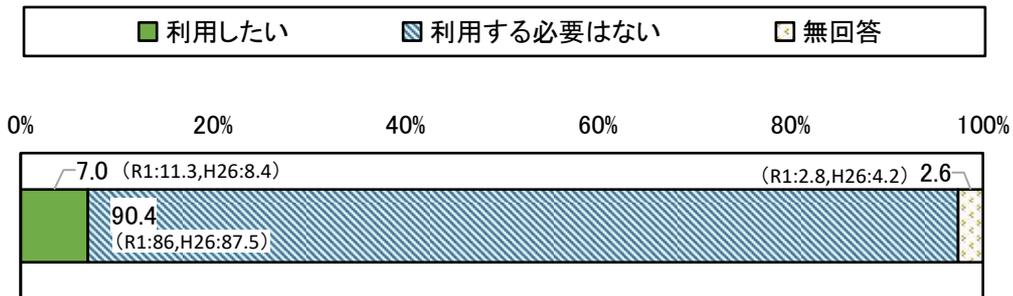
利用したい場合の1年間の合計日数について、「10～14日」が33.3%で最も多く、次いで「5～9日」が20.8%、「20～29日」が12.5%となっています。

事業の利用目的について、「私用、リフレッシュ目的」が58.3%で最も多く、次いで「不定期の就労」が50.0%、「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」が41.7%となっています。

経年変化をみると、「私用、リフレッシュ目的」が増加傾向で、前回との比較で+14.0ポイント、前々回との比較では+18.1ポイントの差異。「不定期の就労」も、前回との比較で+13.9ポイント、前々回との比較では+18.3ポイントの差異と増加傾向となっています。

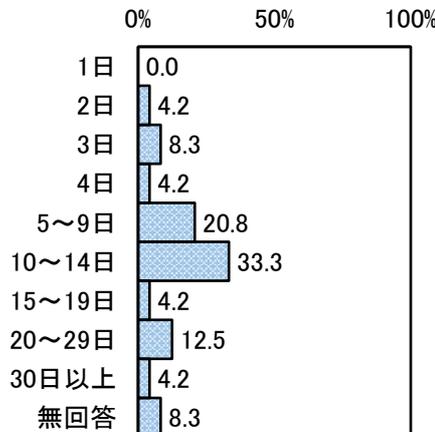
「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」は減少傾向で、前回との比較で-12.4ポイント、前々回との比較では-19.3ポイントの差異となっています。

(n=344)



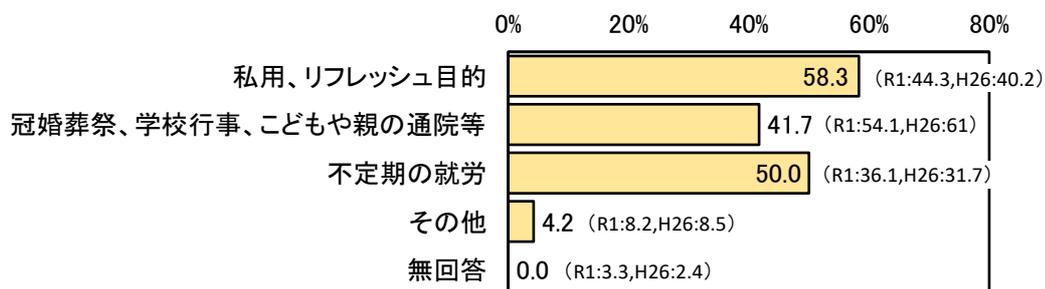
○利用したい場合の1年間の合計日数

(n=24)



○事業の利用目的

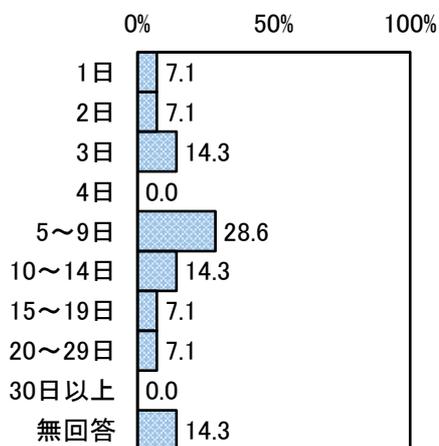
(n=24)



【1年間に必要な日数】

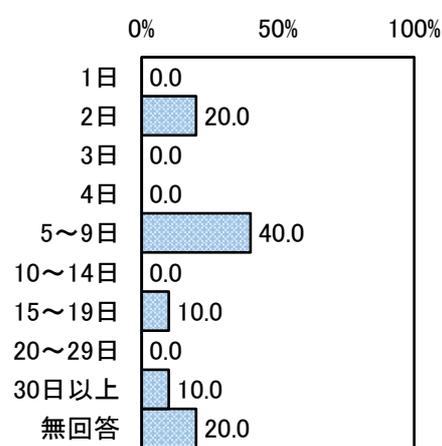
○私用、リフレッシュ目的

(n=14)



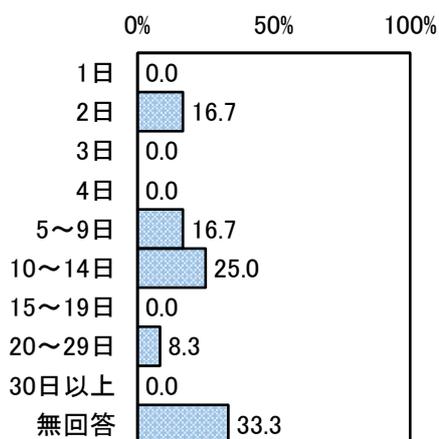
○冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等

(n=10)



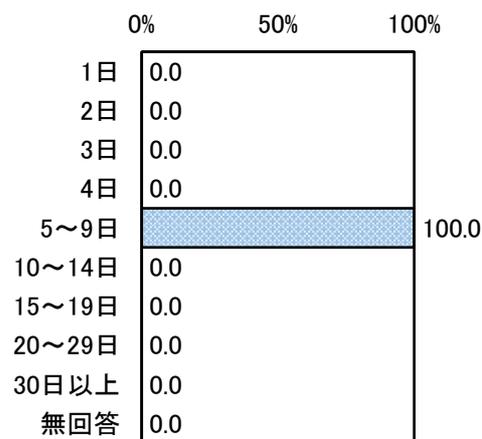
○不定期の就労

(n=12)



○その他の目的

(n=1)



(5) 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預ける必要（就学前児童）

問 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
 短期入所生活援助事業（ショートステイ：児童養護施設において小学生までのこどもを預かる事業）の利用希望の有無について、「1.」「2.」のうちあてはまるものに○を付けてください。その目的と必要な日数をお答えください。【就学前：問25】

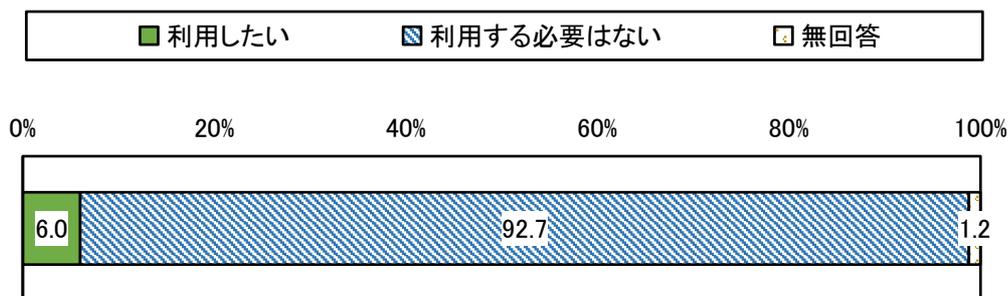
「利用したい」が6.0%、「利用する必要はない」が92.7%となっています。

利用したい場合の1年間の合計泊数について、「5～9泊」が32.4%で最も多く、次いで「1泊」が20.6%、「2泊」と「10～14泊」がともに14.7%となっています。

「利用したい」人の利用したい理由について、「保護者や家族の病気」が67.6%で最も多く、次いで「冠婚葬祭」が52.9%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が50.0%となっています。

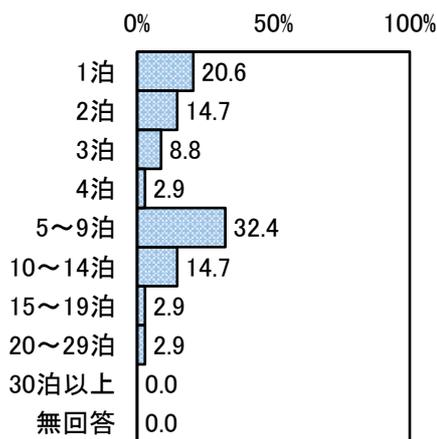
【利用意向】

(n=564)



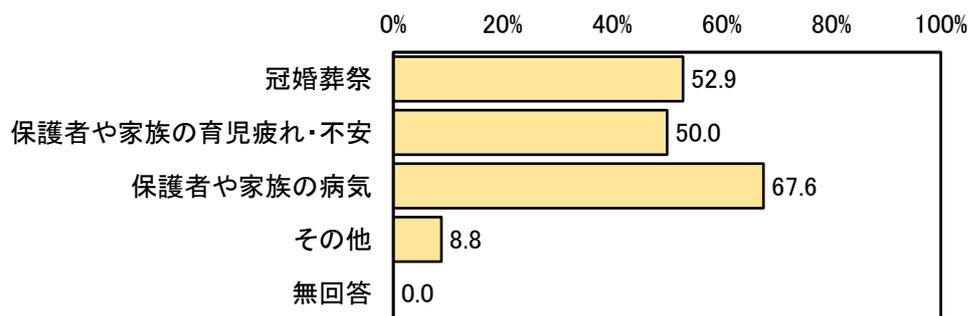
○利用したい場合の1年間の合計日数

(n=34)



【利用したい理由】

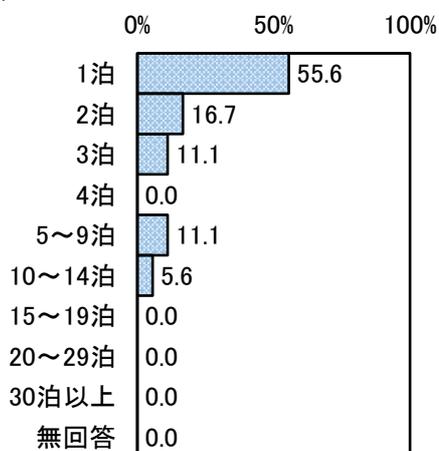
(n=34)



【利用したい日数】

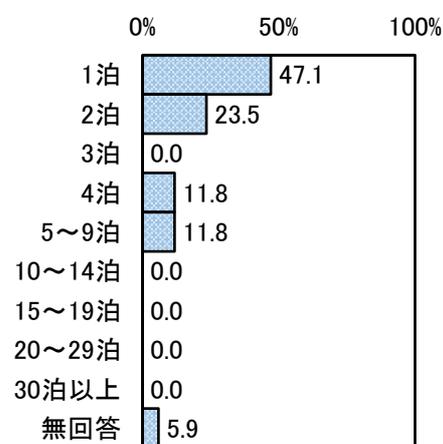
○冠婚葬祭

(n=18)



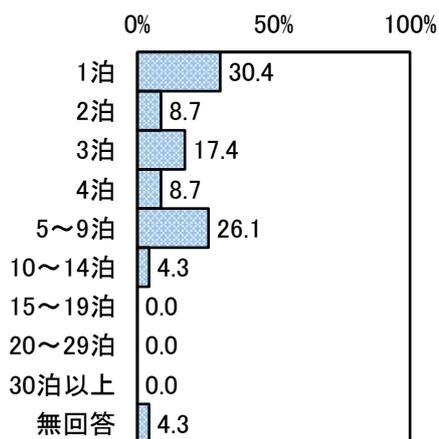
○保護者や家族の育児疲れ・不安

(n=17)



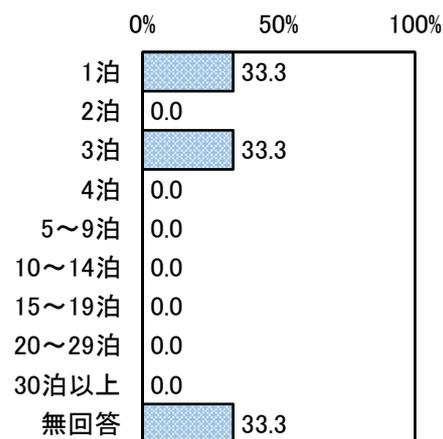
○保護者や家族の病気

(n=23)



○その他

(n=3)



(6) 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預ける必要（小学生）

問 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
 短期入所生活援助事業（ショートステイ：児童養護施設において小学生までのこどもを預かる事業）の利用希望の有無について、「1.」「2.」のうちあてはまるものに○を付けてください。その目的と必要な日数をお答えください。【小学生：問24】

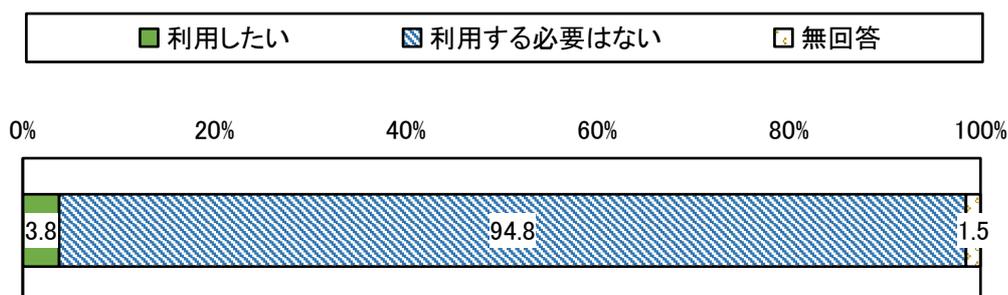
「利用したい」が3.8%、「利用する必要はない」が94.8%となっています。

利用したい場合の1年間の合計泊数について、「2泊」が30.8%で最も多く、次いで「1泊」と「5～9泊」と「10～14泊」がいずれも15.4%、「20～29泊」が7.7%となっています。

「利用したい」人の利用したい理由について、「保護者や家族の病気」が61.5%で最も多く、次いで「冠婚葬祭」が30.8%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が23.1%となっています。

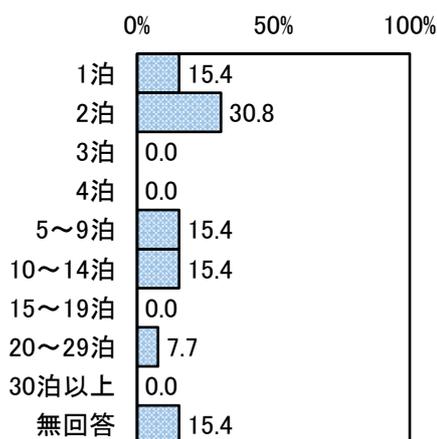
【利用意向】

(n=344)



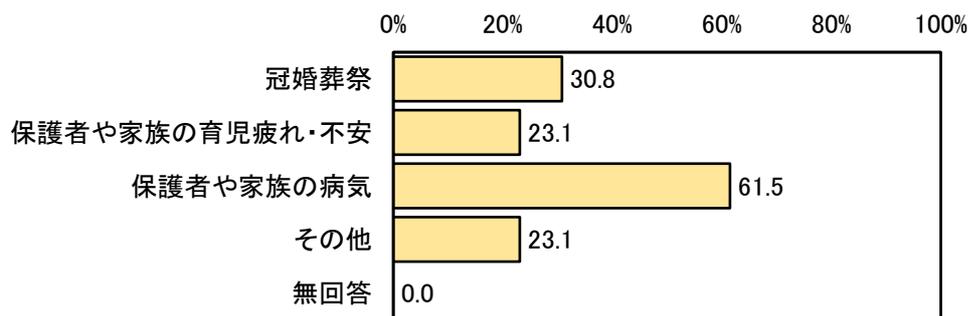
○利用した場合の1年間の合計日数

(n=13)



【利用したい理由】

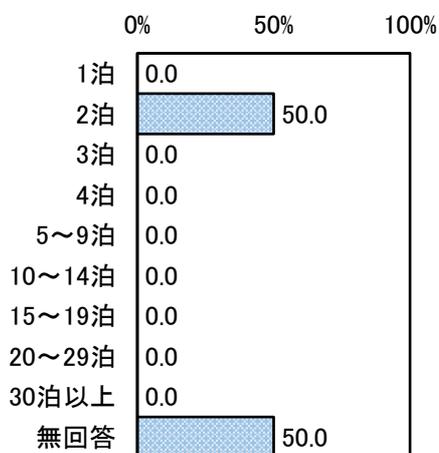
(n=13)



【利用したい日数】

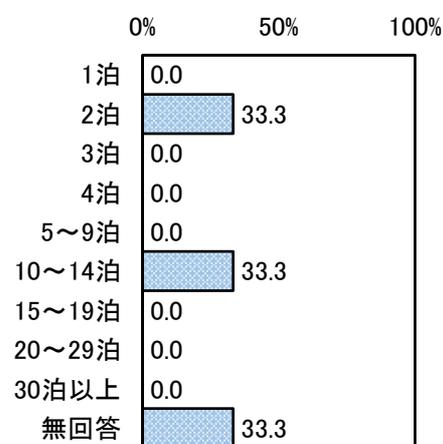
○冠婚葬祭

(n=4)



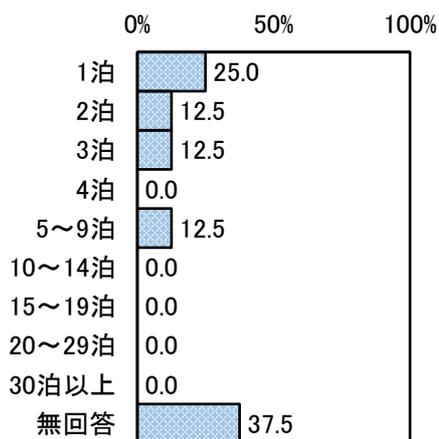
○保護者や家族の育児疲れ・不安

(n=3)



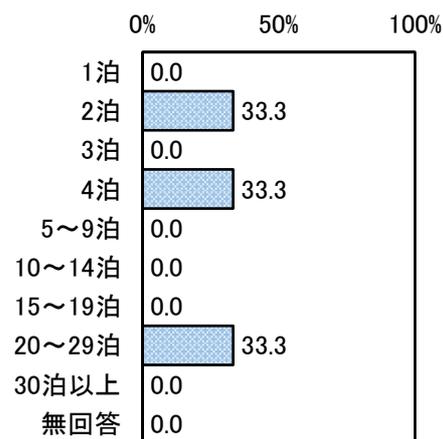
○保護者や家族の病気

(n=8)



○その他

(n=3)



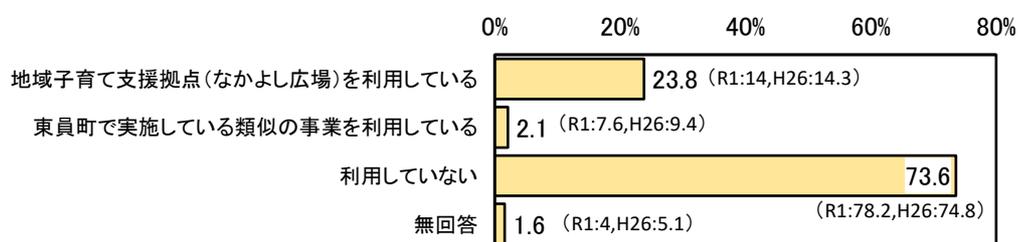
1.1 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）を利用していますか。また、利用している方はおよその利用回数（頻度）をご記入ください。●東員町子育て支援センター（ふれあいセンター内）では、「なかよし広場」の名前で、乳幼児とその保護者を対象に、身近な地域での交流や育児相談などが行える場を設けています。【就学前：問26】

「地域子育て支援拠点（なかよし広場）を利用している」が23.8%、「東員町で実施している類似の事業を利用している」が2.1%、「利用していない」が73.6%となっています。

(n=564)



【類似の事業の具体例】

ちびっこパーク、図書館、「あいあい」東1の子育て応援、きっずーな、ボランティア団体 OHANA、パパママ教室、園開放ちびっこパーク

「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」の1週あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。

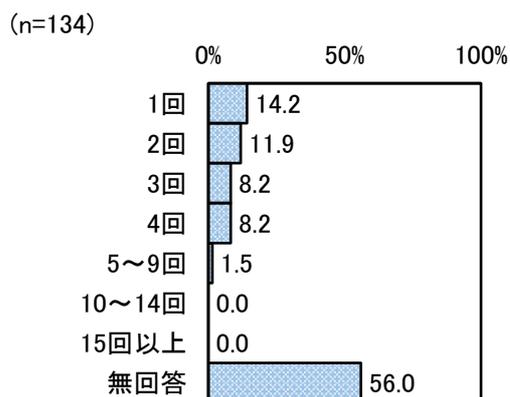
また、1か月あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。

「東員町で実施している類似の事業」の1週あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。

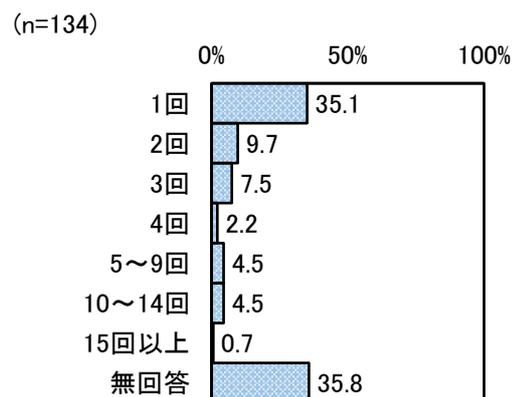
また、1か月あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。

【地域子育て支援拠点事業】

○1週あたりの利用回数

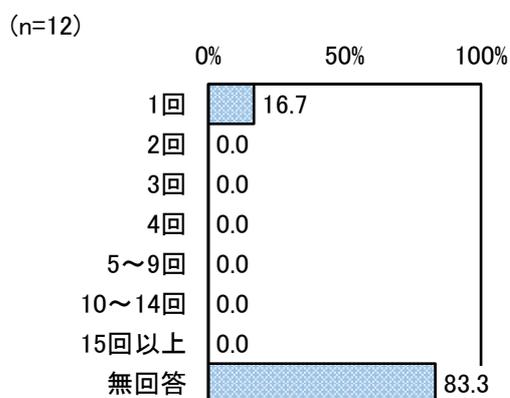


○1か月あたりの利用回数

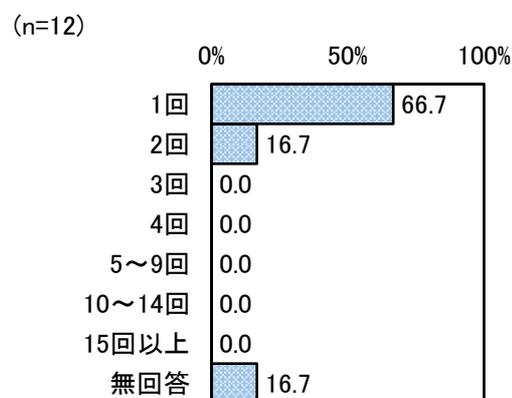


【東員町で実施している類似の事業】

○1週あたりの利用回数



○1か月あたりの利用回数



(2) 地域子育て支援拠点事業を利用していない理由

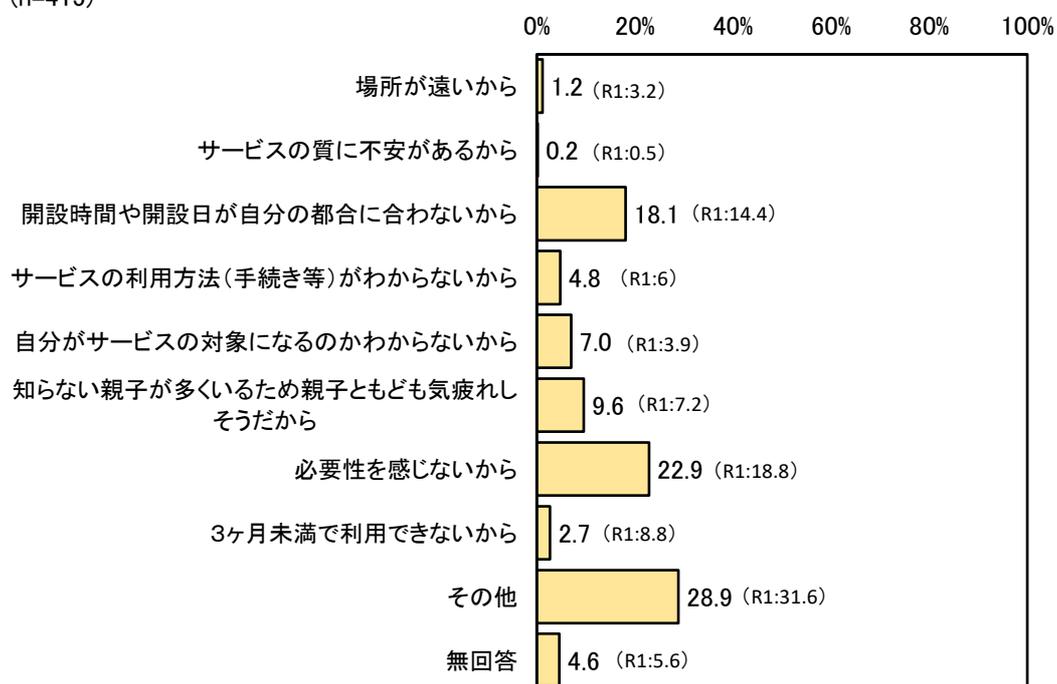
問26-1は、問26で「3. 利用していない」を選んだ方にお尋ねします。

問 現在、地域子育て支援拠点（なかよし広場）を利用していない理由はどのようなことですか。

【就学前：問26-1】

「必要性を感じないから」が22.9%で最も多く、次いで「開設時間や開設日が自分の都合に合わないから」が18.1%、「知らない親子が多くいるため親子ともども気疲れしそうだから」が9.6%、「自分がサービスの対象になるのかわからないから」が7.0%、「サービスの利用方法（手続き等）がわからないから」が4.8%となっています。

(n=415)



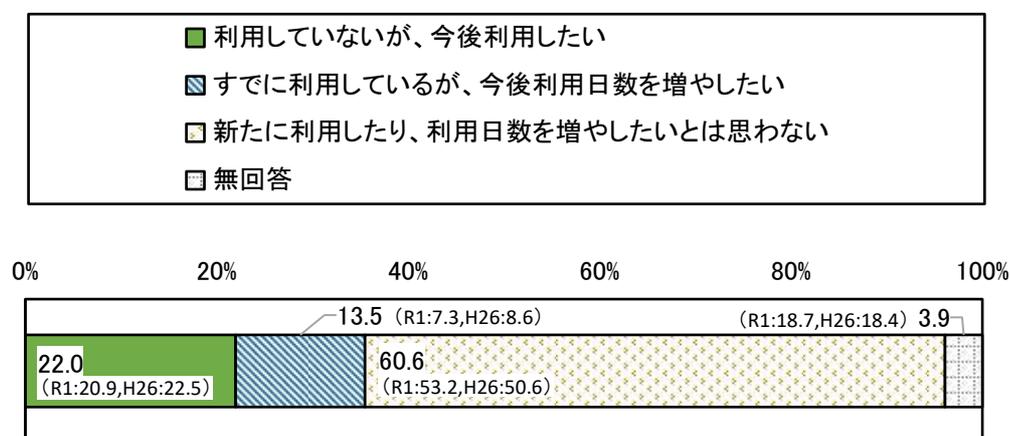
(3) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

問 問26のような地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。【就学前：問27】

「利用していないが、今後利用したい」が22.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が13.5%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が60.6%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」で、前々回との比較では+10.0ポイントの差異となっています。

(n=564)



第2章 調査結果

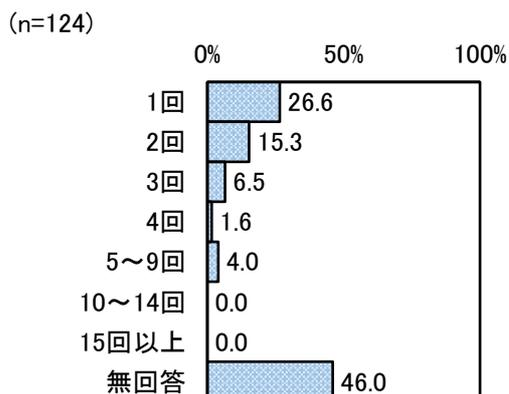
「利用していないが、今後利用したい」と回答した方の1週あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。

また、1か月あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。

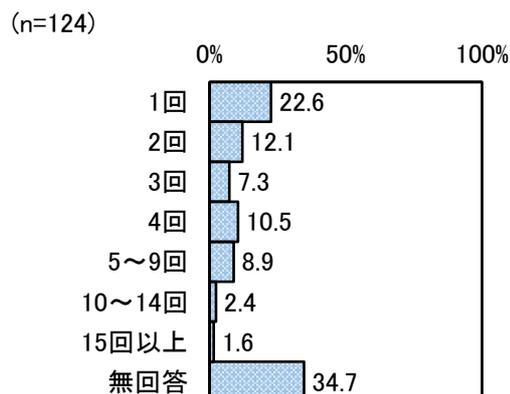
「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した方の1週あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。また、1か月あたりの利用回数は、「2回」と「4回」が最も多くなっています。

【今後利用したい】

○1週あたりの利用日数

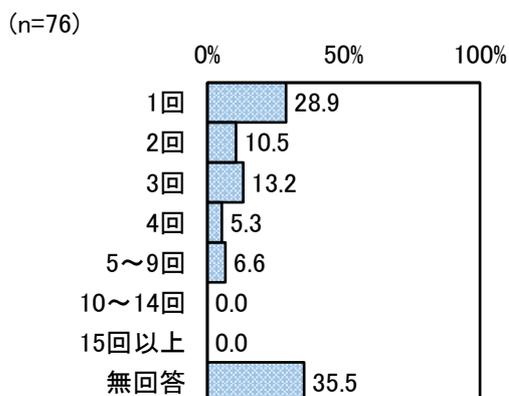


○1か月あたりの利用回数

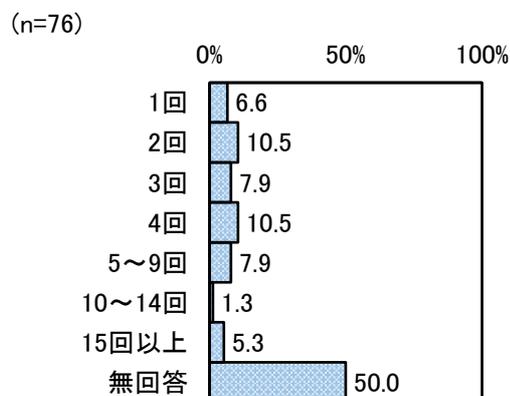


【利用日数を増やしたい】

○1週あたりの利用日数



○1か月あたりの利用回数



1 2 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

問 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 (1) 母親、(2) 父親、それぞれについてお答えください。また、父子家庭の場合は(1) 母親欄の記入は不要です。母子家庭の場合は(2) 父親欄の記入は不要です。【就学前：問28】

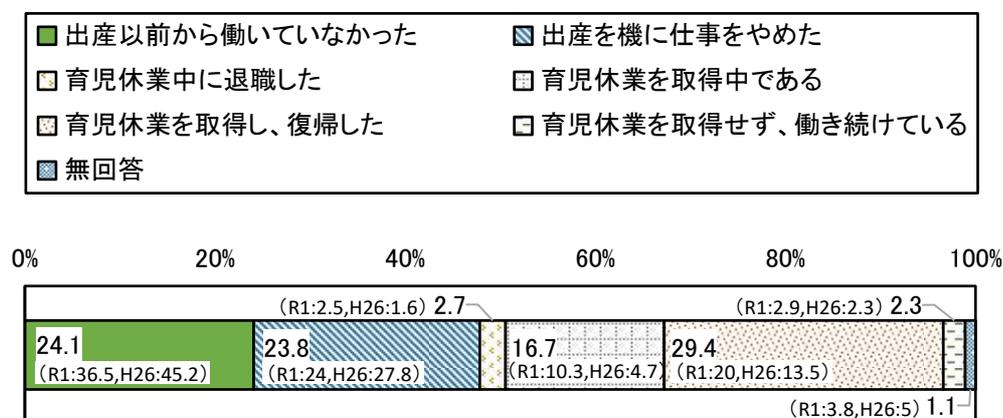
母親では、「出産以前から働いていなかった」が24.1%、「出産を機に仕事をやめた」が23.8%、「育児休業中に退職した」が2.7%、「育児休業を取得中である」が16.7%、「育児休業を取得し、復帰した」が29.4%、「育児休業を取得せず、働き続けている」が2.3%となっています。

母親の経年変化をみると、減少傾向なのが「出産以前から働いていなかった」で、前回との比較で-12.4ポイント、前々回との比較では-21.1ポイントの差異となっています。「育児休業を取得し、復帰した」は増加傾向で、前々回との比較では+15.9ポイントの差異となっています。

父親では、「出産以前から働いていなかった」が1.1%、「出産を機に仕事をやめた」が0.4%、「育児休業を取得中である」が0.7%、「育児休業を取得し、復帰した」が13.5%、「育児休業を取得せず、働き続けている」が76.4%となっています。

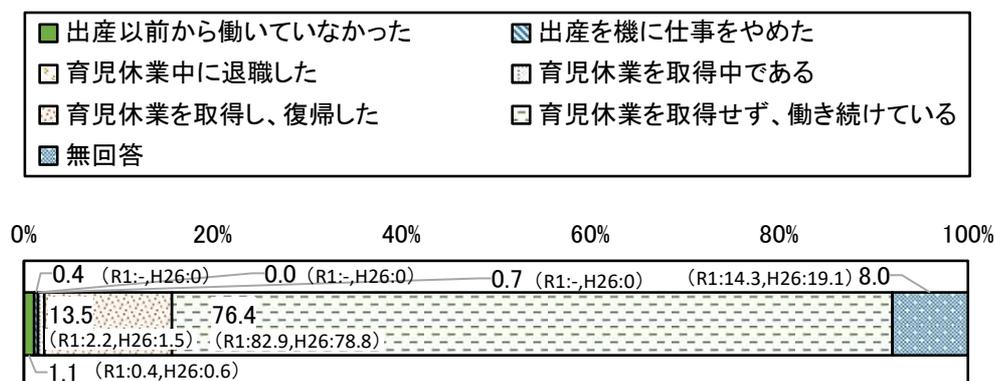
(1) 母親

(n=564)



(2) 父親

(n=564)



(2) サービス、環境の整備による就労継続移行

問29は、問28で「2.」、「3.」を選んだ方にお尋ねします。

問 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。

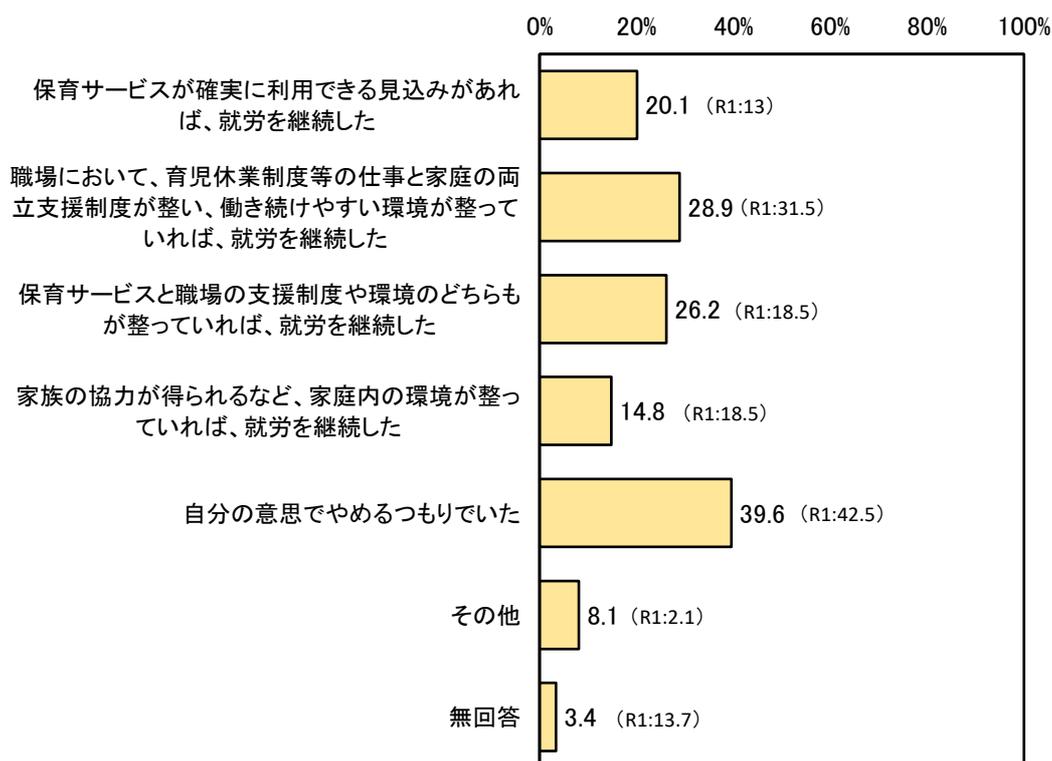
【就学前：問29】

母親では、「自分の意思でやめるつもりでいた」が39.6%で最も多く、次いで「職場において、育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、就労を継続した」が28.9%、「保育サービスと職場の支援制度や環境のどちらもが整っていれば、就労を継続した」が26.2%、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、就労を継続した」が20.1%、「家族の協力が得られるなど、家庭内の環境が整っていれば、就労を継続した」が14.8%となっています。

父親では、「自分の意思でやめるつもりでいた」が50.0%となっています。

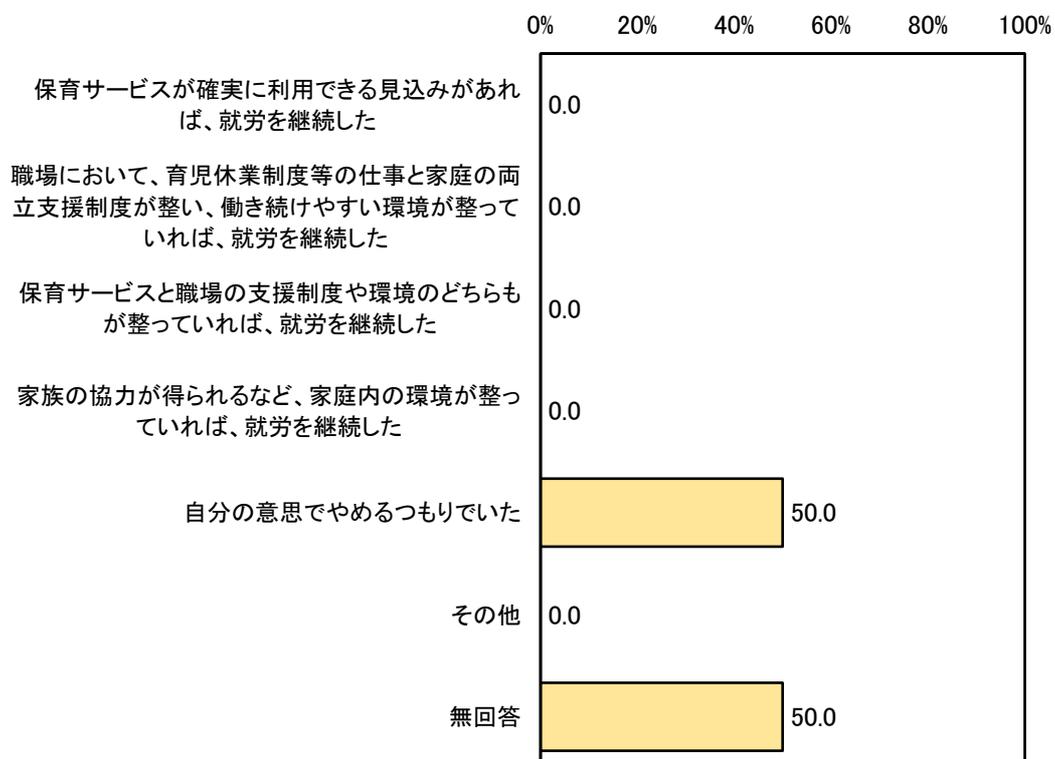
(1) 母親

(n=149)



(2) 父親

(n=2)



(3) 育児休業からの復帰のタイミング

問30-1~30-5は、問28で「5. 育児休業を取得し、復帰した」を選んだ方にお尋ねします。

問 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【就学前：問30-1】

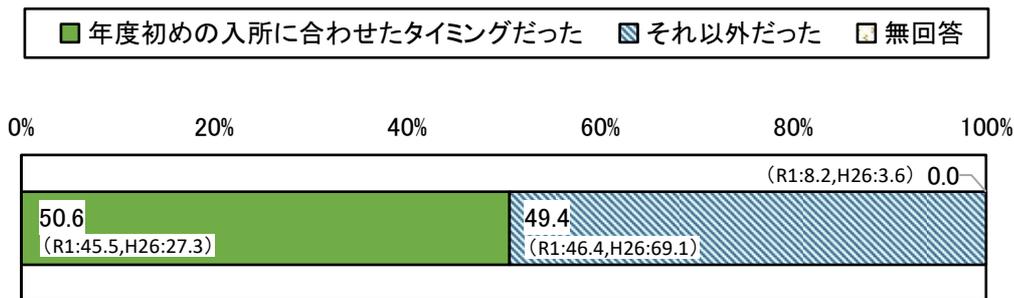
母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 50.6%、「それ以外だった」が 49.4%となっています。

経年変化をみると、増加傾向なのが「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」で、前々回との比較では+23.3 ポイントの差異となっています。「それ以外だった」は減少傾向で、前々回との比較では-19.7 ポイントの差異となっています。

父親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 3.9%、「それ以外だった」が 92.1%となっています。

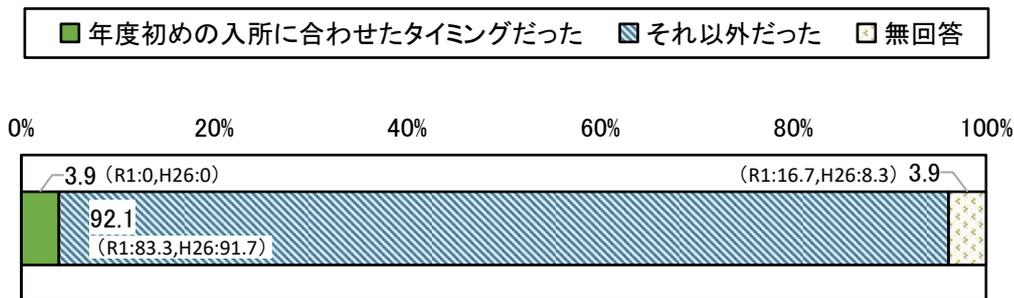
(1) 母親

(n=166)



(2) 父親

(n=76)



(4) 職場復帰の時のこどもの年齢

問 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としては、あて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。あて名のお子さんの年齢をそれぞれ、□内にご記入ください。【就学前：問30-2】

母親の職場復帰時の実際のこどもの年齢は、「1歳～1歳半未満」が46.4%で最も多く、次いで「1歳半～2歳未満」が17.5%、「2歳～3歳未満」が13.9%、「1歳未満」が10.2%、「6か月未満」が3.6%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「1歳～1歳半未満」で、前回との比較では-14.5ポイントの差異となっています。

また、希望としてのこどもの年齢は、「3歳以上」が30.1%で最も多く、次いで「1歳～1歳半未満」が28.3%、「2歳～3歳未満」が15.7%、「1歳半～2歳未満」が9.0%、「6か月未満」が6.6%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「3歳以上」で、前回との比較では+10.1ポイントの差異となっています。

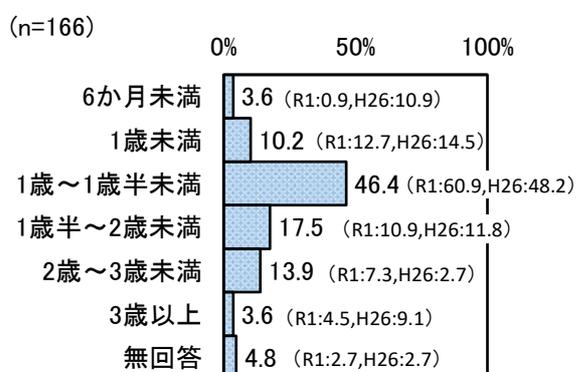
父親の職場復帰時の実際のこどもの年齢は、「6か月未満」が85.5%で最も多く、次いで「1歳～1歳半未満」が6.6%、「1歳未満」と「3歳以上」がともに1.3%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「6か月未満」で、前回との比較で+18.8ポイント、前々回との比較では+27.2ポイントの差異となっています。

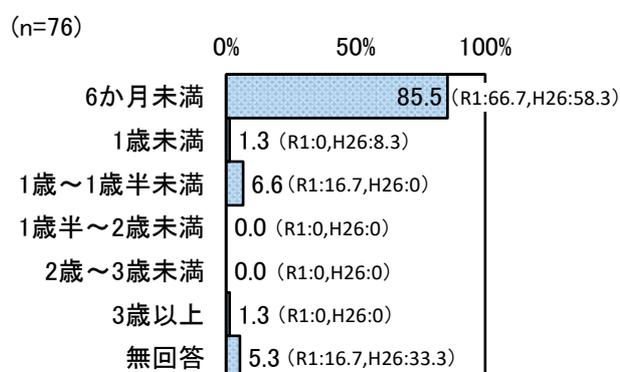
また、希望としてのこどもの年齢は、「6か月未満」が55.3%で最も多く、次いで「1歳～1歳半未満」が14.5%、「1歳未満」が11.8%、「3歳以上」が5.3%、「1歳半～2歳未満」が2.6%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「6か月未満」で、前回との比較では+22.0ポイントの差異となっています。

(1) 母親：実際

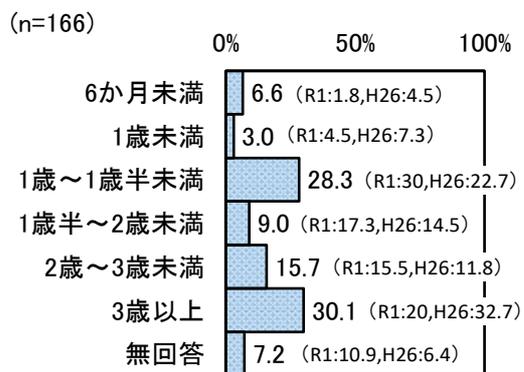


(2) 父親：実際

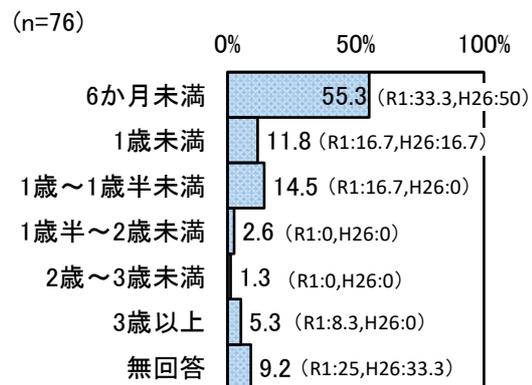


第2章 調査結果

(1) 母親：希望



(2) 父親：希望



(5) 希望時期に職場復帰しなかった理由

問30-3は、問30-2で実際の復職と希望が異なる方にお尋ねします。

問 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。【就学前：問30-3】

希望より早く復帰した母親では、「勤務先の育児休業の制度では、その時期までしか取れなかったため」が6.2%、「希望する保育園に入るため」が4.9%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が2.5%となっています。

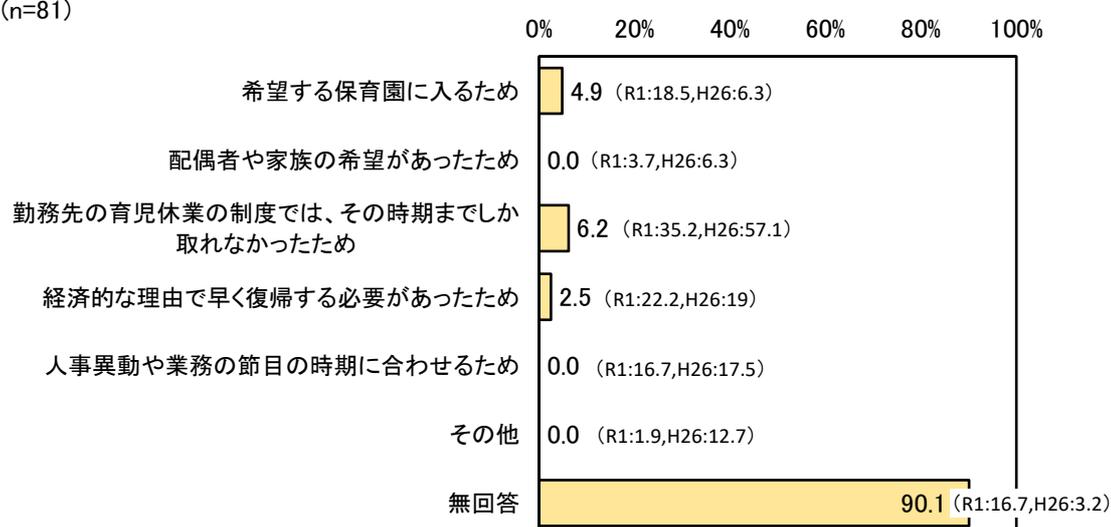
希望より早く復帰した父親では、「勤務先の育児休業の制度では、その時期までしか取れなかったため」が27.8%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が22.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が11.1%、「希望する保育園に入るため」が2.8%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「勤務先の育児休業の制度では、その時期までしか取れなかったため」で、前々回との比較では-47.2ポイントの差異となっています。「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」も、前々回との比較では-27.8ポイントの差異となっています。

(A) 希望より早く復帰した方

(1) 母親

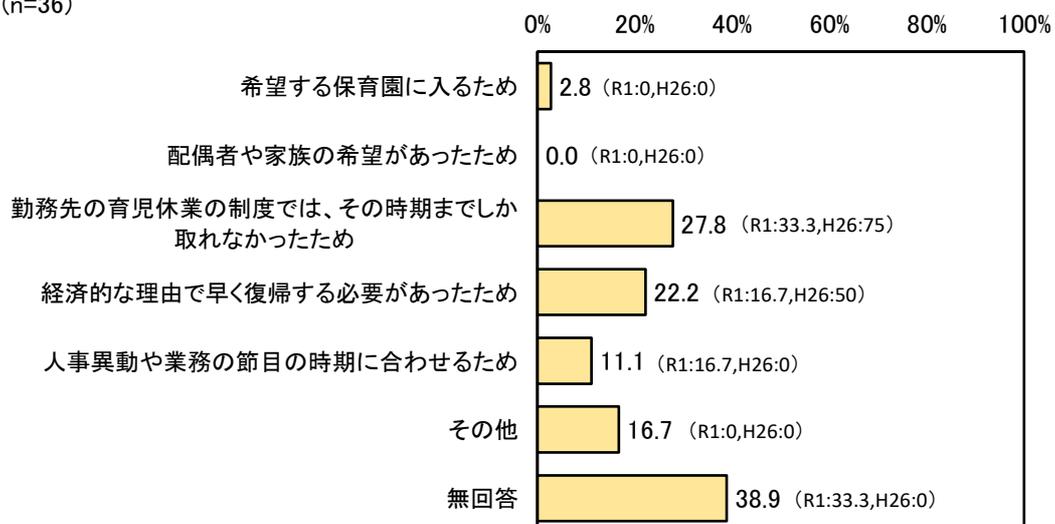
(n=81)



第2章 調査結果

(2) 父親

(n=36)



希望より遅く復帰した母親では、「希望する保育園に入れなかったため」が36.1%で最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が5.6%、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が2.8%となっています。

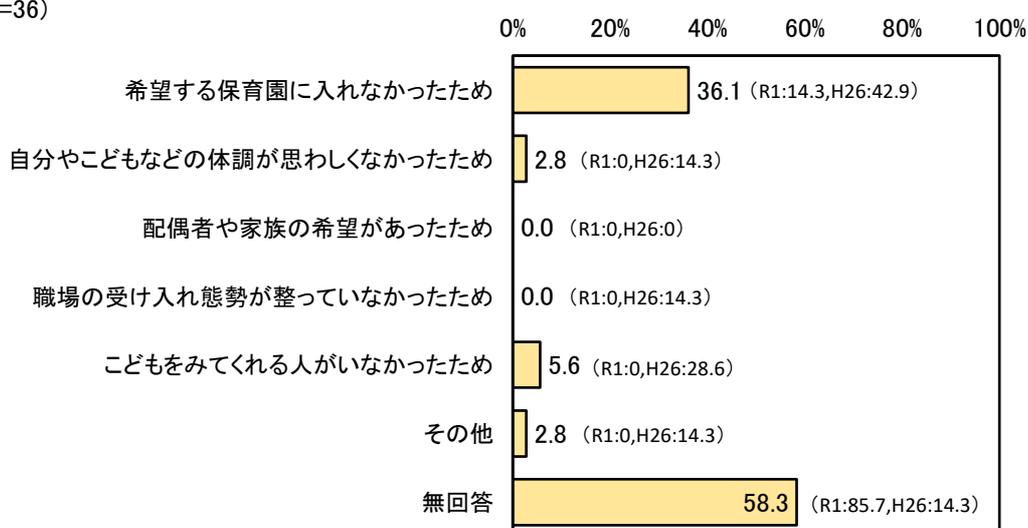
経年変化をみると、変化が見られるのは「希望する保育園に入れなかったため」で、前回との比較では+21.8ポイントの差異となっています。

希望より遅く復帰した父親では、回答がありませんでした。

(B) 希望より遅く復帰した方

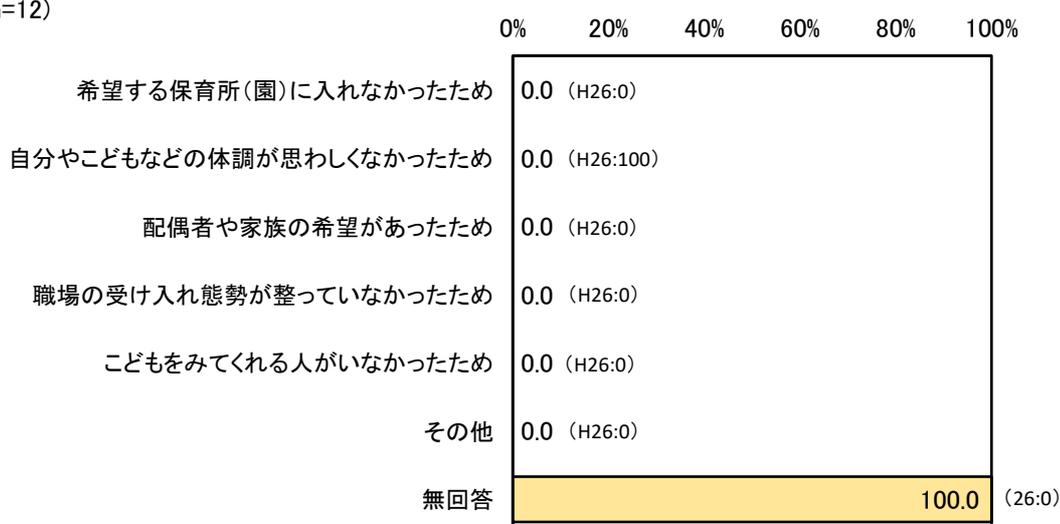
(1) 母親

(n=36)



(2) 父親

(n=12)



(6) 短時間勤務制度の利用

問 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

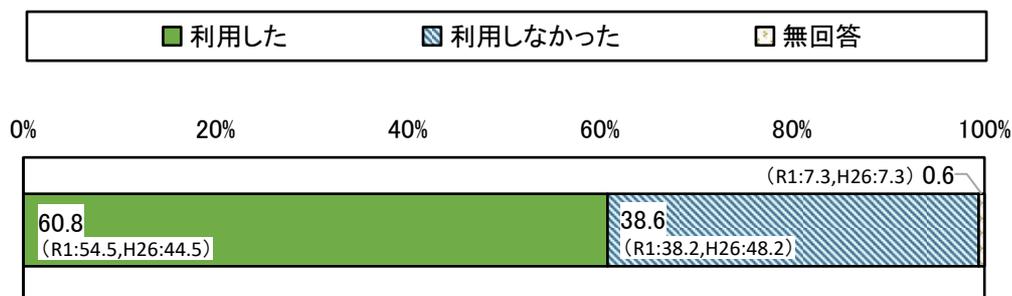
【就学前：問30-4】

母親では、「利用した」が60.8%、「利用しなかった」が38.6%となっています。
 経年変化をみると、変化が見られるのは「利用した」で、前々回との比較では+16.3ポイントの差異となっています。

父親では、「利用した」が2.6%、「利用しなかった」が93.4%となっています。
 経年変化をみると、変化が見られるのは「利用しなかった」で、前回との比較で+26.7ポイント、前々回との比較では+35.1ポイントの差異となっています。

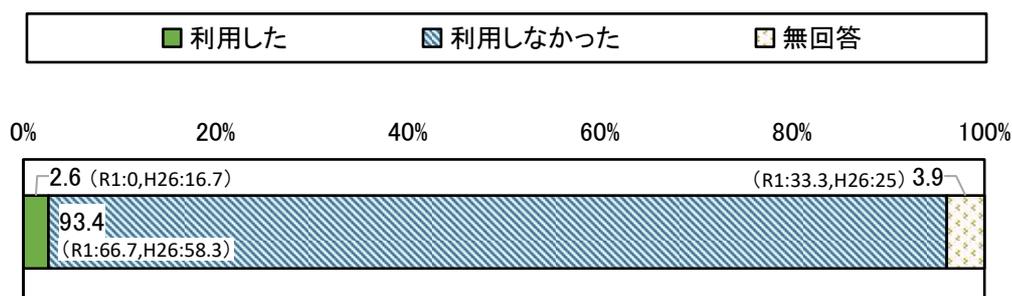
(1) 母親

(n=166)



(2) 父親

(n=76)



(7) 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由

問30-5は、問30-4で「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。【就学前：問30-5】

母親では、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が31.3%で最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が21.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が14.1%、「仕事が忙しかった」と「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」がともに10.9%となっています。

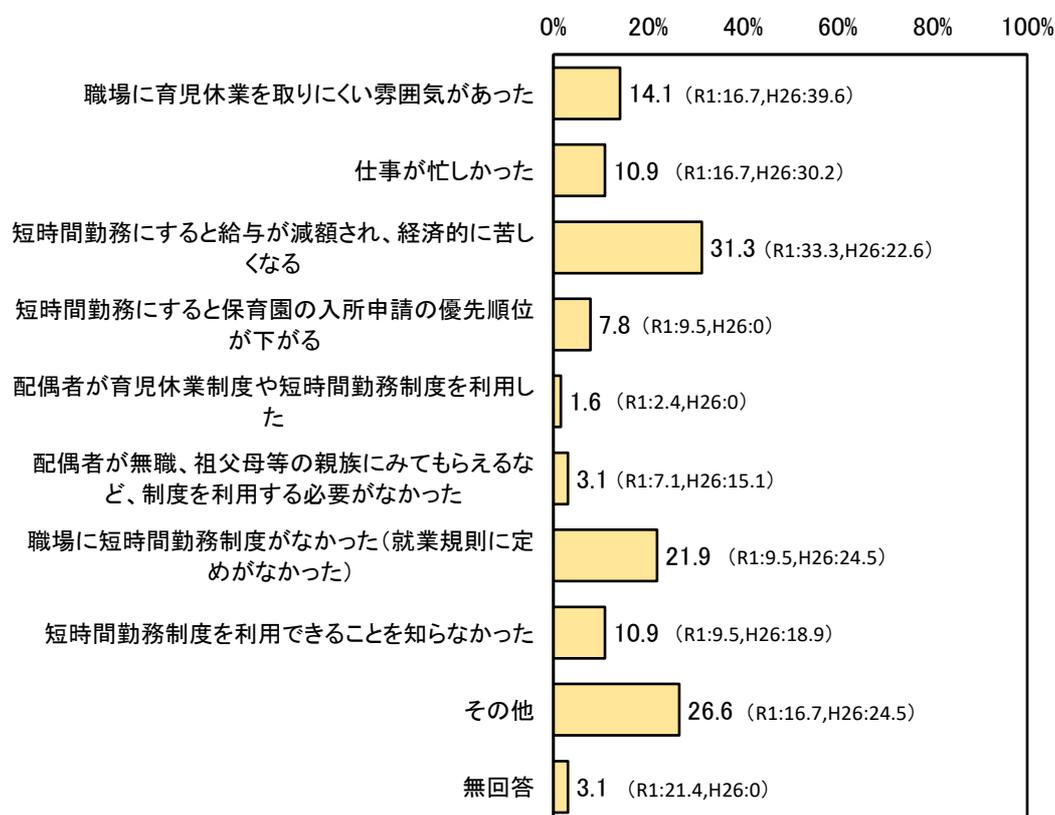
経年変化をみると、変化が見られるのは「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」で、前回との比較では+12.4ポイントの差異となっています。

父親では、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が45.1%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が43.7%、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が23.9%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が16.9%、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が15.5%となっています。

経年変化をみると、大きな変化が見られるのは「仕事が忙しかった」で、前回との比較では+43.7ポイントの差異となっています。「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」も増加傾向で、前回との比較で+32.6ポイント、前々回との比較では+16.5ポイントの差異となっています。

(1) 母親

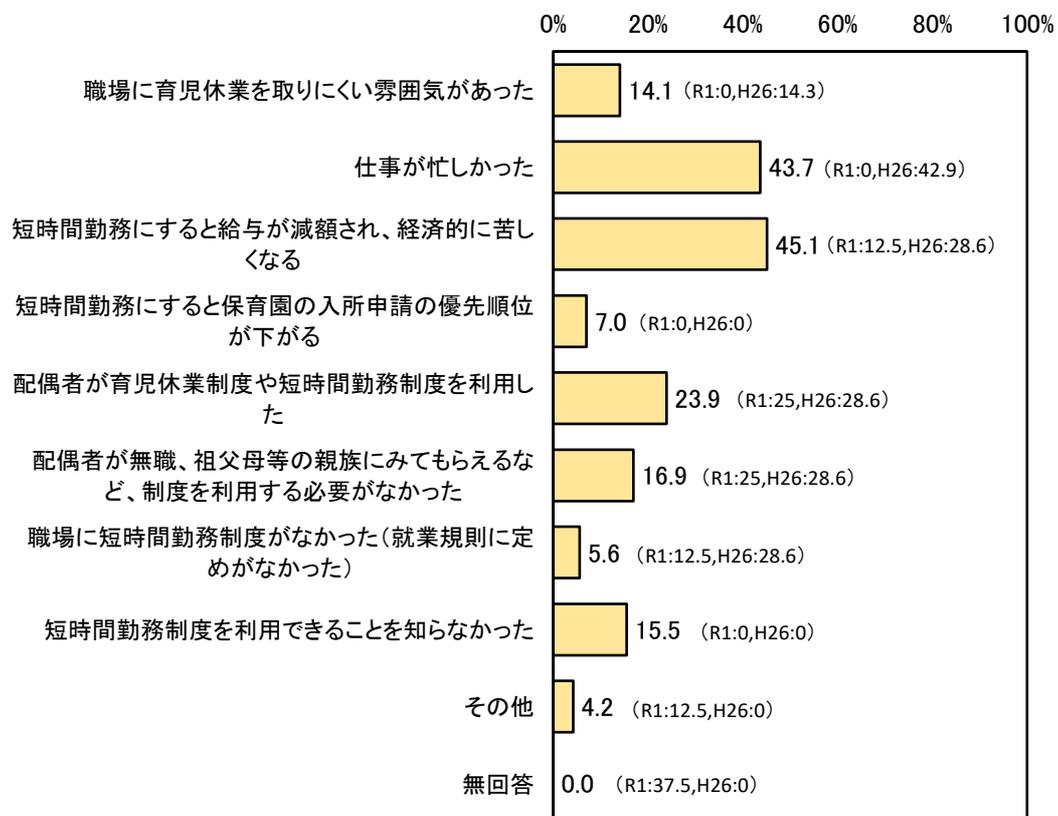
(n=64)



第2章 調査結果

(2) 父親

(n=71)



(8) 育児休業を取得せず就労を続けている理由

問31は、問28で「6.」を選んだ方にお尋ねします。

問 取得せず、働き続けている理由は何ですか。【就学前：問31】

母親では、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が38.5%で最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が23.1%、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」が15.4%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」で、前回との比較で19.7ポイント、前々回との比較では28.0ポイントの差異となっています。

父親では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が36.0%で最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が35.7%、「仕事が忙しかった」が31.6%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が22.5%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が18.3%となっています。

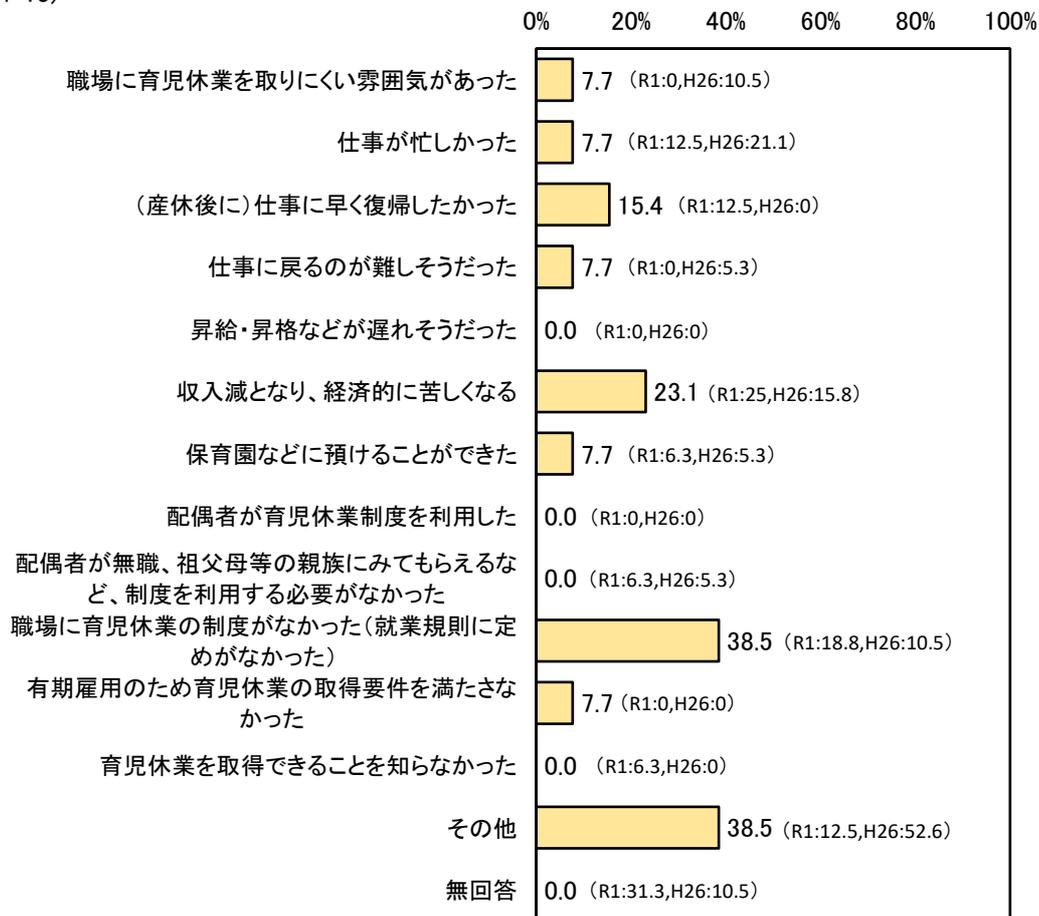
経年変化をみると、最も変化が見られるのは「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」で、前回との比較で+10.4ポイント、前々回との比較では+17.4ポイントの差異となっています。

「収入減となり、経済的に苦しくなる」も、前々回との比較では+12.9ポイントの差異、「配偶者が育児休業制度を利用した」は、前々回との比較では+11.8ポイントの差異となっています。

第2章 調査結果

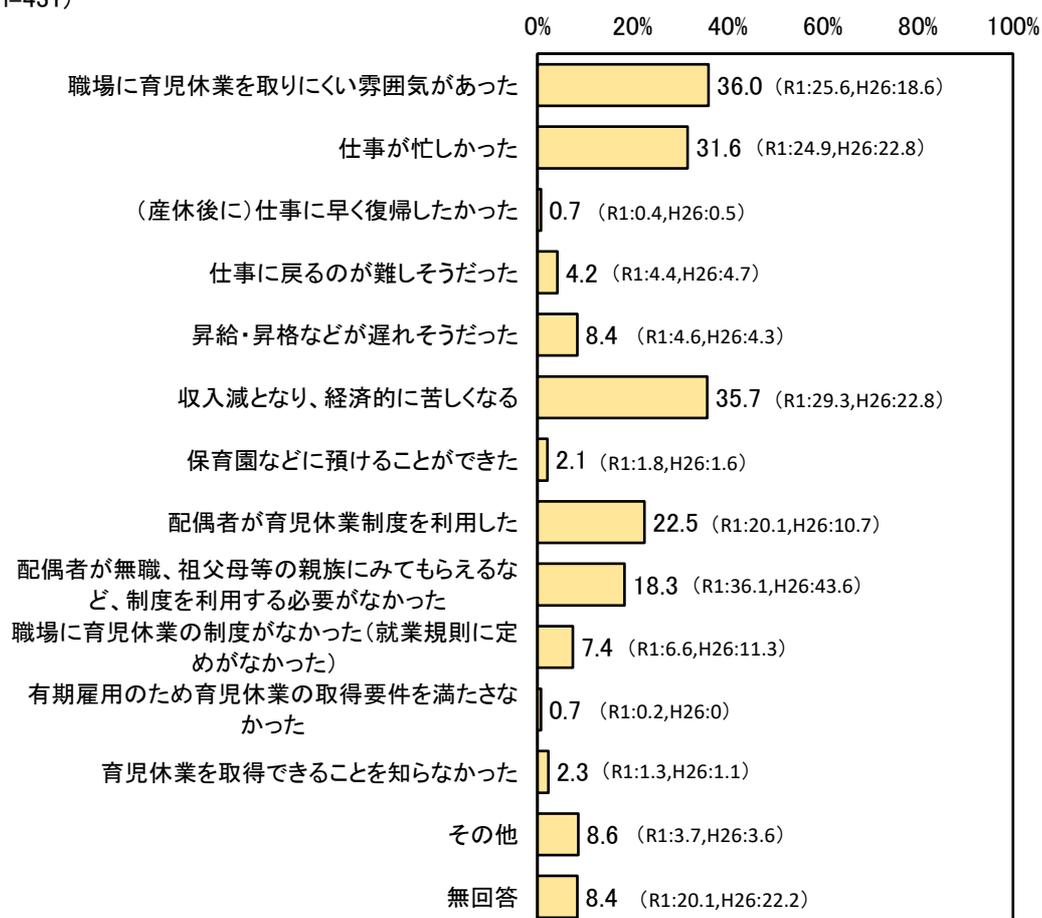
(1) 母親

(n=13)



(2) 父親

(n=431)



(9) 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること（就学前児童）

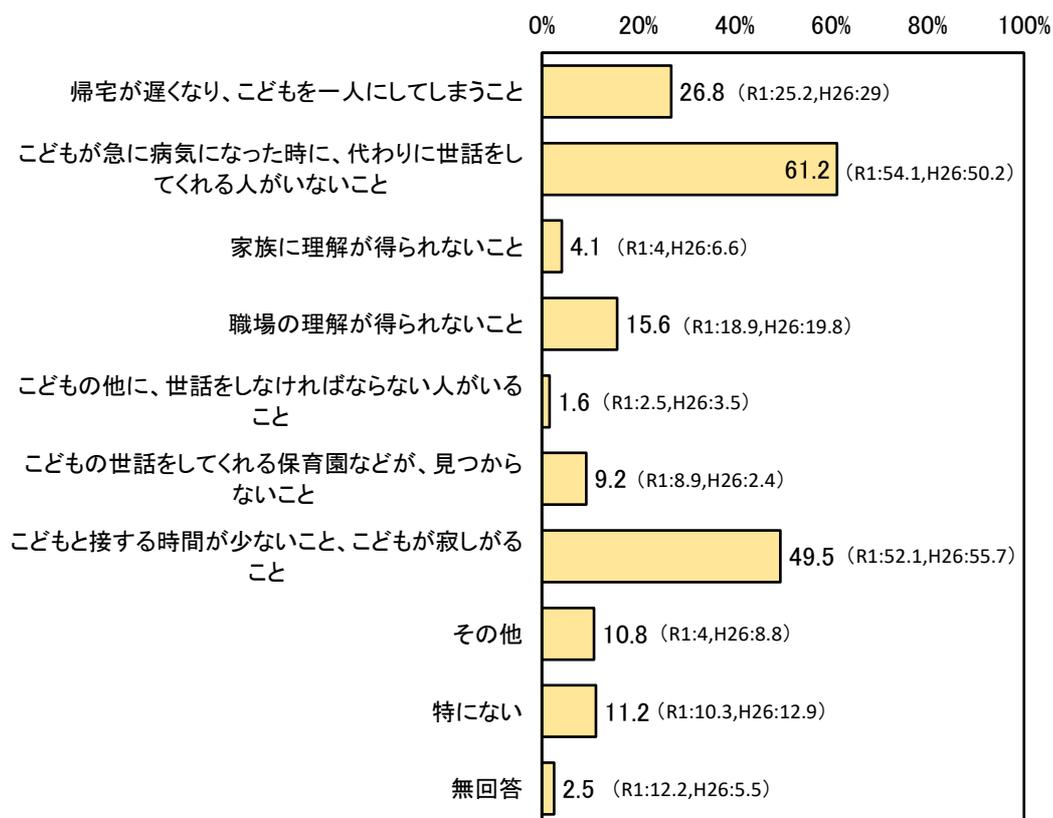
問 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。【就学前：問32】

母親では、「こどもが急に病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」が61.2%で最も多く、次いで「こどもと接する時間が少ないこと、こどもが寂しがること」が49.5%、「帰宅が遅くなり、こどもを一人にしてしまうこと」が26.8%、「職場の理解が得られないこと」が15.6%、「こどもの世話をしてくれる保育園などが、見つからないこと」が9.2%となっています。

父親では、「こどもと接する時間が少ないこと、こどもが寂しがること」が46.6%で最も多く、次いで「こどもが急に病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」が24.3%、「帰宅が遅くなり、こどもを一人にしてしまうこと」が15.6%、「職場の理解が得られないこと」が12.4%、「こどもの世話をしてくれる保育園などが、見つからないこと」が4.3%となっています。

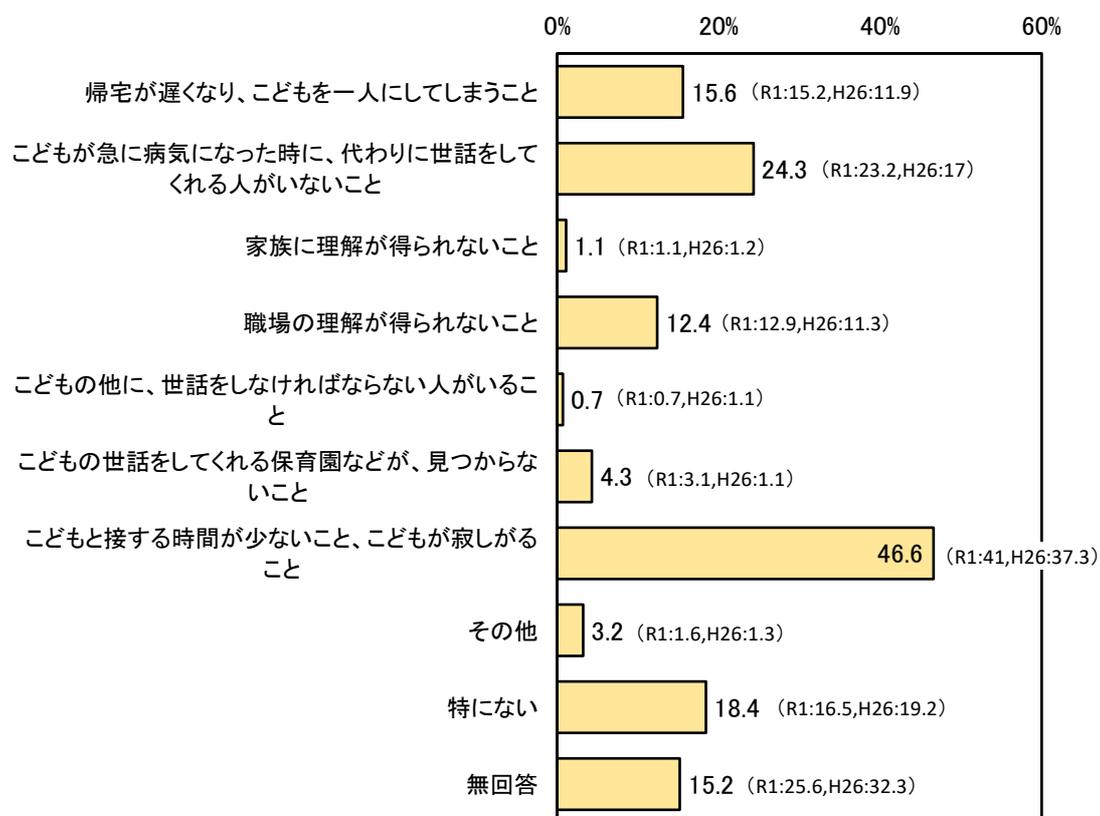
(1) 母親

(n=564)



(2) 父親

(n=564)



(10) 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること (小学生)

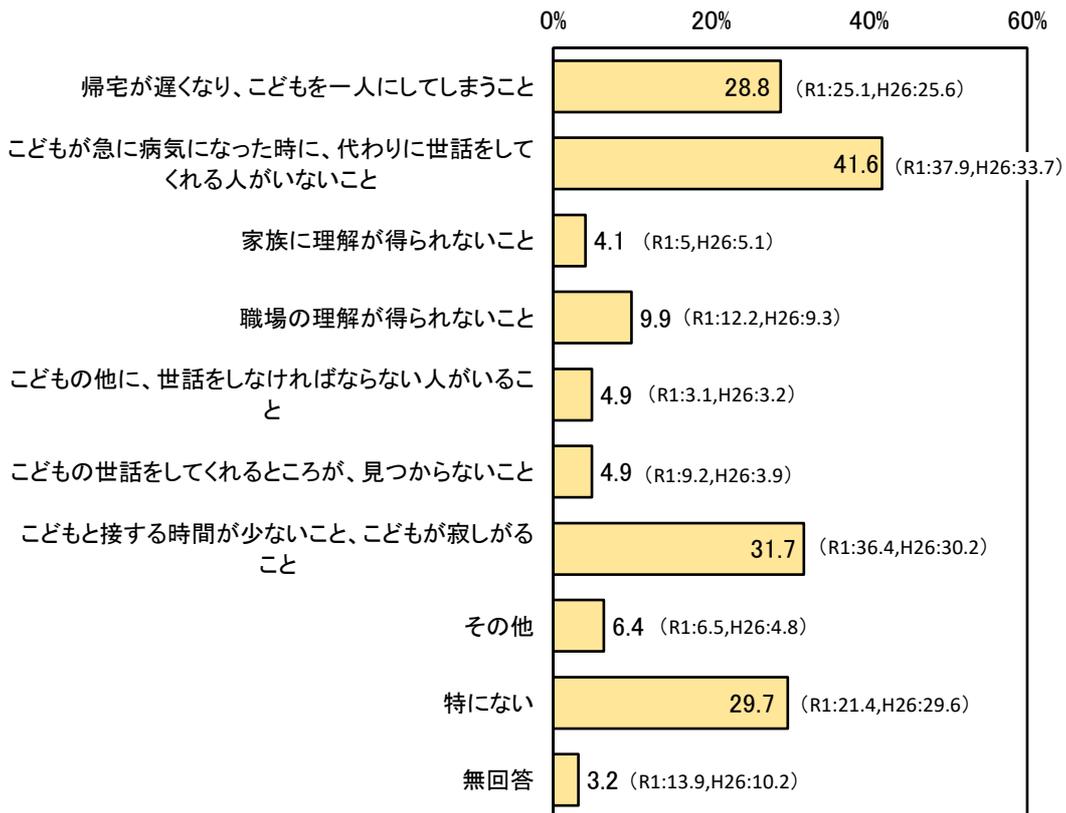
問 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。【小学生：問25】

母親では、「こどもが急に病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」が41.6%で最も多く、次いで「こどもと接する時間が少ないこと、こどもが寂しがること」が31.7%、「帰宅が遅くなり、こどもを一人にしてしまうこと」が28.8%、「職場の理解が得られないこと」が9.9%となっています。

父親では、「こどもと接する時間が少ないこと、こどもが寂しがること」が21.5%で最も多く、次いで「こどもが急に病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」が15.1%、「帰宅が遅くなり、こどもを一人にしてしまうこと」が13.4%、「職場の理解が得られないこと」が10.5%となっています。

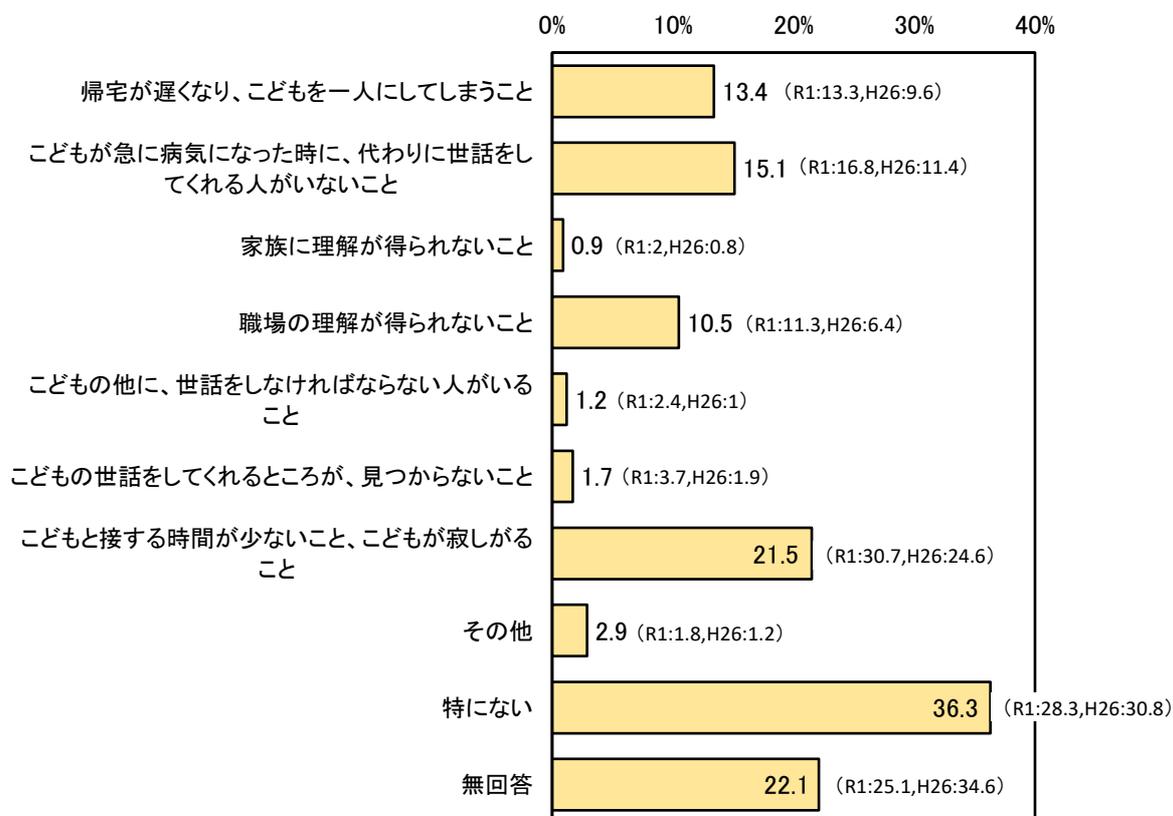
(1) 母親

(n=344)



(2) 父親

(n=344)



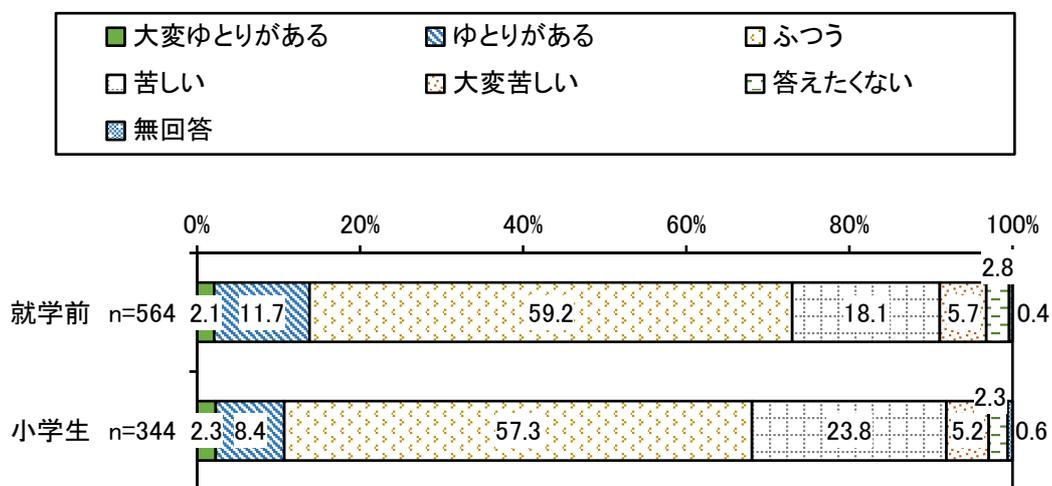
1.3 現在の暮らしについて

(1) 現在の暮らしの状況

問 あなたは現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。【就学前：問33、小学生：問28】

就学前では、「大変ゆとりがある」が2.1%、「ゆとりがある」が11.7%、「ふつう」が59.2%、「苦しい」が18.1%、「大変苦しい」が5.7%となっています。

小学生では、「大変ゆとりがある」が2.3%、「ゆとりがある」が8.4%、「ふつう」が57.3%、「苦しい」が23.8%、「大変苦しい」が5.2%となっています。



1.4 子育て全般について

(1) 認知度・利用度

問 下の①～⑨の事業の(1)認知度・利用度、(2)利用意向について、あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。【就学前：問34】

「利用したことがある」について、「④新生児訪問・赤ちゃん訪問」が91.5%で最も多く、次いで「②新生児聴覚検査」が90.2%、「①妊婦健康診査」が89.9%となっています。

「知っているが利用したことはない」について、「⑤産後ケア」が51.4%で最も多く、次いで「⑨育児相談」が49.5%となっています。

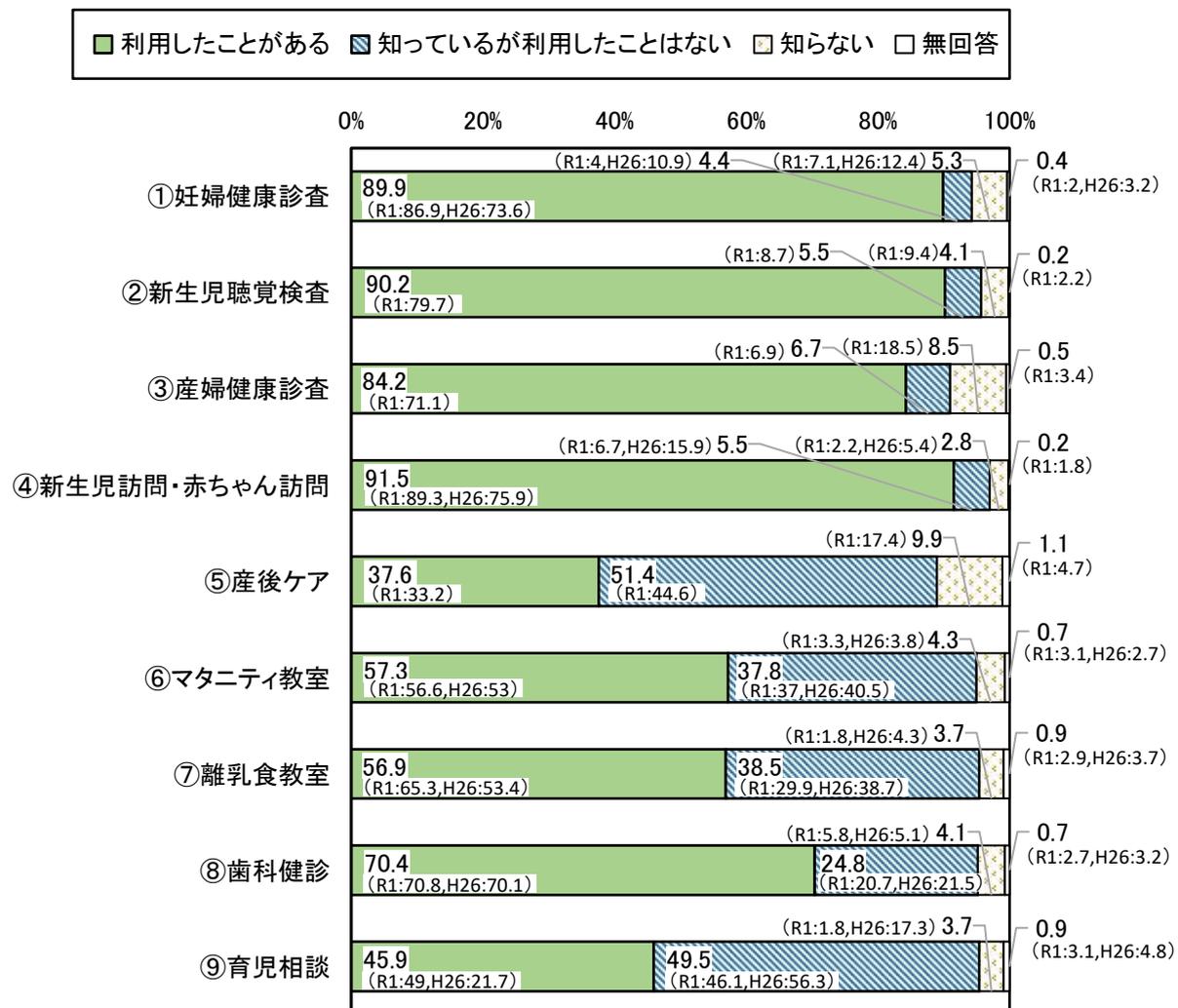
「知らない」について、「⑤産後ケア」が9.9%で最も多く、次いで「③産婦健康診査」が8.5%となっています。

認知度・利用度の経年変化をみると、①妊婦健康診査の「利用したことがある」が、前々回との比較で+16.3ポイントの差異、②新生児聴覚検査の「利用したことがある」が、前回との比較で+10.5ポイントの差異、④新生児訪問・赤ちゃん訪問の「利用したことがある」が、前々回との比較で+15.6ポイントの差異、⑨育児相談の「利用したことがある」が、前々回との比較で+24.2ポイントの差異と、いずれも増加傾向となっています。

第2章 調査結果

(1) 認知度・利用度

(n=564)



(2) 各種事業の利用意向

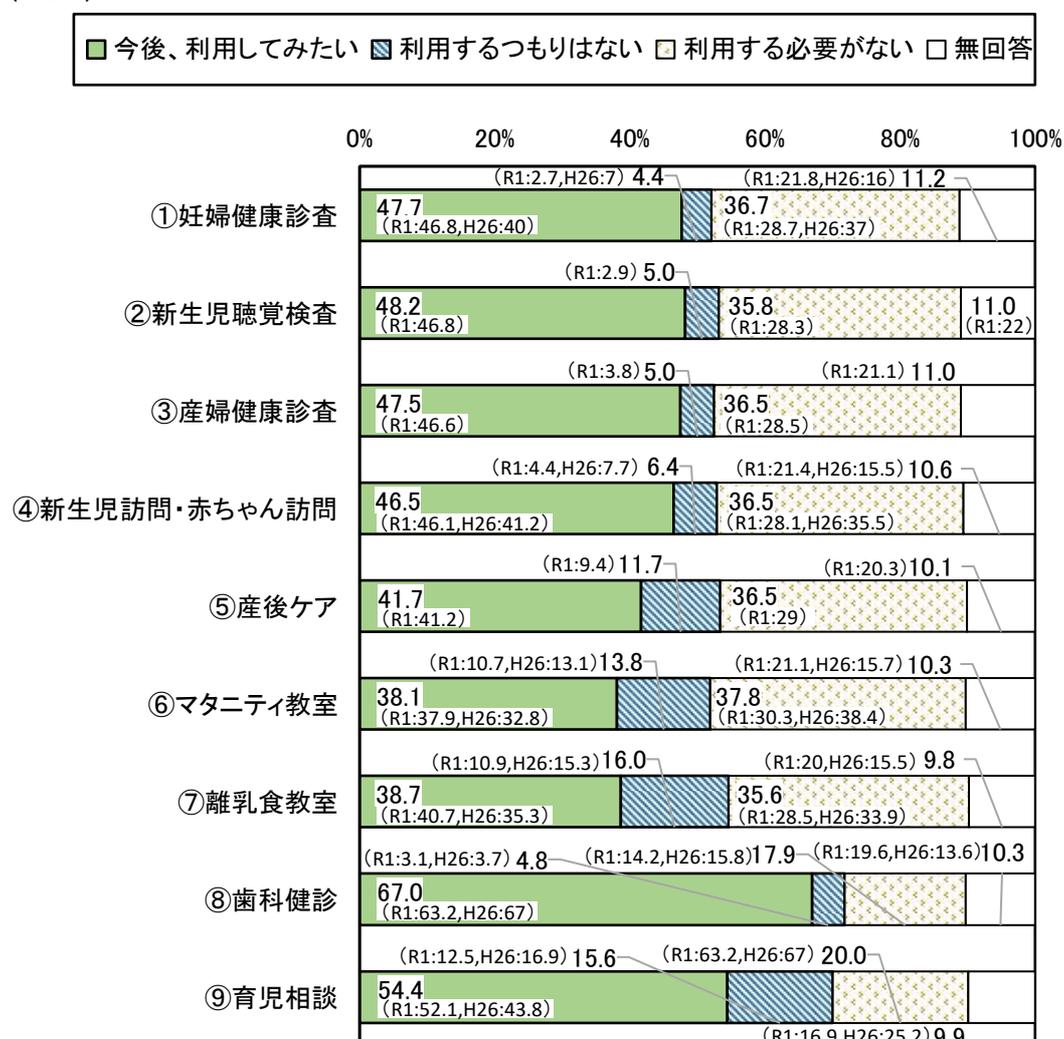
問 下の①～⑨の事業の(1)認知度・利用度、(2)利用意向について、あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。【就学前：問34】

「今後、利用してみたい」について、「⑧歯科健診」が67.0%で最も多く、次いで「⑨育児相談」が54.4%、「②新生児聴覚検査」が48.2%、「①妊婦健康診査」が47.7%、「③産婦健康診査」が47.5%となっています。

利用意向の経年変化をみると、変化が見られるのは⑨育児相談の「今後、利用してみたい」で、前々回との比較では+10.6ポイントの差異となっています。

(2) 利用意向

(n=564)

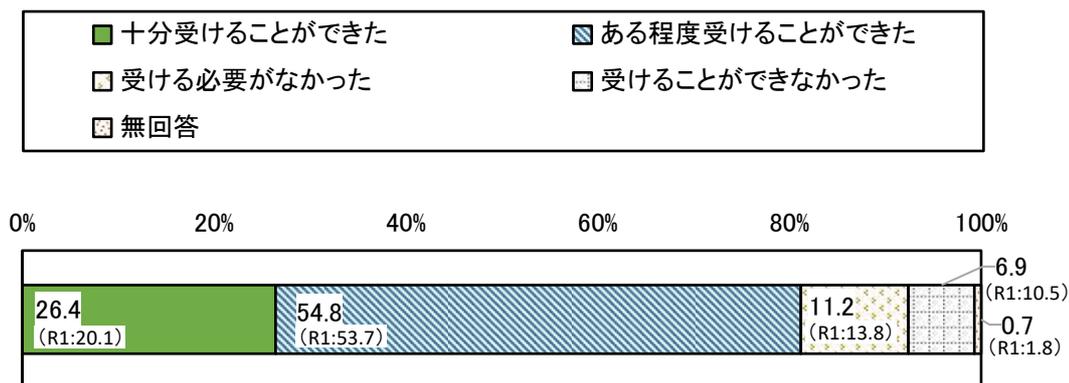


(3) 産後ケアについて

問 産後、退院してからの1か月間程度、保健師や助産師からの指導・ケアを受けることができましたか。【就学前：問35】

「十分受けることができた」が26.4%、「ある程度受けることができた」が54.8%、「受ける必要がなかった」が11.2%、「受けることができなかった」が6.9%となっています。

(n=564)

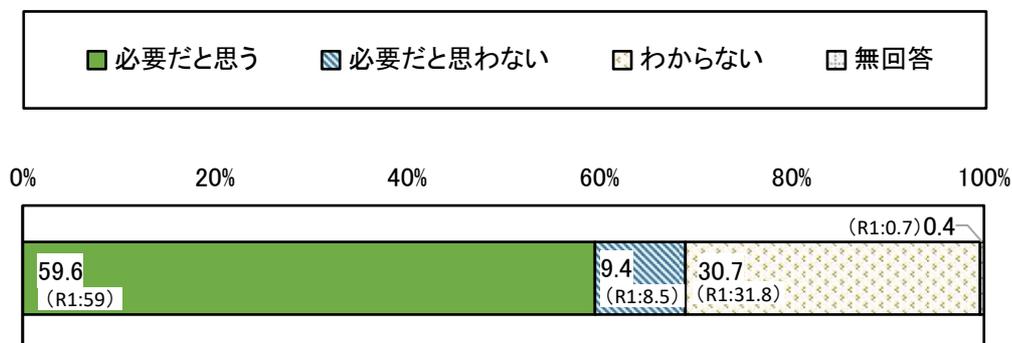


(4) 地域の子育てについて

問 近所の方やボランティアの方（母子保健推進員）などによる、地域での子育て支援は必要だと思いますか。【就学前：問36】

「必要だと思う」が59.6%、「必要だと思わない」が9.4%、「わからない」が30.7%となっています。

(n=564)



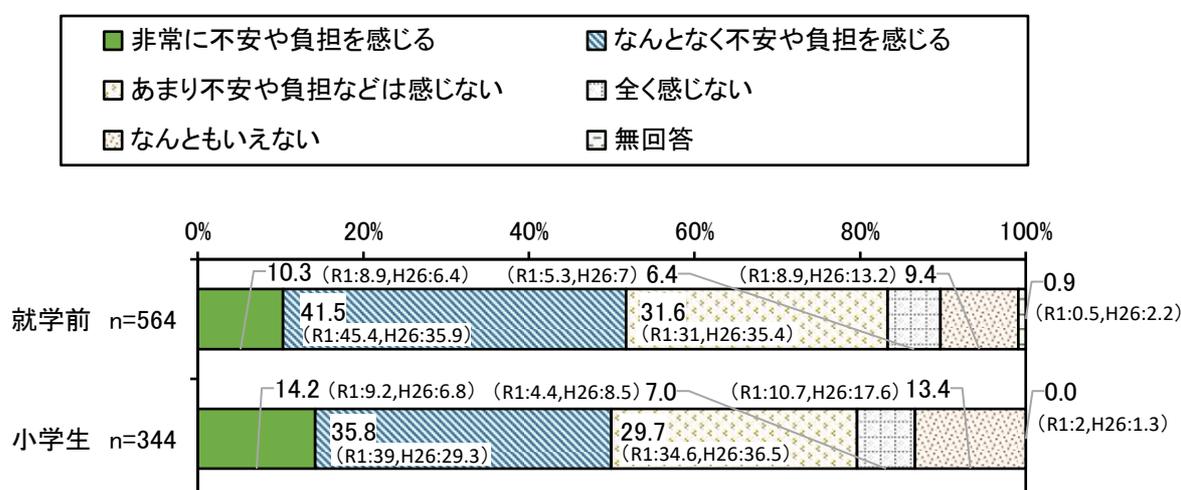
(5) 子育てへの不安感・負担感

問 子育てに関して、不安感や負担感などを感じることはありますか。

【就学前：問37、小学生：問26】

就学前では、「非常に不安や負担を感じる」が 10.3%、「なんとなく不安や負担を感じる」が 41.5%、「あまり不安や負担などは感じない」が 31.6%、「全く感じない」が 6.4%、「なんともいえない」が 9.4%となっています。

小学生では、「非常に不安や負担を感じる」が 14.2%、「なんとなく不安や負担を感じる」が 35.8%、「あまり不安や負担などは感じない」が 29.7%、「全く感じない」が 7.0%、「なんともいえない」が 13.4%となっています。



(6) 子育てについて思うこと

問 子育てに関する①～⑯の項目について、あなたはどのように思いますか。

【就学前：問38、小学生：問27】

就学前の「そう思う」と「やや思う」を合わせた『思う』について、「③自分の自由な時間がない」が81.3%で最も多く、次いで「②子育てによる経済的な負担が大きい」が72.7%、「①子育てによる身体的な負担が大きい」が65.8%、「④夫婦で楽しむ時間がない」が57.8%、「⑯こどもの健康が気になる」が53.1%となっています。

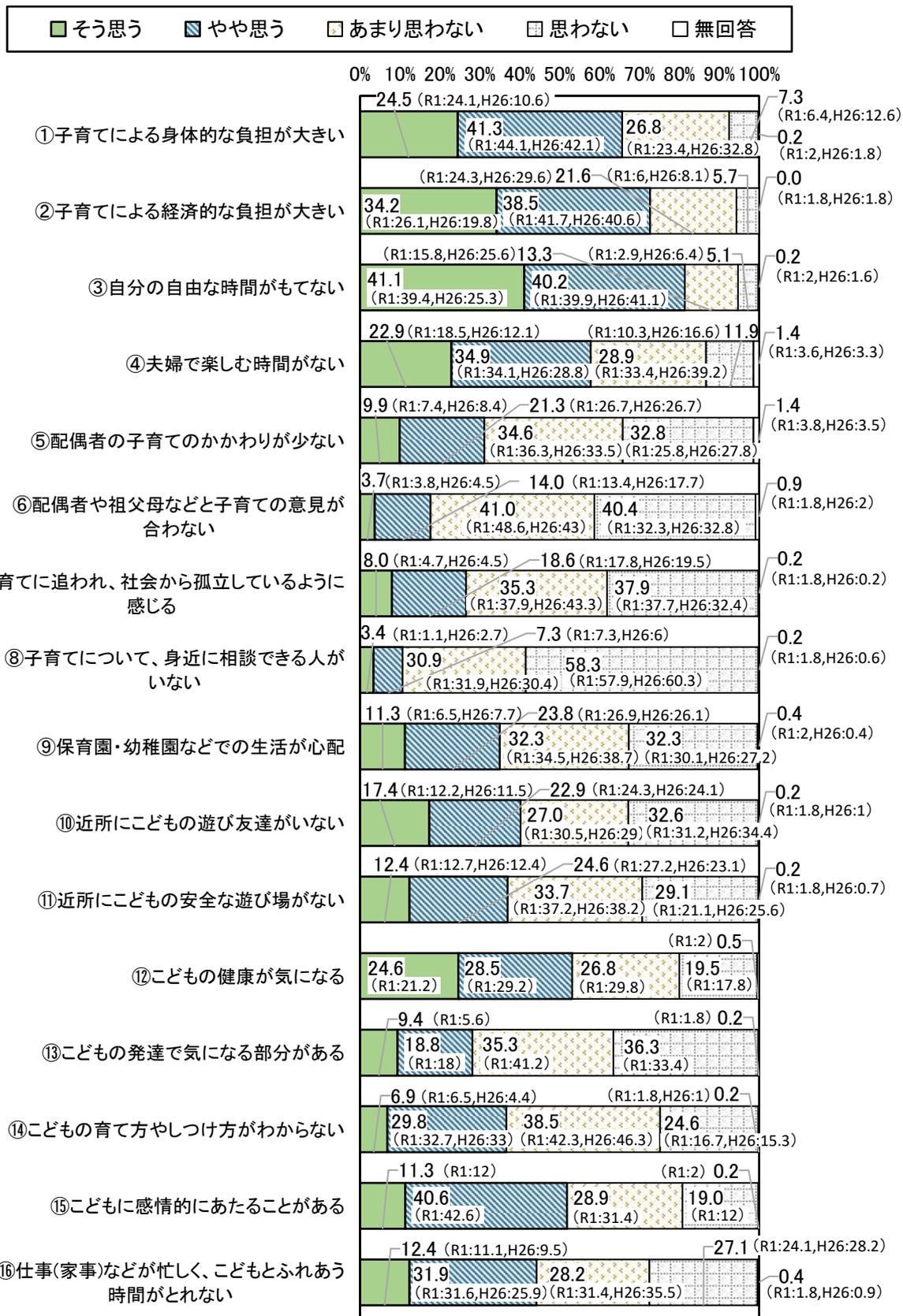
経年変化をみると、① 子育てによる身体的な負担が大きい「そう思う」が、前々回との比較で+24.5ポイントの差異、② 子育てによる経済的な負担が大きい「そう思う」が、前々回との比較で+14.4ポイントの差異、③ 自分の自由な時間がない「そう思う」が、前々回との比較で+15.8ポイントの差異、「あまり思わない」が前々回との比較では-12.3ポイントの差異、④ 夫婦で楽しむ時間がない「そう思う」が、前々回との比較で+10.8ポイントの差異、「あまり思わない」が前々回との比較で-10.3ポイントの差異となっています。

小学生の「そう思う」と「やや思う」を合わせた『思う』について、「②子育てによる経済的な負担が大きい」が66.0%で最も多く、次いで「③自分の自由な時間がない」が55.8%、「⑯仕事(家事)などが忙しく、子どもとふれあう時間がとれない」が50.9%、「⑮こどもに感情的にあたることもある」が50.3%、「⑯こどもの健康が気になる」が48.5%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは② 子育てによる経済的な負担が大きい「そう思う」で、前々回との比較では+11.9ポイントの差異となっています。

【就学前】

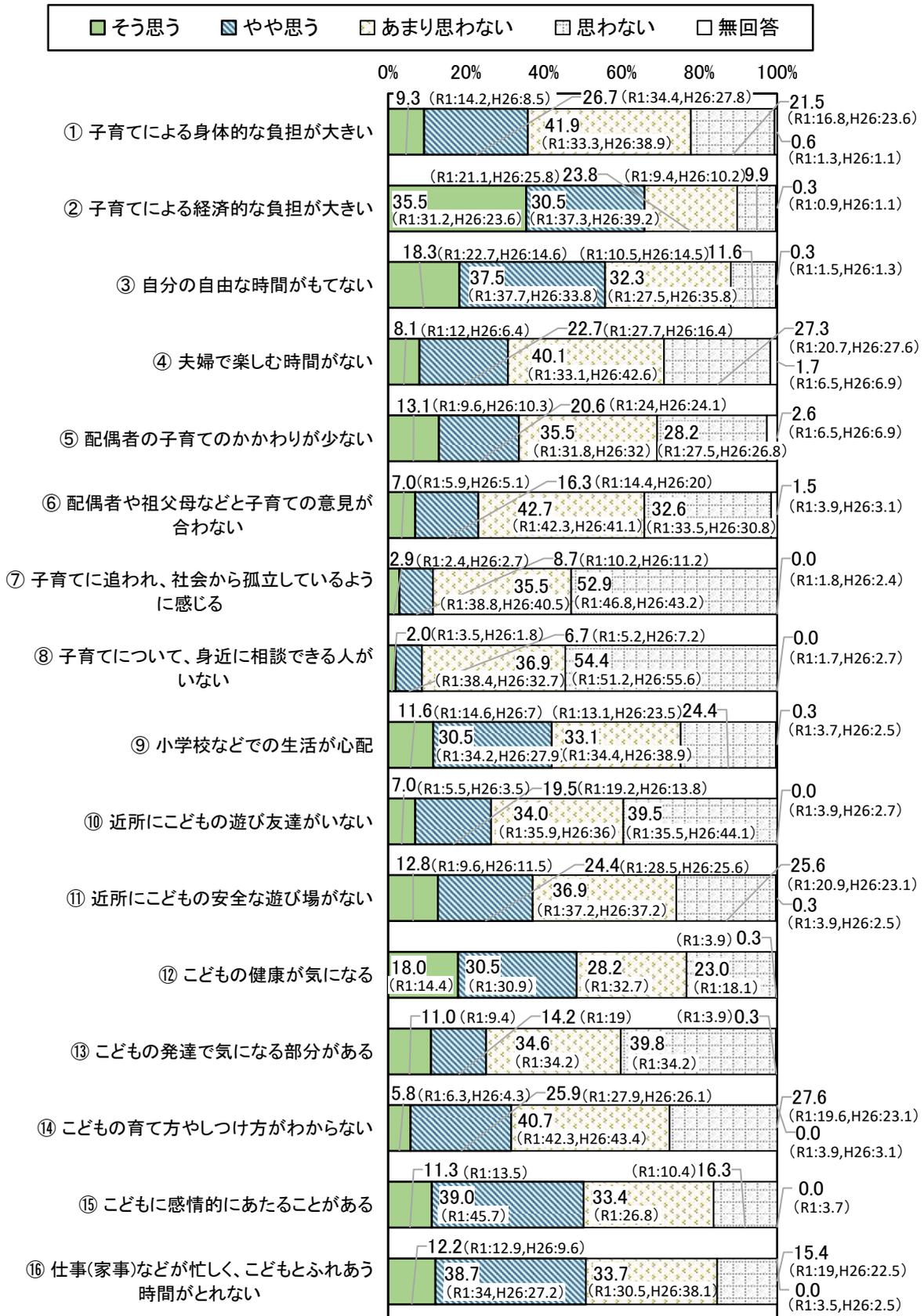
(n=564)



第2章 調査結果

【小学生】

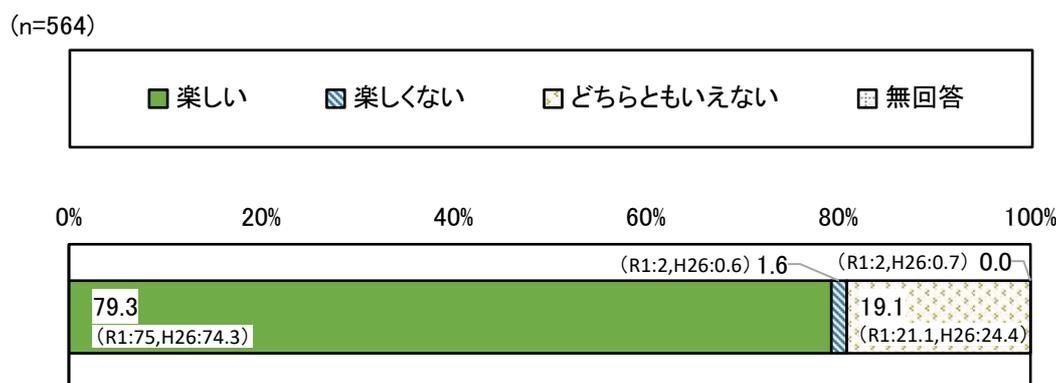
(n=344)



(7) 子育ての楽しさ

問 あなたにとって子育ては楽しいですか。【就学前：問39】

「楽しい」が79.3%、「楽しくない」が1.6%、「どちらともいえない」が19.1%となっています。



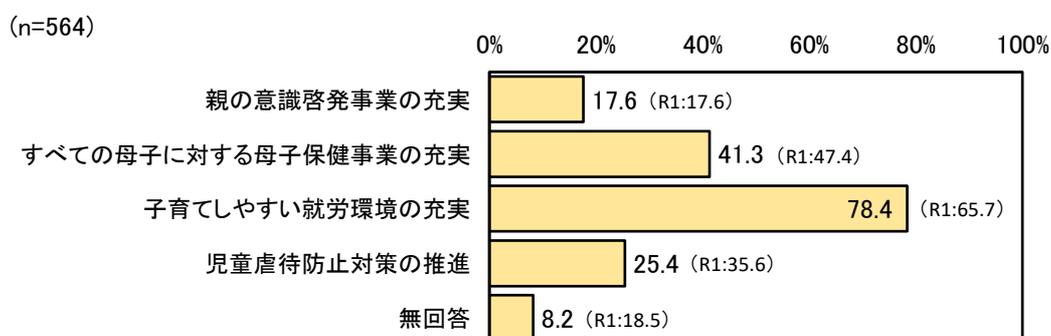
(8) 東員町で実施して欲しい子育て支援・施策

問 東員町でぜひとも実施して欲しい子育て支援・施策は次のうちどれですか。【就学前：問40】

「子育てしやすい就労環境の充実」が78.4%で最も多く、次いで「すべての母子に対する母子保健事業の充実」が41.3%、「児童虐待防止対策の推進」が25.4%、「親の意識啓発事業の充実」が17.6%となっています。

経年変化をみると、増加傾向なのが「子育てしやすい就労環境の充実」で、前回との比較では+12.7ポイントの差異となっています。「児童虐待防止対策の推進」は減少傾向で、前回との比較で-10.2ポイントの差異となっています。

① 妊娠期から子どもを産み、育てる親への支援の充実

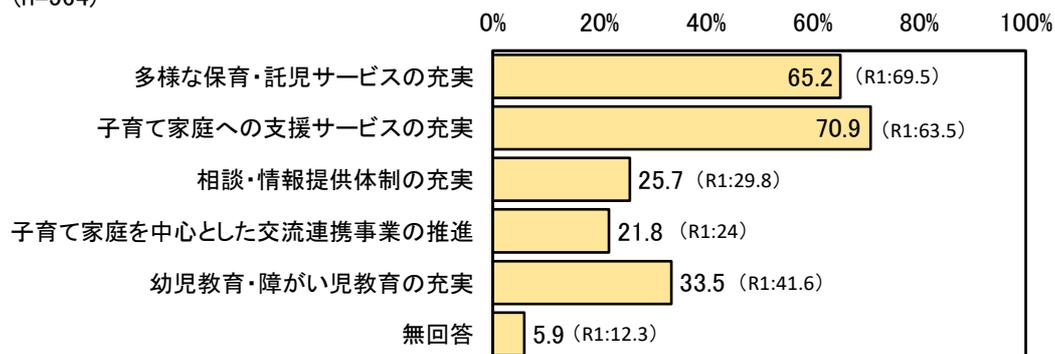


第2章 調査結果

「子育て家庭への支援サービスの充実」が70.9%で最も多く、次いで「多様な保育・託児サービスの充実」が65.2%、「幼児教育・障がい児教育の充実」が33.5%、「相談・情報提供体制の充実」が25.7%、「子育て家庭を中心とした交流連携事業の推進」が21.8%となっています。

② 乳幼児期の子育て・子育ての支援の充実

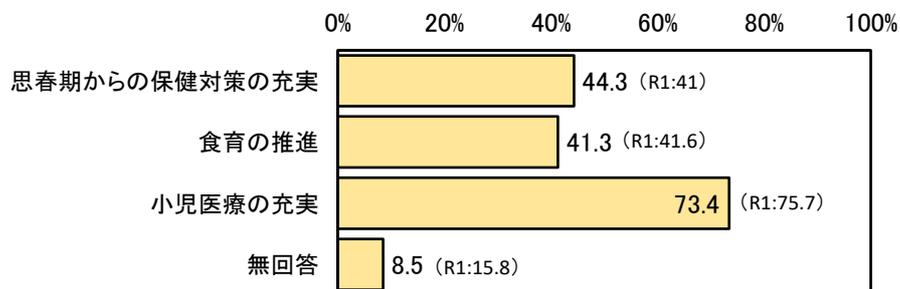
(n=564)



「小児医療の充実」が73.4%で最も多く、次いで「思春期からの保健対策の充実」が44.3%、「食育の推進」が41.3%となっています。

③ 親と子の健康づくりの促進

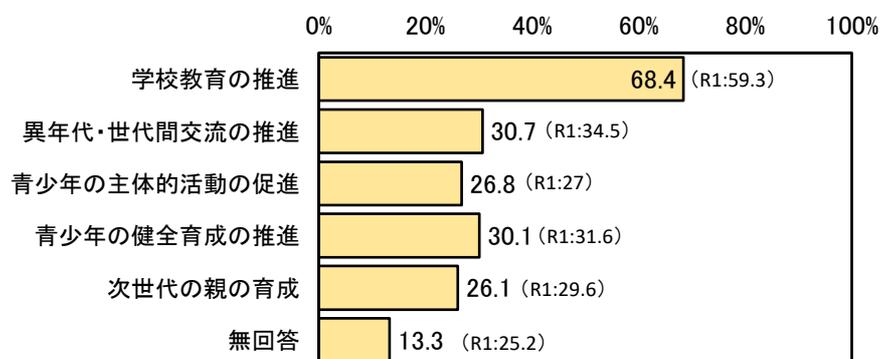
(n=564)



「学校教育の推進」が68.4%で最も多く、次いで「異年代・世代間交流の推進」が30.7%、「青少年の健全育成の推進」が30.1%、「青少年の主体的活動の促進」が26.8%、「次世代の親の育成」が26.1%となっています。

④ 生きる力を育む教育・体験交流の推進

(n=564)

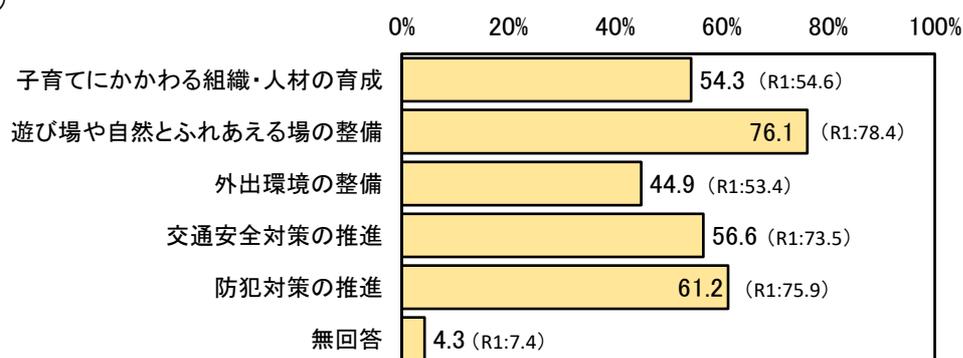


「遊び場や自然とふれあえる場の整備」が76.1%で最も多く、次いで「防犯対策の推進」が61.2%、「交通安全対策の推進」が56.6%、「子育てにかかわる組織・人材の育成」が54.3%、「外出環境の整備」が44.9%となっています。

経年変化をみると、変化が見られるのは「交通安全対策の推進」で、前回との比較で-16.9ポイントの差異、「防犯対策の推進」も、前回との比較では-14.7ポイントの差異となっています。

⑤ こどもの育ちを支える地域環境の整備

(n=564)



東員町 子ども・子育てに関するアンケート調査
調査結果報告書

発行 令和6年5月

編集 東員町 子ども家庭課

〒511-0295 三重県員弁郡東員町大字山田 1600 番地

Tel 0594-86-2872

Fax 0594-86-2851